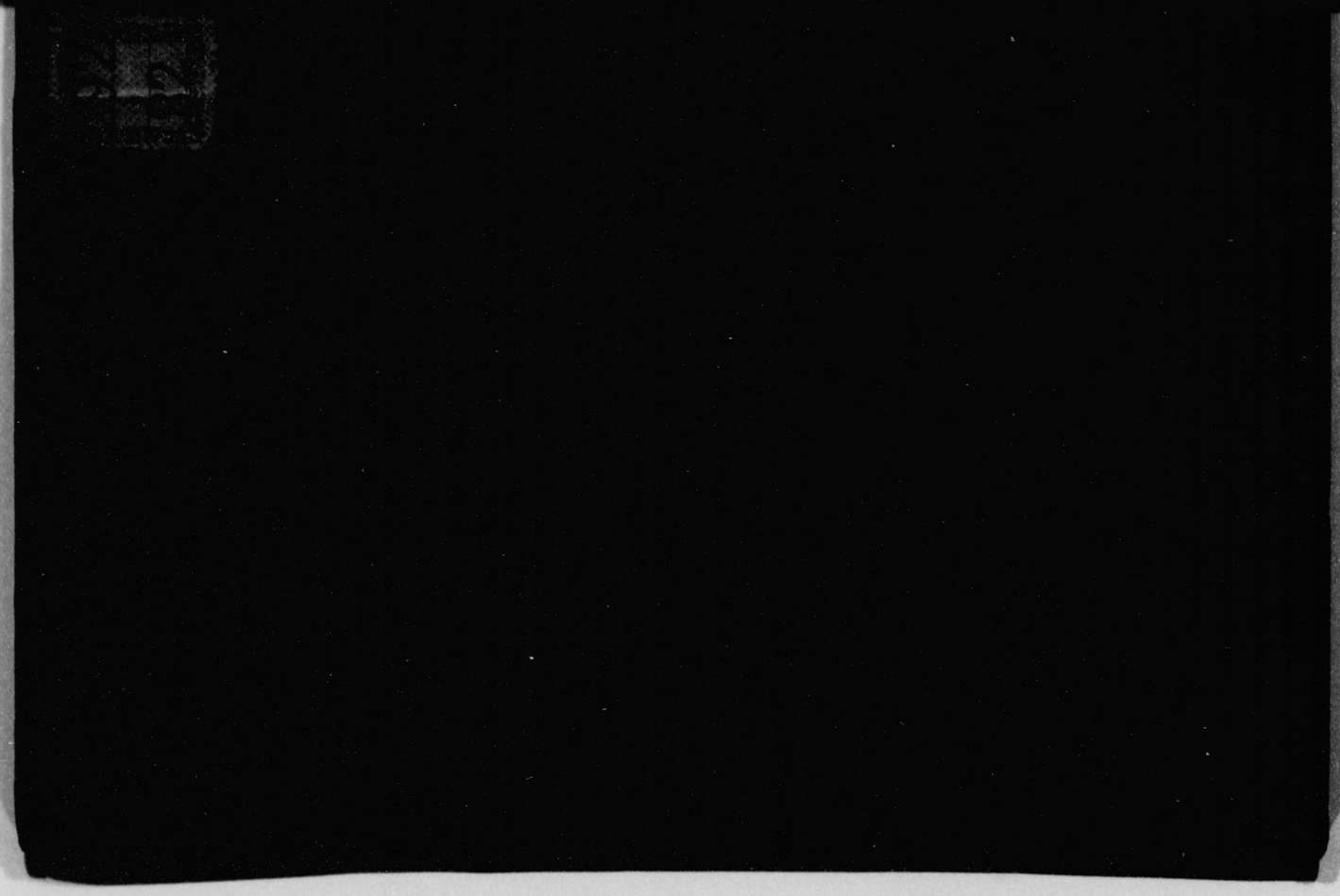


292
82

長岡高等工業學校一覽

自昭和六年
至昭和七年

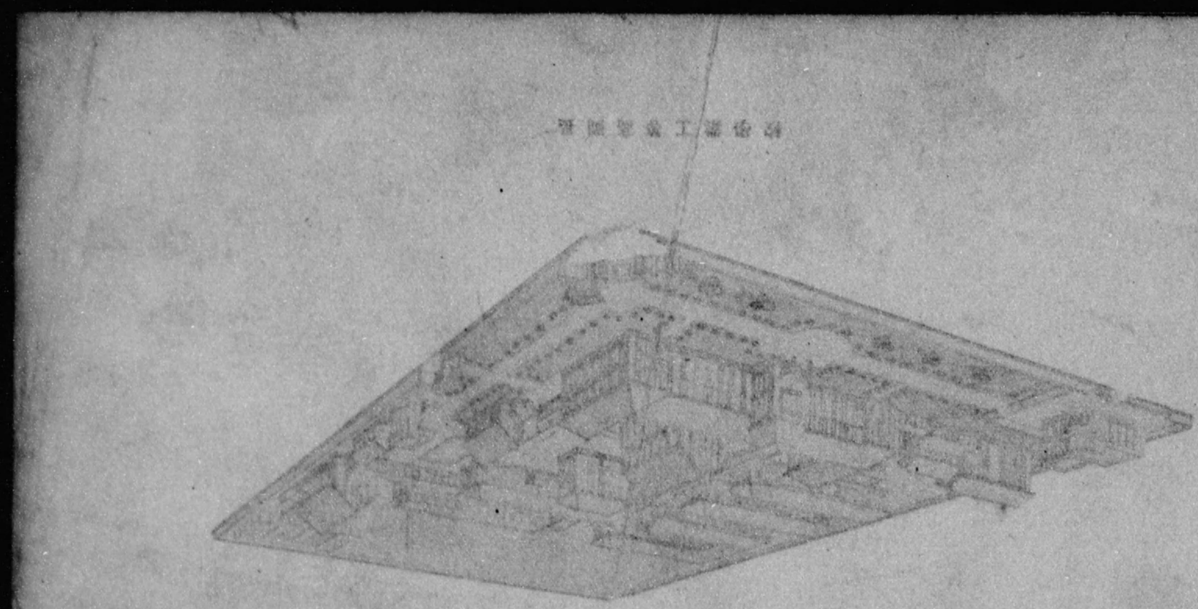
292
82

高等工業學校一覽

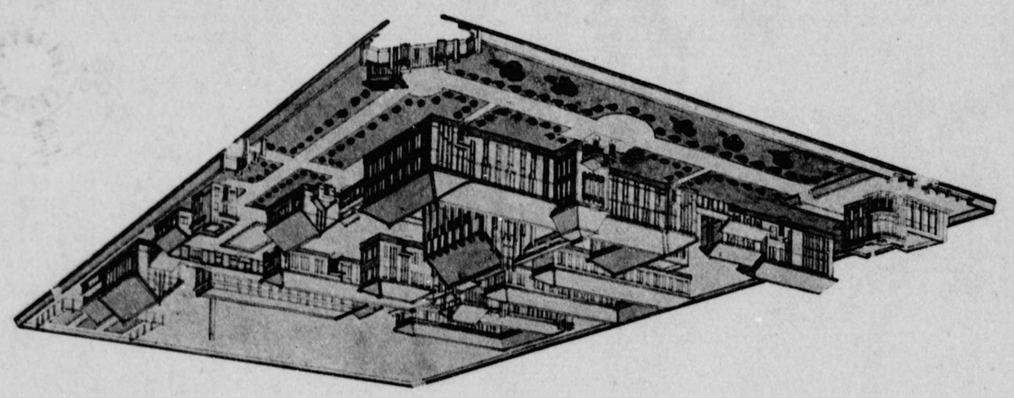
發行所之印

自昭和六年
至昭和七年

帝國圖書館藏

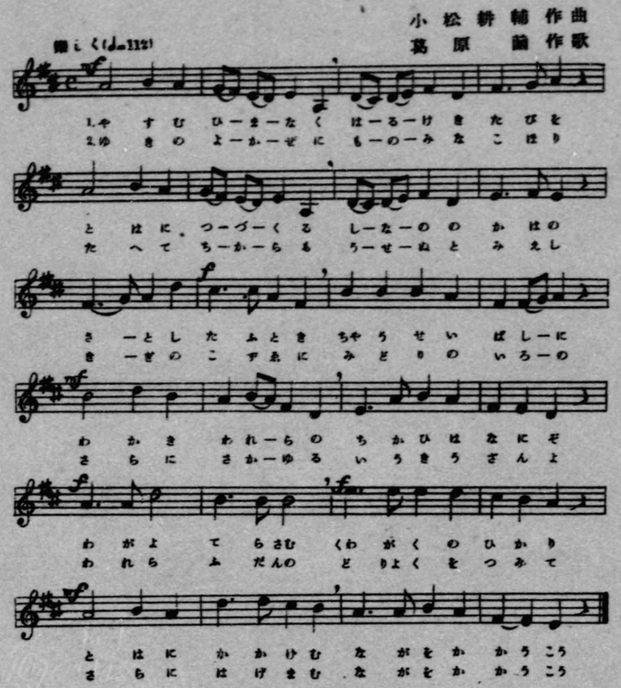


校中藥工等高圖畫



校　歌（甲）

小松耕輔作曲
葛原　繭作歌



（一）

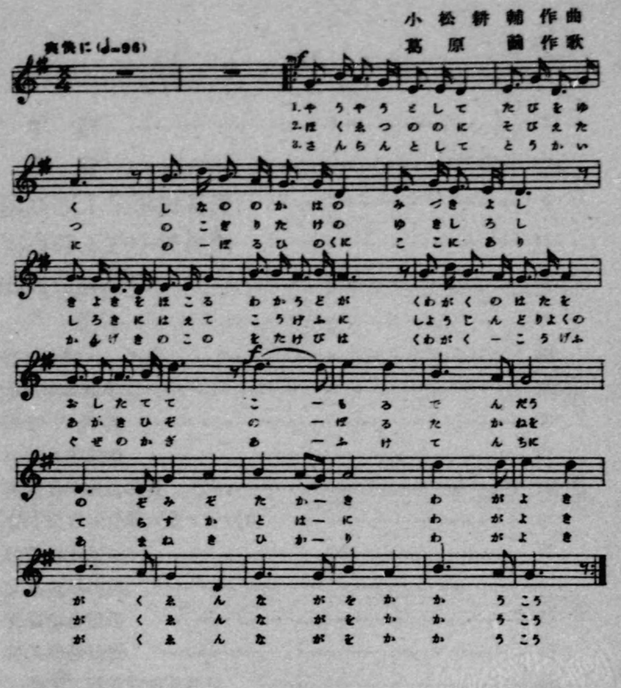
休むひまなく遊ける旅を
とはにつづくる信濃の川の
啓示たふとき長生橋に
わかき我等の誓ひはなにぞ
わが世照らさむ科學の光
とはにかゝげむ長岡高工

（二）

雪の夜風にものみな凍り
たえて力もうせぬと見えし
木々の梢に綾の色の
さらにさかゆる悠久山よ
われら不斷の努力をつみて
さらにはげまむ長岡高工

校　歌（乙）

小松耕輔作曲
葛原　繭作歌



（一）

洋々として旅をゆく　信濃の川の水清し
清きを誇る若人が　科學の旅を押したてゝ
こもる殿堂希望ぞ高き
わがよき學園長岡高工

（二）

北越の野に聳え立つ　錦繍の雪日し
白きに映えて工業に　精進努力のあかき灯ぞ
登る高峰を照らすかとはに
わがよき學園長岡高工

（三）

燦爛として東海に　のぼる日の國技にあり
感激の子の雄たけびは　科學工業救世の鍵
仰げ天地に響ねき光
わがよき學園長岡高工

292-82

目　次

Ⅰ 學 年 曆 …… 1
Ⅱ 沿 革 略 …… 2
Ⅲ 長岡高等工業學校規程 …… 8
Ⅳ 長岡高等工業學校規則 …… 18
Ⅴ 商議委員會規程 …… 19
Ⅵ 細　　則 …… 19
1 學生ニ關スル規程 …… 19
2 學生服裝規程 …… 21
3 保證人規程 …… 26
4 成績考査細則 …… 28
5 定期見學旅行規程 …… 30
6 校外實習並見學ニ關スル規程 …… 36
7 校務分掌規程 …… 37
8 文書處理規程 …… 38
9 職員服務規程 …… 44
10 雇人服務規程 …… 45
11 科學工業博物館職員規程 …… 49
12 物品會計細則 …… 53
13 試驗、分析、鑑定及加工規程 …… 54
14 圖書館規程 …… 56
15 非 常 心 得 …… 58
16 宿 直 規 程 …… 60
17 校友會規則 …… 62
Ⅶ 職　　員 …… 65
1 商議員氏名 …… 65
2 現職員氏名 …… 65
3 舊職員氏名 …… 72

Ⅷ 學　　生 …… 74
1 學生氏名 …… 74
2 卒業者、修業者氏名 …… 86
3 除籍者氏名(退學 死亡、其他) ……104
4 學級人員一覽表 ……107
5 入學志願者及入學許可者數 ……107
6 昭和6年度入學者調(出身學校別、卒業年度別、本籍別) 108－2
7 學生出身校別 ……111
8 學生出身道府縣別 ……112－2
9 學生年齡別 ……113
10 卒業者及修業者數 ……113
11 卒業者資格 ……114
Ⅸ 關係法令 ……115
1 文部省直轄學校一覽進達方 ……115
2 文部省直轄諸學校官制 ……115
3 文部省直轄諸學校職員定員令 ……118
4 文部省直轄諸學校長職務規程 ……118
5 專門學校令 ……119
6 實業學校令 ……119
7 實業學校教員養成規程 ……120
8 文部省直轄諸學校外國人特別入學規程 ……122
9 臺灣人並朝鮮人ノ特別入學ニ關スル件 ……123
10 文部省直轄諸學校生徒ノ學校長ノ許可ナクシテ受ケタル
他ノ直轄諸學校入學試驗無効ニ關スル件 ……123
11 文官分限令 ……123
12 官吏服務紀律 ……123
13 文官懲戒令 ……123
14 各官廳執務時間 ……123
15 官吏職務外ノ演說及寄送許可並其取締方 ……124

16 三大節ニ賀表及言上書奉呈方 ……124
17 教員免許令 ……124
18 文部省直轄諸學校修身教育ニ關スル注意 ……124
19 文部省直轄諸學校生徒修學旅行ニ關スル手續 ……124
20 學生生徒兒童身體檢查規程 ……124
21 學校清潔方法 ……124
22 學校傳染病豫防規程 ……125
23 學校生徒喫煙禁止 ……125
24 文部省直轄諸學校學生生徒喫煙取締ニ關スル注意 ……125
25 學生生徒飲酒取締ニ關スル注意 ……126
26 教育上時弊矯正ニ關スル心得 ……126
27 文部省直轄諸學校講演會記念會運動會等監督方 ……127
28 文部省直轄諸學校學生時弊矯正ニ關スル心得 ……128
29 學校ノ紛擾ニ關係シタル職員及生徒處分方 ……128
30 陸軍現役將校學校配屬令 ……129
31 兵役法ニ依ル在學徵集延期ニ關スル件 ……129
32 陸軍補充令ニ依ル幹部候補者ノ資格ニ關スル件 ……129
33 勤務演習召集演習召集及補闕點呼ノ免除ニ付餘人ヲ
以テ代フヘカラサル職務ニ奉スル者ニ關スル件 ……129

附　　錄

學校日誌 ……131
設備ノ大要 ……134
主ナル機械、器具類 ……141
圖書冊數及購入費調 ……152
建物配置圖、敷地並建物明細調 ……
長岡高等工業學校校友會會則 ……153
悠久會規約 ……155
氏名索引(職員、學生、卒業生、修業生、中途退學者等) ……157

學年曆

（詳細ハ別冊年中行事參照）

前學期（自四月一日 至十月十五日）

四月一日	學年始、前學期始、春季休業始
四月三日	神武天皇祭
四月七日	春季休業終
四月廿九日	天長節
七月十一日	夏季休業始
八月卅一日	夏季休業終
秋分日	秋季皇靈祭
十月上旬	定期試驗
十月十日	本校創立記念日
十月十五日	前學期終

後學期（自十月十六日 至三月三十一日）

十月十六日	後學期始
十月十七日	神嘗祭
十一月三日	明治節
十一月廿三日	新嘗祭
十二月廿五日	大正天皇祭、冬季休業始
一月一日	四方拜
一月三日	元始祭
一月七日	冬季休業終
二月十一日	紀元節
春分日	春季皇靈祭
三月	定期試驗、入學試驗
三月卅一日	後學期終、學年終

Ⅰ 沿　革　略

大正十二年（紀元2583年）

十二月十日　勅令第五百一號ヲ以テ文部省直轄諸學校官制ヲ改正シ本校ノ設置ヲ公布セラル

十二月十日　勅令第五百二號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令ヲ改正シ本校職員ヲ次ノ通リ加フル旨公布セラル

校　長	一人
教　授	五人
助教授	一人
書　記	四人

十二月十一日　東京高等工業學校教授福田爲造校長ニ任命セラル

十二月十四日　文部省告示第四五五號ヲ以テ本校ノ事務所ヲ文部省假事務所内ニ設置ノ旨公示セラル

大正十三年（紀元2584年）

一月九日　文部省告示第一號ヲ以テ本校ノ位置ヲ新潟縣長岡市四郎丸ニ定メ大正十三年四月ヨリ授業開始ノ旨公示セラル

二月廿三日　文部省令第七號ヲ以テ本校規則ヲ公示セラレ同日本校規則制定ノ件許可セラル

二月廿三日　文部省告示第六二號ヲ以テ本校事務所ヲ三月十日新潟縣長岡市四郎丸ニ移轉ノ旨公示セラル

三月十八日　ヨリ第一回入學者選拔試驗ヲ本校及東京物理學校ニ於テ行フ

三月廿六日　電氣工學科四〇名、機械工學科三七名、應用化學科三六名入學許可ヲ發表ス

四月十二日　第一回入學宣誓式ヲ擧行ス

五月十六日　勅令第十二號ヲ以テ文部省直轄諸學校定員中本校ノ項教授「五人」ヲ「九人」ニ助教授「一人」ヲ「五人」ニ改正ノ

旨公布セラル

九月一日　本校々舍第一、第二期工事完成ニ付文部省ヨリ引繼ヲ受ク

十一月十一日　本校規則中一部改正ノ件許可セラル（入學資格ニ關スル件）

大正十四年（紀元2585年）

三月十八日　ヨリ第二回入學者選拔試驗ヲ本校及東京高等師範學校、岡山縣立工業學校ニ於テ行フ

三月十九日　本校規則中一部改正ノ件許可セラル（授業料ニ關スル件）

三月廿四日　電氣工學科、機械工學科ニ各三五名、應用化學科ニ三〇名入學許可ヲ發表ス

四月一日　勅令第八一號ヲ以テ文部省直轄諸學校定員中本校ノ項助教授「五人」ヲ「四人」ニ改正ノ旨公布セラル

四月十一日　第二回入學宣誓式ヲ擧行ス

六月三日　勅令第二一六號ヲ以テ文部省直轄諸學校定員中本校ノ項教授「九人」ヲ「十六人」ニ助教授「四人」ヲ「七人」ニ書記「四人」ヲ「五人」ニ改正ノ旨公布セラル

九月三日　本校規則中一部改正ノ件許可セラル（學科課程中時間割變更ニ關スル件）

九月十二日　海軍省令第十一號ヲ以テ海軍造船造機造兵生徒規則第一條ノ指定學校中ニ本校ヲ加ヘラル

十二月廿五日　遞信省告示第二、〇三三號ヲ以テ「電氣事業主任技術者資格檢定規則第四條第四項ノ學校及其ノ卒業者ノ資格」ニ本校ヲ追加セラル

大正十五年（紀元2586年）

一月十四日　本校々舍第三、第四期工事完成ニ付文部省ヨリ引

繼ヲ受ク

三月廿三日　ヨリ第三回入學者選拔試驗ヲ本校及東京高等師範學校、北海道帝國大學ニ於テ行フ

三月三十日　電氣工學科三八名、機械工學科三九名、應用化學科三五名入學許可ヲ發表ス

四月十日　第三回入學宣誓式ヲ擧行ス

七月五日　勅令第二四九號ヲ以テ文部省直轄諸學校定員中本校ノ項教授「十六人」ヲ「二十人」ニ助教授「七人」ヲ「九人」ニ書記「五人」ヲ「六人」ニ改正ノ旨公布セラル

九月廿二日　本校商議員會規程制定セラル

十一月一日　教育ニ關スル勅語謄本ヲ拜戴ス

十一月二十日　新築校舍落成ニツキ開校式ヲ擧行ス當日文部大臣代理トシテ木村書記官來校セラル翌廿一、廿二兩日學校ヲ開放シテ一般公衆ニ觀覽ヲ許セリ

十一月廿九日　試驗分析、鑑定及加工規程制定ノ件許可セラル

十二月廿一日　科學工業博物館職員規程制定ス

十二月廿五日　大正天皇崩御　昭和ト改元

昭和二年（紀元2587年）

一月廿六日　本校々舍第五期工事完成ニ付文部省ヨリ引繼ヲ受ク

三月十五日　第一回卒業證書授與式ヲ擧行シ電氣工學科三四名機械工學科二二名、應用化學科二五名ニ卒業證書ヲ授與ス

三月廿三日　ヨリ第四回入學者選拔試驗ヲ本校及東京高等師範學校、大阪高等工業學校、北海道帝國大學ニ於テ行フ

三月三十日　電氣工學科四〇名、機械工學科三八名、應用化學科三七名入學許可ヲ發表ス

四月八日　文部省告示第一八四號ヲ以テ教員無試驗檢定ニ關スル指定學校名中ニ本校ヲ加ヘラル

四月九日　第四回入學宣誓式ヲ擧行ス

四月二十日　本校規則一部改正ノ件許可セラル（前學期後學期ノ區分休業日中ニ記念日設置ノ件）

十二月廿七日　勅令第三六二號ヲ以テ文部省直轄諸學校官制中職員定員令改正セラレ本校ニ助手二名ヲ加ヘラル

昭和三年（紀元2588年）

三月十五日　第二回卒業證書授與式ヲ擧行シ電氣工學科二八名機械工學科二八名、應用化學科三三名（電氣一名、化學一名ハ三月三十一日付）卒業證書ヲ授與ス

三月廿五日　ヨリ第五回入學者選拔試驗ヲ本校及東京高等師範學校、京都高等工藝學校、北海道帝國大學ニ於テ行フ

三月卅一日　電氣工學科四〇名、機械工學科三九名、應用化學科三七名入學許可ヲ發表ス

四月九日　第五回入學宣誓式ヲ擧行ス

四月二十日——五月十日　附設科學工業博物館ニ於テ化學工業展覽會ヲ開催ス

九月廿四日——十二月七日　文部省ヨリ成人講座開設ヲ委囑セラレ毎週月、水、金開講ス聽講人員三四四名、內證書授與セシモノ二五七名アリ

十月十日　天皇　皇后　兩陛下ノ御眞影ヲ拜戴ス

十月廿九日　勅令第二五六號ヲ以テ文部省直轄諸學校官制中改正セラレ生徒監ヲ生徒主事ニ改メ新ニ生徒主事補ヲ加ヘラル

十一月十日　御卽位ノ禮ヲ行ハセラル、ニ付福田校長ハ御大典ノ諸儀ニ參列シ職員生徒一同ハ奉祝式ヲ擧行ス

昭和四年（紀元2589年）

三月八日　文部省令第四號ヲ以テ本校規則中一部改正ノ件公布セラル（學科課程ノ件）

三月十五日　第三回卒業證書授與式ヲ擧行シ電氣工學科三七名機械工學科二八名、應用化學科二六名ニ卒業證書ヲ授與ス

三月十九日　本校規則中一部改正ス（授業料ノ件三月十五日付文部次官通牒ニ依ル）

三月廿四日　ヨリ第六回入學者選拔試驗ヲ本校及東京高等師範學校、大阪高等工業學校ニ於テ行フ

三月卅一日　電氣工學科三九名、機械工學科三九名、應用化學科三九名入學許可ヲ發表ス

三月卅一日　集會所建築工事落成ス

四月　八　日　第六回入學宣誓式ヲ擧行ス

四月廿五日——五月十日　附設科學工業博物館ニ於テ電氣展覽會ヲ開催ス

十月廿一日——十一月廿二日　文部省ヨリ成人講座開設ヲ委囑セラレ毎週月、水、金開講ス聽講人員二八〇名、內證書授與セシモノ一六八名アリ

昭　和　五　年（紀元2590年）

三月十五日　第四回卒業證書授與式ヲ擧行シ電氣工學科三三名機械工學科三四名、應用化學科二六名ニ卒業證書ヲ授與ス（內電氣五名、機械三名ハ三月三十一日付）

三月廿四日　ヨリ第七回入學者選拔試驗ヲ本校及東京文理科大學、大阪工業大學ニ於テ行フ

三月卅一日　電氣工學科四〇名、機械工學科三七名、應用化學科三七名入學許可ヲ發表ス

四月　八　日　第七回入學宣誓式ヲ擧行ス

四月廿五日——五月十日　附設科學工業博物館ニ於テ機械展覽會ヲ開催ス

昭　和　六　年（紀元2591年）

一月　一　日　本校所在地長岡市四郎丸町ハ町名變更ニ依リ長岡

市學校町三丁目トナル

二月十七日　本校規則中一部改正ス（學資支辨困難ナル者ニハ授業料ヲ減免シ得ル項ヲ加フ）

二月廿九日　定期見學旅行規程及校外實習並見學ニ關スル規程制定ス

三月十五日　第五回卒業證書授與式ヲ擧行シ電氣工學科三六名機械工學科三六名、應用化學科三五名ニ卒業證書及機械工科學一名ニ修業證書ヲ授與ス

三月廿四日　ヨリ第八回入學者選拔試驗ヲ本校及東京文理科大學、大阪工業大學ニ於テ行フ

三月卅一日　電氣工學科三八名、機械工學科三七名、應用化學科三六名入學許可ヲ發表ス

四月　八　日　第八回入學宣誓式ヲ行フ

四月廿五日——五月四日　附設科學工業博物館ニ於テ理學展覽會ヲ開催ス

▌長岡高等工業學校規程

（大正十三年二月廿三日文部省令第七號）

改　正（大正十四年三四號・昭和四年四號）

長岡高等工業學校規程左ノ通定ム

長岡高等工業學校規程

第　一　條　本校ノ修業年限ハ三年トス

第　二　條　本校ノ學科ハ電氣工學科、機械工學科、應用化學科トス

第　三　條　各學科ノ學科目及其ノ程度左ノ如シ但シ必要ノ場合ニ於テハ各學科目ノ每週敎授時數ハ其ノ學科目ノ總敎授時數ヲ短縮セサル範圍內ニ於テ臨時之ヲ變更シ又ハ休業期間其ノ他ニ於テ實驗實習ヲ課シ若ハ臨時講義ヲ聽カシムルコトヲ得

（學科目等省略）（規則ト同樣）

第　四　條　本校卒業者若ハ同等以上ノ學力ヲ有スル者ニシテ既修學科若ハ他ノ學科中之ニ關聯セル學科目ニツキ研究セントスル者アルトキハ研究生トシテ二年以內在學セシムルコトヲ得

第　五　條　本校各學科中ノ一學科目若ハ數學科目ヲ選擇學修セントスル者ハ聽講生トシテ聽講セシムルコトヲ得

第　六　條　本校各學科ノ學科目中ノ講義ヲ聽講セントスル者ハ聽講生トシテ聽講セシムルコトヲ得

第　七　條　本校ニ別科ヲ置クコトヲ得

別科ニ關スル規程ハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ學校長之ヲ定ム

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和四年文部省令第四號）

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ在學スル生徒ニ課スヘキ學科目及其ノ程度ニ關シテハ新舊學科課程ヲ斟酌シテ學校長之ヲ定ム

▌規　則（大正十三年二月制定）

改　正（大正十三年十一月・同十四年三月・同十四年九月／昭和二年四月・同四年三月・同六年二月）

第一章總　則

第　一　條　本校ハ實業學校令及專門學校令ニ依リ身心健全ニシテ高等ノ工業的技術ニ通スル社會須要ノ人材ヲ養成スルヲ以テ目的トス

第　二　條　本校ニ次ノ學科ヲ置ク

電氣工學科

機械工學科

應用化學科

第　三　條　各學科ノ修業年限ハ三年トス

第　四　條　本校ニハ研究生、選科生、聽講生及別科ヲ置クコトアルヘシ

研究生、選科生及聽講生ニ關シテハ別ニ規程アル場合ヲ除ク外本科生ニ關スル規程ヲ準用ス

別科ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第　五　條　本則施行ニ要スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

第二章學科課程

第　六　條　各學科ノ學科目及其ノ程度次ノ如シ

電氣工學科

學科目＼學年	第一學年每週教授時數		第二學年每週教授時數		第三學年每週教授時數	
	前學期	後學期	前學期	後學期	前學期	後學期
修身	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
體操	3	3	3	3	3	3
英語及獨逸語	4.5	4.5	4.5	4.5	3	3
數學	6	4.5	3	3	1.5	1.5
力學及物理學	3	4.5	1.5	1.5	1.5	1.5
物理學實驗			3	3		
化學	3	1.5				
化學實驗	3	3				
經營經濟及法制					1.5	3
工場管理					1.5	1.5
材料力學			3	1.5		
機械工作法	1.5	1.5				
水力及水力機			1.5	1.5		
熱機關			1.5	1.5		
電氣理論	3	3			1.5	1.5
電氣磁氣測定	1.5	1.5				
電氣機械及設計			3	3	3	3
電氣材料及器具			1.5	1.5		
發電所及變電所					3	1.5
送電及配電					3	1.5
電燈及照明			1.5			
電氣鐵道				4.5		
電信及電話					1.5	1.5
電氣化學及電池					1.5	1.5
讀書攻究	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
特別講義						
設計及製圖	7.5	3	3	4.5	4.5	6
實驗實習		6	6	3	6	6
合計	39.0	39.0	39.0	39.0	39.0	39.0

備考　第一學年ニ於ケル讀書攻究ハ前學期ニハ原動機概說ヲ、後學期ニハ金屬材料ヲ課ス。

機械工學科

學科目＼學年	第一學年每週教授時數		第二學年每週教授時數		第三學年每週教授時數	
	前學期	後學期	前學期	後學期	前學期	後學期
修身	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
體操	3	3	3	3	3	3
英語及獨逸語	4.5	4.5	4.5	4.5	3	3
數學	6	4.5	3	3	1.5	1.5
力學及物理學	3	4.5	3	3	1.5	1.5
物理學實驗			3	3		
化學	3	1.5				
化學實驗	3	3				
經營經濟及法制					1.5	3
工場管理					1.5	1.5
材料力學			3	3		
金屬材料	1.5	1.5				
機械工作法	1.5	1.5				
水力及水力機			1.5	1.5	1.5	1.5
機構學	1.5	1.5				
熱力學				1.5		
汽罐			1.5			
蒸氣機關及タービン			1.5	1.5		
內燃機關					3	1.5
機械設計			1.5	1.5	1.5	1.5
實驗工學				1.5		
電氣工學					3	1.5
讀書攻究	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
特別講義						
設計及製圖	9	4.5	4.5	3	9	7.5
實驗實習		6	6	6	6	9
合計	39.0	36.0	39.0	39.0	39.0	39.0

備考　第一學年ニ於ケル讀書攻究ハ前學期ニハ原動機概說ヲ、後學期ニハ各種機械概說ヲ課ス。

應用化學科

學科目＼學年	第一學年每週教授時數		第二學年每週教授時數		第三學年每週教授時數	
	前學期	後學期	前學期	後學期	前學期	後學期
修身	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
体操	3	3	3	3	3	3
英語及獨逸語	4.5	4.5	4.5	4.5	3	3
數學	4.5	4.5	1.5	1.5		
物理學	3	4.5	1.5	1.5	1.5	1.5
物理學實驗			3	3		
經營經濟及法制					1.5	3
工場管理					1.5	1.5
機械工學通論		3	1.5	1.5		
機械製圖			3	3	3	
電氣工學					3	1.5
無機化學	4.5	3				
有機化學	3	4.5				
物理化學			3	3		
應用電氣化學					3	1.5
製造化學第一部			1.5	3		
製造化學第二部			3	1.5		
製造化學第三部			1.5	3		
製造化學第四部					1.5	3
製造化學特論第一部					1.5	1.5
製造化學特論第二部					1.5	1.5
讀書攻究	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
特別講義						
實驗實習	13.5	9	9	7.5	12	15
合計	39.0	39.0	39.0	39.0	39.0	39.0

備考　第一學年ニ於ケル讀書攻究ハ前學期ニハ原動機概說ヲ、後學期ニハ鑛物學ヲ課ス。

各學科目ノ每週教授時數ハ其ノ學科目ノ總教授時數ヲ短縮セサル範圍ニ於テ臨時之ヲ變更スルコトアルヘシ、必要ニ應シ休業期間其ノ他便宜ノ時ニ於テ臨時講義又ハ實習ヲ課スルコトアルヘシ

第三章　學年、學期及休業日

第七條　學年ハ四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第八條　學年ヲ分チテ次ノ二學期トス

前學期　四月一日ヨリ十月十五日マテ

後學期　十月十六日ヨリ翌年三月三十一日マテ

第九條　休業日ハ次ノ如シ

祝日、大祭日

日曜日

本校記念日　十月十日

春季休業日　四月一日ヨリ四月七日マテ

夏季休業日　七月十一日ヨリ八月三十一日マテ

冬季休業日　十二月二十五日ヨリ一月七日マテ

第四章　入學、在學、退學

第十條　入學ノ期ハ學年ノ始トス

第十一條　入學ヲ許可スヘキ者ハ品行方正、志望堅固ナル男子ニシテ次ノ各號ノ一ニ該當シ且ツ入學檢定ニ合格セルモノタルヘシ

1. 中學校ヲ卒業シタル者
2. 實業學校ヲ卒業シタルモノ、但シ尋常小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限五年、高等小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限三年、若ハ之ト同等以上ノ學校ヲ卒業シタル者
3. 前號ニ該當スル者ノ外專門學校入學者檢定規程第十一條ニ依リ一般專門學校ノ入學ニ關シ無試驗檢定ノ指定ヲ受ケタル者

4. 專門學校入學者檢定規程ニ依ル試驗檢定ニ合格シタル者

第十二條　中學校又ハ實業學校在學者ニシテ當該學校長ヨリ該學年三月末日マテニ卒業スヘキ見込アリト認定セラレタル者ハ其ノ證明ヲ以テ入學ヲ願出ツルコトヲ得

前項入學志願者ニシテ其ノ學校ヲ卒業シ能ハサル者ニハ入學ヲ許可セス

第十三條　入學志願者ニ對シテハ其ノ心身ニツキ入學檢定ヲ行フ、入學檢定ハ學力試驗、身體檢查及人物能力檢查ノ三トス、但シ學力試驗ハ之ヲ省略スルコトアルヘシ

學力試驗ハ中學校卒業程度ニ依リ之ヲ行フ

其ノ試驗學科目ハ別ニ之ヲ定ム

第十四條　入學志願者ハ第二條ニ揭ケタル學科中ニツキ志望學科ヲ定メ入學願書ニ寫眞及入學檢定料ヲ添ヘ之ヲ差出スヘシ

第十五條　入學ヲ許可セラレタル者ハ指定ノ期日迄ニ保證人連署ノ在學證書ニ戸籍抄本ヲ添ヘ之ヲ差出スヘシ

保證人ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第十六條　本校退學者ニシテ再入學ヲ願出ツルトキハ收容ノ餘裕アル場合ニ限リ詮議ノ上原級以下ニ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第十七條　學生ハ別ニ定ムル所ノ服制ニ依ルヘシ

第十八條　疾病其他已ムヲ得サル事由ニ依リ久シキニ亙リ修業シ能ハスト思料スルトキハ別ニ定ムル所ニ依リ許可ヲ得テ 休學スルコトヲ得

休學中ノ者其ノ期間ヲ經過シタルトキハ速ニ原級ニ復歸スヘシ

休學中ノ者ニシテ其ノ事由消滅シタルトキハ復校ヲ願出テ又ハ許可ヲ得テ一學科目若クハ數學科目ノ授業ニ出席スルコトヲ得

第十九條　疾病其ノ他已ムヲ得サル事由ニヨリ退學セントスルトキハ別ニ定ムル所ニ依リ許可ヲ受クヘシ

第二十條　學生ハ學校長ノ許可ヲ受クルニ非サレハ他ノ學校ニ入リ又ハ各種ノ試驗ニ應スルコトヲ得ス

第二十一條　次ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ其ノ學籍ヲ除ク、但シ第二號ハ休學ノ者ニハ之ヲ適用セス

1. 性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者
2. 二ケ年間同級ニ停リテ尙ホ進級セサル者
3. 學力劣等若クハ身體虛弱ニシテ成業ノ見込ナシト認メタル者
4. 正當ノ事由ナクシテ引續キ三十日以上缺席シタル者
5. 授業料其他ノ料金ノ納付ヲ怠リ督促ヲ受クルモ尙ホ之ヲ納付セサル者

第五章　表彰及懲戒

第二十二條　品性、學業及健康上他ノ學生ノ模範トナルヘキ者ハ學年ノ終リニ於テ表彰スルコトアルヘシ

第二十三條　學校ノ內外ヲ問ハス學生タルノ本分ニ背戻セリト認ムヘキ行爲アル者ハ戒飭ヲ加ヘ又ハ停學、放校ニ處ス

第六章　修業及卒業

第二十四條　各學年ノ課程修了ハ該學年ニ於ケル勤惰及學業成績等ヲ考查シテ之ヲ定ム

第二十五條　前條ノ考查ニ合格セル者ハ之ヲ進級セシメ不合格ノ者ハ次學年ノ始ヨリ原級ノ課程ヲ再修セシム

第二十六條　已ムヲ得サル事由ニ依リ試驗ニ缺席シタル者所定ノ期間內ニ追試驗ヲ受ケンコトヲ願出ツルトキハ詮議ノ上許可スルコトアルヘシ

第二十七條　各學年ノ課程ヲ修了シタルモノニハ卒業證書ヲ授與ス

第二十八條　第三學年ノ終末ニ於ケル成績考查ニ合格セサル者ニハ詮議ノ上修業證書ヲ授與スルコトアルヘシ 前項修業證書受領者ニシテ別ニ定ムル成績考查ニ關スル細則ニ據リ後日願出タルトキハ再考查ヲ行ヒ卒業證書ヲ授與スルコトアルヘシ

第二十九條　成績考査ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

第七章　研究生

第三十條　本校卒業者若クハ之ト同等以上ノ學力經驗アリト認メラレタル者ニシテ既修學科若クハ他ノ學科中之ニ關聯セル學科目ニツキ研究セントスル者アルトキハ詮議ノ上研究生トシテ二年以内在學ヲ許可スルコトアルヘシ

第三十一條　研究生ハ學年ノ中途ニ於テモ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第三十二條　研究生ハ許可ヲ受ケ制服、制帽ヲ着用セサルコトヲ得

第三十三條　研究生其ノ研究事項ヲ了リタルトキハ研究報告書ヲ學校長ニ差出スヘシ

第三十四條　學校長ハ研究成績ヲ考査シ必要アルトキハ研究證明書ヲ交付ス

第八章　選科生

第三十五條　本校所定ノ一學科目若クハ數學科目ヲ選擇履修セントスル者ニハ收容ノ餘裕アルトキニ限リ詮議ノ上選科生トシテ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第三十六條　選科生ノ在學期間ハ三年以内トス

第三十七條　選科生ハ學年ノ中途ニテモ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第三十八條　選科生トシテ入學ヲ願出ツルコトヲ得ルモノハ次ノ各號ノ一ニ該當スル者タルヲ要ス

1. 三年以上引續キ志望學科目ニ關スル工業ニ從事セル者
2. 實業學校卒業者
3. 中學校卒業者
4. 本校別科卒業者

第三十九條　選科生ハ許可ヲ受ケ制服、制帽ヲ着用セサルコトヲ得

第四十條　選科生學修ヲ終リタルトキハ成績ヲ考査シ修了證書ヲ授與ス

第九章　聽講生

第四十一條　本校各學年ノ學科目中ノ講義ヲ聽講セントスル者アルトキハ詮議ノ上隨時聽講生トシテ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第四十二條　聽講生ハ聽講料ヲ納付シ聽講券ノ交付ヲ受クヘシ

第四十三條　聽講生ハ制服、制帽ヲ着用セサルコトヲ得

第十章　入學檢定料、授業料
聽講料及實驗實習費

第四十四條　入學檢定料ハ金五圓トス

第四十五條　授業料及聽講料ハ次ノ通リトス

本科生及研究生ハ一學年八拾圓

選科生ハ一學年一學科目ニツキ金拾圓

聽講生ハ一學科目一年ニツキ金拾圓

第四十六條　本科生及研究生ノ授業料ハ次ノ二期ニ分チ每學期始業日ヨリ一週間以内ニ納付スヘシ

前	學 期	金四拾圓
後	學 期	金四拾圓

選科生ノ授業料ハ每年始業日ヨリ一週間以内ニ納付スヘシ、但シ學年ノ中途ニ於テ入學許可セラレタル者ハ其ノ年度ノ授業料ハ入學許可ヲ受ケタル日ヨリ一週間以内ニ納付スヘシ

聽講生ノ聽講料ハ聽講券ノ交付ヲ受クル際之ヲ納付スヘシ

第四十七條　生徒ニシテ學資ノ支辨困難ナル者ニハ學校長ノ見込ニ依リ授業料ヲ減免スルコトアルヘシ、但シ授業料ノ減免ハ學年每ニ之ヲ定ム若シ學年ノ中途ニ於テ之ヲ定メタルトキハ次ノ徵收期分

ヨリ減免ス

第四十八條　授業料ノ減免ハ其ノ必要ナル事情止ミタリト認メタル場合又ハ減免ヲ受クル者學業ヲ怠リ若クハ不都合ノ行爲アリタルトキハ之ヲ止ム

第四十九條　研究生及選科生ノ授業料ハ學校長ノ見込ニヨリ其ノ一部若クハ全部ヲ免除スルコトアルヘシ

第五十條　次ノ各號ノ一ニ該當スル者ヨリハ授業料ヲ徵收セス

1. 休學中ノ者
2. 大正四年三月文部省令第七號實業教員養成規程ニ依リ卒業後實業學校ノ教職ニ從事セントスル者ニシテ學校長ノ見込ニ依リ特ニ授業料ヲ免除セラレタル者

第五十一條　本科生及研究生ニシテ學年ノ中途ヨリ入學セル者、休學事故止ミ出席セル者又ハ授業料ノ減免ヲ止メラレタル者ニツキテハ八月分ヲ除キ一ケ月八圓ノ割ヲ以テ學期ノ餘月ニ對スル授業料ヲ指定ノ期日ニ一時ニ納付セシム

第五十二條　各學期始業前退學若クハ休學ヲ願出ツル者ノ授業料ハ之ヲ徵收セス、第五十條第二號ノ出願者ニ對シテハ其ノ決定ニ至ルマテ其ノ期ノ授業料徵收ヲ猶豫ス

第五十三條　研究生及選科生ノ實驗、實習ニ要スル費用ハ其ノ全部若クハ一部ヲ負擔セシムルコトアルヘシ

第五十四條　既納ノ入學檢定料、授業料、聽講料及實驗實習ニ要スル費用ハ何等ノ事由アルモ之ヲ返付セス

附　則

第五十五條　第四十七條、第四十八條、第五十一條中授業料減免ニ關スル規程ハ昭和六年四月一日ヨリ實施ス

V　商議委員會規程

第　一　條　文部省直轄諸學校官制第十九條ニ依リ長岡高等工業學校ニ商議委員會ヲ置ク

第　二　條　商議委員ハ六名以上トシテ次ノ人員中ヨリ之ヲ命ス

1. 文部々内高等官　　二名以内
2. 長　岡　市　長
3. 長岡商工會議所會頭
4. 教育又ハ實業ニ關シ知識經歷アルモノ　三名以上 / 七名以内

第　三　條　商議委員會ハ學校長之ヲ開キ文部大臣ノ諮問スル事項又ハ學校長ニ於テ必要ト認ムル事項ヲ審議スルモノトス但シ商議委員ニ於テ意見アルトキハ之ヲ議案トナスコトヲ得

第　四　條　商議委員會ノ議事ニ關スル規程ハ委員會ニ於テ之ヲ定ム

第　五　條　商議委員會ノ決議ハ學校長之ヲ文部大臣ニ報告スヘシ

ヨリ減免ス

第四十八條　授業料ノ減免ハ其ノ必要ナル事情止ミタリト認メタル場合又ハ減免ヲ受クル者學業ヲ怠リ若クハ不都合ノ行爲アリタルトキハ之ヲ止ム

第四十九條　研究生及選科生ノ授業料ハ學校長ノ見込ニヨリ其ノ一部若クハ全部ヲ免除スルコトアルヘシ

第五十條　次ノ各號ノ一ニ該當スル者ヨリハ授業料ヲ徴收セス

1. 休學中ノ者
2. 大正四年三月文部省令第七號實業教員養成規程ニ依リ卒業後實業學校ノ教職ニ從事セントスル者ニシテ學校長ノ見込ニ依リ特ニ授業料ヲ免除セラレタル者

第五十一條　本科生及研究生ニシテ學年ノ中途ヨリ入學セル者、休學事故止ミ出席セル者又ハ授業料ノ減免ヲ止メラレタル者ニツキテハ八月分ヲ除キ一ケ月八圓ノ割ヲ以テ學期ノ餘月ニ對スル授業料ヲ指定ノ期日ニ一時ニ納付セシム

第五十二條　各學期始業前退學若クハ休學ヲ願出ツル者ノ授業料ハ之ヲ徴收セス、第五十條第二號ノ出願者ニ對シテハ其ノ決定ニ至ルマテ其ノ期ノ授業料徴收ヲ猶豫ス

第五十三條　研究生及選科生ノ實驗、實習ニ要スル費用ハ其ノ全部若クハ一部ヲ負擔セシムルコトアルヘシ

第五十四條　既納ノ入學檢定料、授業料、聽講料及實驗實習ニ要スル費用ハ何等ノ事由アルモ之ヲ返付セス

附　則

第五十五條　第四十七條、第四十八條、第五十一條中授業料減免ニ關スル規程ハ昭和六年四月一日ヨリ實施ス

V　商議委員會規程

第一條　文部省直轄諸學校官制第十九條ニ依リ長岡高等工業學校ニ商議委員會ヲ置ク

第二條　商議委員ハ六名以上トシテ次ノ人員中ヨリ之ヲ命ス

1. 文部々内高等官　二名以内
2. 長岡市長
3. 長岡商工會議所會頭
4. 教育又ハ實業ニ關シ知識經歷アルモノ　三名以上七名以内

第三條　商議委員會ハ學校長之ヲ開キ文部大臣ノ諮問スル事項又ハ學校長ニ於テ必要ト認ムル事項ヲ審議スルモノトス但シ商議委員ニ於テ意見アルトキハ之ヲ議案トナスコトヲ得

第四條　商議委員會ノ議事ニ關スル規程ハ委員會ニ於テ之ヲ定ム

第五條　商議委員會ノ決議ハ學校長之ヲ文部大臣ニ報告スヘシ

Ⅵ 細　則

1. 學生ニ關スル規程（大正十三年四月制定 昭和二年五月改正）

第一條　學生ハ本校教育ノ趣旨ヲ體シ其本分ヲ全ウセンコトヲ期スヘシ

第二條　各學級ニ學級總代二名ヲ置キ其學級ヲ代表セシム學級總代ハ其學級生ノ互選ニヨル候補者中ヨリ學校長之ヲ任命シ任期ハ一ケ年トス但シ第一學年ニアリテハ入學ノ當初ハ學校長之ヲ選任シ六月前記ノ手續ニヨリ之ヲ選定ス

學生ニシテ次ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ總代タルヲ得ス

1. 學業成績不良ニヨル原級者
2. 前學期成績不良ニシテ進級ニ支障ヲ來スト認メラレタル者
3. 受罰中ノ者
4. 出席率 D. E. Fノ者
5. 其他役員トシテ不適當ト認メラレタルモノ

第三條　學校長ノ許可ナクシテ團體ヲ組織スルヲ得ス

第四條　次ノ場合ニハ豫メ生徒主事ノ許可ヲ受クヘシ

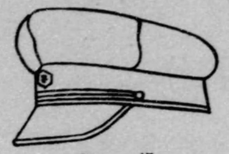
1. 集會ヲ催サントスルトキ
2. 揭示又ハ貼紙ヲナサントスルトキ
3. 新聞雜誌等ニ寄稿セントスルトキ
4. 書畫印刷物ノ頒布ヲナサントスルトキ

第五條　諸會合ノ爲メ校舍ノ一部ヲ使用セントスル場合ハ其都度（ナルヘク前日マテニ）庶務課ニ申出テ許可ヲ受クヘシ

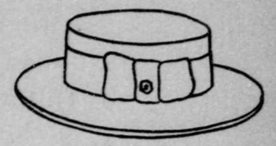
第六條　校內ニアリテハ所定ノ場所以外ニ於テ飮食又ハ喫煙スヘカラス

第七條　次ノ場合ニハ直ニ學生課ニ屆出ツヘシ

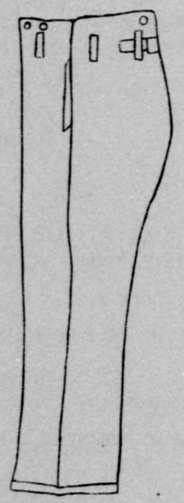
1. 遲刻、缺課又ハ缺席シタルトキ（病氣缺席一週間以上ニ及フトキハ醫師ノ診斷書添附）


制帽

徽章


略帽

釦

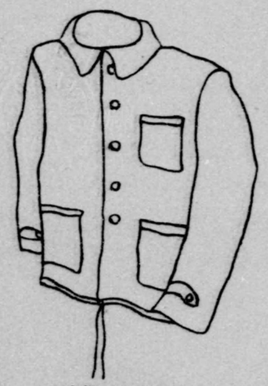

袴

上衣（前釦3袖釦2）

チヨツキ（胸釦5）

教練用茶褐色
雲 斉 織

化學實驗用
白綾小倉地



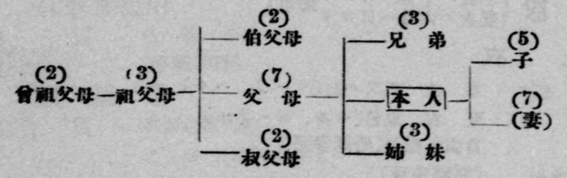
電氣機械實習服上衣

2. 宿所ヲ變更シタルトキ
3. 金錢物品ヲ紛失又ハ拾得シタルトキ
4. 校舍ヲ損傷シ又ハ器具ヲ毀損亡失シタルトキ

第 八 條　願書、屆書ハ特ニ規程アルモノノ外ハ總テ學校長宛ニ認メ學生課ニ差出シ其指揮ヲ受クヘシ

願書、屆書ノ樣式又ハ用紙ハ學生課ニ備付アレハ必要ニ應シ該課ニ請求スヘシ

學 生 忌 引 表



本表ニ於ケル父母トハ實父母、養父母、繼父母ノ意ニシテ配偶者ノ父母ハ五日トス

2. 學生服裝規程 (大正十三年四月制定 昭和二年五月改正)

第一條　本校學生ノ服制次ノ如シ

1. 制帽

地質　黒絨
型　海軍型(略圖參照)
帽章　雪模様ノ中心ニ高工ノ二字ヲ打出ス(略圖參照)
眼庇　黒革
紐　黒革

2. 制服 (冬衣ハ十月一日ヨリ 夏衣ハ六月一日ヨリ 着用)

上衣

地質　冬衣　黒又ハ紺(サージ、ヘル)
　　夏衣　鼠色(セル、ポーラー)
型　背廣折襟型(略圖參照)
胸釦及袖釦　(略圖參照)

チヨツキ

地質　冬上衣ニ同シ(夏ハ用ヒス)
型　普通

ズボン

地質　夏冬共上衣ニ同シ
型　長ズボン

其他

カラー　ダブル
ネクタイ　黒色無地
ワイシヤツ　白色無地

3. 外套

地質　適宜
型　マント又ハオバーコート

4. 靴

地質　黒靴
型　編ミ上グ又ハ深ゴム

5. 略帽

地質　麥稈
型　一文字形黒リボン(略圖參照)
帽章　帽章ハリボン結目ニ附ス

6. 作業服

電氣、機械工場用

地質　鼠色霜降小倉
型　上衣(略圖參照)
　　ズボン　長ズボン

化學實驗用

地質　白綾小倉
型　(略圖參照)

教練用

地質　茶褐色雲斉織
型　上衣(略圖參照)
　　ズボン　長ズボン

第二條　登校ノ際ハ必ラス制服制帽ヲ着用シ靴ヲ穿ツモノトス之レニ依ルコトヲ得サルモノハ其都度學生課ニ届出ツヘシ

第三條　儀式ノ際ハ正装スヘシ
正装トハ制服ヲ着ケ上衣ノ釦ヲ掛ケ制帽ヲ冠リ且ツ黒革靴ヲ穿ツモノトス

第四條　教室内ニアリテハ授業ヲ受クル際ハ制服ヲ着用シ實習、化學實驗又ハ教練ニ際シテハ作業服ヲ着用スルヲ本則トス但シ何等ノ場合ヲ問ハス和服ニテ作業服ニ代用スルコトヲ許サス

第五條　夏期ト雖體操教練時ニハ略帽ノ着用ヲ禁ス

第六條　新入學生ハ入學後一ケ月以内ニ本規程ノ服裝ヲ調フヘシ但制帽ニ限リ一週間以内トス

附則

入學前使用セル被服ニシテ本校所定ノ服制ニ適合セシメ得ヘキモノハ之ヲ着用スルコトヲ得、但シ一應學生課ニ承合スヘシ

3. 保 證 人 規 程

第 一 條　本校ヨリ入學許可ノ通知ヲ受ケタル者ハ規定ノ出校日ヨリ五日以内ニ保證人ヲ定メ連署ヲ以テ別紙樣式ニ依リ在學證書ヲ差出スヘシ

第 二 條　保證人ハ學生ノ近親者若クハ學校長ノ承認シタル成年者ニシテ學生ニ關スル一切ノ責任ヲ負フモノタルヘシ但シ保證人中ニハ男子ノ在ルコトヲ要ス

第 三 條　保證書中記載ノ事項ニ異動ヲ生シタル場合ハ直ニ届出テ又保證人ノ變更ヲ要スル場合ハ新ニ在學證書ヲ差出スヘシ

第 四 條　必要ニ應シ學校長ハ別ニ保證人代理ヲ立テシムルコトアルヘシ

（樣　式）

在　學　證　書

長岡高等工業學校長福田爲造殿

私は此度長岡高等工業學校に入學を許されましたことを大變に嬉しく思ひます 親兄弟はもとより親族知人まで私の爲めに祝福して居ります

私は學校の皆樣方の御教導により勉學修養心身の涵養に努め學友と力を協せ共に共に研鑽につとめ 立派に入學の目的を達する樣努力することを茲に誓ひます

學　科　名			
氏　名	Rōmazi 漢　字		印

上の者が此度御校に入學を許されましたことは私共の衷心から悦ぶ次第で御座います

就きましては御校の皆樣方が當人を親撻教育し當人が心身健全で高等の工業的技術に通ずる社會須要の人となる樣 御教導の程御願ひ申上ます、私共も今後當人を充分督勵しまして勉學修養入學の初一念を貫徹させ以て學校の教育目的に副ふ樣一同擧つて御校に協力致します

申す迄もなく當人と學校との間に起る凡ての事柄につきましては私共が責任を負うて御引受致します

昭和　年　月　日

代表保證人	原籍	Rōmazi 漢　字				
	住所	Rōmazi 漢　字				
	氏名	Rōmazi 漢　字				印
	職業 學生トノ續柄					
其ノ他ノ保證人	學生トノ續柄	氏　名		學生トノ續柄	氏　名	

注 意

Ⅰ 保證人としては單に形式的に一人が捺印されるよりも父母兄姉などが學生の成業を希望さるゝ意味を以て家族親戚が保證人として數に多く署名さるゝことを學校は望みます

Ⅱ 本文をよく讀んで各自署名して下さい、但し Rōmazi の所は學生に書かせてもよろしい

Ⅲ 文字は總てペン書きのこと

4. 成績考査細則 (大正十三年十月制定 昭和二年四月改正)

第一章 總 則

第一條 學生ノ成績ハ本校規則及本細則ニヨリ之ヲ考査ス

第二條 學生ノ成績ハ學期成績及學年成績ニヨリ之ヲ考査ス

第三條 學期成績ハ各學科目ノ評點並ニ其總平均點ヲ以テス

第四條 各學科目ノ學期成績ハ該學期間ノ試驗點並ニ平常點ヲ各受持教官ニ於テ適當ニ平均シ且ツ出席狀況ヲ考慮シテ之ヲ評點ス但シ體操、製圖、實驗實習ノ學期成績ハ平常點ト出席狀況トノミニヨリ之ヲ評點スルコトヲ得

第五條 學年成績ハ各學科目學年評點並ニ其ノ總平均點ヲ以テス、各學科目學年評點ハ其ノ學科目ノ前後兩學期成績ノ平均點ヲ以テス

第六條 各學科目ノ評點ハ100ヲ滿點トシテ正ノ整數ヲ以テ之ヲ表ハス評點ノ平均ニ於テハ小數第一位迄ヲトリ之ヲ四捨五入ス

第七條 成績ハ次ノ評語ヲ以テ之ヲ表ハス

A (100——85) B (84——70) C (69——60)
D (49——40) E (39——30) F (29—— 0)

第八條 學科目ノ性質ニヨリ一學科目ヲ分チテ數學科目ト看做シ又ハ數學科目ヲ併セテ一學科目ト看做シテ之ヲ評點スルコトアルヘシ

第九條 出席率ハ次ノ評語ヲ以テ之ヲ表ハス

A 皆出席又ハ缺席時數カ授業總時數ノ$^{2}/_{100}$ヲ超エサルモノ
B 缺席時數カ授業時數ノ$^{2}/_{100}$ヲ超エ$^{10}/_{100}$ヲ超エサルモノ
C 同 $^{10}/_{100}$ 同 $^{20}/_{100}$ 同
D 同 $^{20}/_{100}$ 同 $^{30}/_{100}$ 同
E 同 $^{30}/_{100}$ 同 $^{40}/_{100}$ 同
F 同 $^{40}/_{100}$ヲ超エタルモノ

第十條 試驗ハ定期及隨時ノ二種トス
定期試驗ハ筆記試驗トシ每學期末期日ヲ定メテ一回之ヲ行フ但シ隨時試驗ヲ數回行フモノハ學校長ノ許可ヲ得テ定期試驗ヲ行ハサルコトヲ得
隨時試驗ハ每學期一回以上之ヲ行フ但シ特別ノ事情アルモノハ學校長ノ許可ヲ得テ之ヲ行ハサルコトヲ得
隨時試驗ノ時期並ニ其ノ取扱ハ各受持教官ノ隨意トス但シ都合ニヨリテハ七月及十二月ニ於ケル授業終了日ト其ノ前日トノ二日以內ニ纏メテ之ヲ行フコトヲ得

第十一條 定期試驗ニ應セサリシ學科目ノ成績ハ零點トス但シ受驗不能ノ理由學校長ニ於テ之ヲ正當ナリト認メタル者ハ追試驗ヲ受クルコトヲ得
後學期定期試驗ニ缺席シ追試驗ヲ受クルモ合格ノ見込ナキ者ニ對シテハ追試驗ヲ行ハスシテ之ヲ原級ニ留ム

第十二條 前學期末ニ於テハ期日ヲ定メテ受持教官ヨリ學期成績ヲ教務課ニ報告シ該課ニテ整理ノ上之ヲ發表ス

第十三條 學年末ニ於テハ期日ヲ定メテ受持教官ヨリ後學期成績ヲ教務課ニ報告シ該課ニテ學年成績ヲ整理シ教官會議ノ議ニ附シ學校長ノ裁定ヲ經テ後教務課ヨリ之ヲ發表ス

第二章 合格、不合格及修業

第十四條 學年成績ニ於テ各學科目ノ評點C以上總平均點B以上ノモノハ學業成績合格トス

第十五條 次ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ進級又ハ卒業セシメス但シ詮議ノ上特ニ進級又ハ卒業セシムルコトアルヘシ

1. 學業成績不合格ノモノ
2. 出席率D. E. Fノモノ
3. 素行良カラサルモノ

第十六條 學業成績不合格ノモノニ對シテハ特ニ詮議ノ上再試

驗ヲ行フコトアルヘシ

再試驗ヲ行フヘキモノハ總平均點B以上ニシテEノモノ一學科目又ハDノモノ二學科目以內ノ者ニツキ教官會議ノ議ヲ經テ之ヲ決定ス體操、製圖、實驗實習ニ對シテハ再試驗ヲ行ハス但シ是等ノ學科目中特ニ試驗ニヨリテ評點セシトキハ前二項ヲ適用ス

第十七條　第三學年學年成績ニ於テ各學科目C以上ニシテ總平均點Cノモノニハ本人ノ希望ニヨリ詮議ノ上修業證書ヲ與フルコトヲ得

第三章　追試驗

第十八條　定期試驗ニ應スルコト能ハサル者ハ試驗前ニ其ノ事由ヲ詳記シ追試驗ヲ願出ツヘシ不慮ノ事故發生ノタメ右ノ願出ヲナシ得サリシモノハ試驗後三日以內ニ本人若クハ保證人又ハ友人ヨリ之ヲ願出ツヘシコノ期限內ニ願出サルモノハ追試驗ヲ受クルコトヲ得ス

不受驗ノ事由病氣ニ係ルモノハ醫師ノ診斷書ヲ附スルヲ要ス

第十九條　追試驗ハ當該試驗執行後三十日以內ニ之ヲ行フ但シ學校長ニ於テ特別ノ事情ヲ認メタルトキハ右ノ期限外ニ之ヲ行フコトアルヘシ

第二十條　追試驗ノ成績ハ得點ノ $^{80}/_{100}$ ヲ以テ評點トス但シ次ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ減點セス

1. 徵兵關係ニヨルモノ
2. 忌引ニヨルモノ
3. 特別ノ事情ヲ學校長ニ於テ承認シタルモノ

第四章　再試驗

第二十一條　再試驗ハ學年成績D. Eノ學科目ニ對シ前學年間ニ於テ履修セシ全部ニ亙リ一度ニ之ヲ行フモノトシ筆記、口述何レノ試驗ニヨルモ妨ケス

第二十二條　再試驗ハ每年四月上旬之ヲ行フ但シ學校長ニ於テ特別ノ事情アリト認メタルモノハ右ノ期限外ニ之ヲ行フコトアルヘシ

第二十三條　再試驗ニヨル學業成績合格者ノ再試驗學科目ノ成績ハCナル評語ヲ以テ之ヲ表ハス

第二十四條　再試驗ハ其學科目ニ對スル前學年ニ於ケル受持教官之ヲ行フモノトス其ノ教官不在又ハ止ムヲ得サル事情アルトキハ學校長ヨリ適當ナル教官ニ命シテ之ヲ行ハシム

第五章　原級者

第二十五條　原級者カ課程ヲ再修スルニ當リ前年度ニ於テB以上ヲ得タル學科目ニ對シテハ受持教官ノ意見ニヨリ學校長ノ許可ヲ得テ本人ノ出席ヲ免除スルコトヲ得此場合當該學科目ノ評點ハ前年度ノモノヲ以テス但シ本人ノ希望ニヨリ試驗ヲ受ケタル場合ハ前後比較シテ高キモノヲ採ル

上記ノ出席免除者ハ他ノ學科目ニ出席セシムルカ、圖書館實驗實習場其ノ他適當ナル場所ニ於テ特別ノ研究若クハ自習ヲナサシメ又ハ宿題、論文ヲ課シ或ハ其ノ他ノ方法ニヨリ之ヲ指導ス

第六章　補　則

第二十六條　前學期成績並ニ學年成績ノ發表ニ當リテハ各學科目ノ成績及其ノ總平均點ヲ評語ヲ以テ表シ且ツ席次ヲ附シタル成績表ヲ學年別ニ作製シ之ヲ學生ト代表保證人トニ交附發表シ全般ニハ公表セス

第二十七條　席次ハ上位ヨリ五人宛ヲ一組トシ次ノ記號ヲ以テ之ヲ示ス但シ最後ノ組ノ人數二人以內ノトキハ其ノ上位ノ組ニ合セ七人組又ハ六人組ヲ作ルモノトス

1 ～ 5
40 － 3

コヽニ 1～5 トハ一番ヨリ五番マテノ席次ニアルノ意ニシテ 40－3 トハ四十人中試驗ヲ受ケサルモノ三名アリトノ意ナリ

第三十七條　評點ハ之ヲ發表セサルモノトス但シ上級官廳並ニ父兄保證人等ヨリ問合セアリテ敎務課ニ於テ發表ノ必要アリト認ムル場合ハ學校長ノ承認ヲ經テ之ヲ爲スコトヲ得

契印

卒業證書

府縣族籍

氏名

年月日生

校印

右者本校所定ノ電氣工學科 機械工學科 應用化學科課程ヲ修メ正ニ其業ヲ卒ヘタリ仍テ之ヲ證ス

年月日

長岡高等工業學校長位勳氏名 印

電(機)(化)第號

契印

修業證書

府縣族籍

氏名

年月日生

校印

右者本校所定ノ電氣工學科 機械工學科 應用化學科課程ヲ履修セリ仍テ之ヲ證ス

年月日

長岡高等工業學校長位勳氏名 印

電(機)(化)第號

5. 定期見學旅行規程（昭和六年二月制定）

第 一 條　本校ハ各科第二學年ノ終リニ於テ工場見學旅行ヲ行フ、其期間ハ十日以內トス

第 二 條　各科長ハ見學旅行計畫書ヲ二月十五日迄ニ教務課ニ提出スルモノトス

第 三 條　見學旅行計畫書ニハ見學生徒氏名日程（各工場參觀時刻ヲ含ム）見學先名稱、場所、見學許否交涉先並ニ旅費概算ヲ記載スルモノトス

第 四 條　見學旅行計畫ハ學校長ノ許可ヲ受クルモノトス

第 五 條　教務課ハ右計畫書ニヨリ見學先ニ交涉スルモノトス

第 六 條　學生課ハ生徒主事ノ指揮ヲ受ケテ見學旅行ノ趣旨、日程及概算旅費ヲ代表保證人ニ通告スルモノトス

第 七 條　指導教官ハ旅行終了後直ニ其旨教務課ヲ經テ學校長ニ報告スルモノトス

教務課ハ右報告ニヨリ見學先へ禮狀ヲ發送ス

第 八 條　指導教官ハ引率スル生徒ニ對シ旅行日程書及旅費概算書ヲ渡スモノトス

第 九 條　指導教官ハ見學スル工場ノ事業ノ種類設備等ニ關スル概況ヲ生徒ニ知ラシメ（成ル可ク印刷スルコト）見學工場ニ關スル概念ヲ與フルモノトス

第 十 條　指導教官ハ工場見學ノ際注意スヘキ要點ヲ說示シ出來得レハ問題ヲ提出シテ 報告書中ニ其所見ヲ記入セシムルモノトス

第十一條　指導教官ハ引率生徒ト行動ヲ共ニシ別ニ定ムル工場見學心得ヲ遵守セシムル樣注意スルモノトス

第十二條　指導教官ハ見學報告書ヲ取リ纏メ之ヲ科長ニ提出スルモノトス

6. 校外實習並ニ見學ニ關スル規程（昭和六年二月制定）

第 一 條　本校ハ休業中生徒ヲシテ校外工場ノ實習並ニ見學ヲナサシム

第 二 條　前條ノ實習ハ第三學年生ニ夏季休業中各二週間以上行ハシムルヲ本旨トシ事情ニヨリ第二學年生ニモ實習セシム

第 三 條　各科長ハ夏季校外實習ヲナサントスル生徒ノ氏名實習希望先（工場名及所在）實習日數ヲ調査シ五月二十日迄ニ教務課ニ報告スルモノトス

第 四 條　教務課ハ前條ノ報告ニヨリ日程其他ノ事項ニ付實習希望先ニ交涉シ其結果ヲ科長ニ通報スルモノトス

第 五 條　各科長ハ實習生ノ實習項目又ハ研究項目ノ決定及見學工場等ニ關シ指導スルモノトス

第 六 條　科長ハ實習生ヲシテ實習又ハ研究報告書ヲ提出セシメ之ヲ一括シテ概評ヲ附シ教務課ヲ經テ學校長ニ供閱スルモノトス

第 七 條　教務課ハ校外工場實習又ハ工場見學ヲナサントスルモノニ對シ依頼狀ヲ交附シ終了後ハ之レヲ同課ニ返附セシム

該依頼狀ハ卒業ノ際本人ニ返附スルモノトス

第 八 條　鐵道機關車實習ハ左記ノ條件ニ據リテ之レヲ許シ其期間ハ五日以內トス

1. 機關車實習ハ機械工學科第三學年生ニ限ルコト
2. 一人一回ヲ許可スルコト
3. 右許可申請ハ夏季休業前學期末ニ於ケル授業休止ノ期間及冬季休業中ニ限リ之ヲ行フコト

科長ハ實習希望者ノ氏名實習時期便乘區間等ヲ教務課ニ報告シ教務課ハ機關車實習許可ノ手續ヲナス

7. 校務分掌規程 {大正十三年 四 月制定 / 同 十三年十一月改正 / 同 十四年三 月 同}

第 一 章

第 一 條　各科ニ科長ヲ置キ教官中ヨリ學校長之ヲ命ス

第 二 條　次ノ各學科目ニ擔任教官二名以上アルトキハ代表者一名ヲ主任トシ其ノ教官中ヨリ學校長之ヲ命ス但シ電氣工學、機械工學、化學ニ關スル諸學科目ノ代表者ハ夫々電氣工學科長、機械工學科長及應用化學科長ヲ以テ之ニ充ツ

A 修　　身
B 體　　操
C 英語及獨逸語
D 數　　學
E 力學及物理學及物理學實驗
F 經營經濟及法制
G 工場管理
H 電氣工學ニ關スル諸學科目
I 機械工學ニ關スル諸學科目
J 化學ニ關スル諸學科目

第 三 條　學校長ヲ輔佐シ校務ヲ整理スル爲メ必要アルトキハ幹事一名ヲ置キ教官中ヨリ學校長之ヲ命ス

第 四 條　一般事務ヲ分掌スル爲メ次ノ六課ヲ置ク

庶 務 課　　會 計 課　　教 務 課
學 生 課　　圖 書 課　　調査計畫課

各課ニ主任ヲ置キ職員中ヨリ學校長之ヲ命ス

學生課ノ事務ハ生徒主事之ヲ管理ス

第 五 條　學校長ノ諮詢ニ應ヘ又ハ校務ヲ審議シ統一ヲ圖ル爲メ次ノ會議ヲ開クコトアルヘシ

商議委員會

評議員會　幹事、生徒主事、各科長、學科目主任中ヨリ委員ヲ命シ學校長之ヲ召集ス

職 員 會　審議ノ内容ニヨリ關係職員ノミヲ召集スルコトアルヘシ

第 六 條　學校衛生ヲ掌理スル爲メ學校醫ヲ置ク

學校衛生ニ關シ意見ヲ具申シ又ハ諮詢ニ應ヘ其他重要ナル學校衛生事務ニ參與セシムル爲メ必要ニ應シ衛生顧問ヲ置ク

第 七 條　事務分掌ノ如何ニ關セス必要ニ應シ別ニ委員ヲ設ケ之ヲ處理スルコトアルヘシ

第 二 章 事務分掌

第 一 節 總　　則

第 八 條　校務ハ學校長ノ決裁ヲ經ルニアラサレハ之ヲ施行スルコトヲ得ス但シ重要事項ニアラスシテ常例ニ係ルモノ又ハ特ニ學校長ヨリ委任セラレタルモノハ此ノ限リニアラス

第 九 條　事務ニシテ他課ニ關聯スルモノハ關聯各課ニ合議スルヲ要ス

第 十 條　各課所定ノ事務ノ外必要ニ應シ臨時事務ヲ命スルコトアルヘシ

第十一條　各課ノ事務ニシテ繁忙ノ際ハ他課員ノ助力ヲ乞フコトヲ得

第十二條　本校ノ事務ニシテ所屬不明ノモノアリタル場合ハ學校長ノ指揮ヲ受ケ其所屬ヲ定ム

第十三條　本校ノ事務中例規ニ關スル事項ハ必ス庶務課ニ回議スヘシ

第十四條　次ノ事項ハ各課ニ於テ分掌スヘシ

1. 其ノ課ニ屬スル細則制定改廢ニ關スルコト
2. 年中行事ヲ作製スルコト
3. 其ノ課記錄ニ關スル事項

4. 其ノ課所屬ノ文書起案並文書帳簿整理保存ニ關スル事項
5. 其ノ課員ノ事務分掌
6. 前各號以外ノ其ノ課ニ屬スル一般事務

第二節 事務分掌

第十五條　科長ニ於テ掌理スル事務ノ要項次ノ如シ

1. 其ノ學科ノ統一進歩ノ爲メ必要ナル處置
2. 其ノ學科工場ニ關スル事項
3. 機械、器具、圖書、標本等諸設備ニ關スル事項
4. 卒業者就職ニ關スル事項

第十六條　學科目主任ノ擔任スヘキ事務ノ要項次ノ如シ

1. 其ノ學科目ノ統一進歩ノ爲メ必要ナル處置
2. 教授要目ニ關スル事項
3. 授業分擔ニ關スル事項
4. 機械、器具、圖書、標本等諸設備ニ關スル事項

第十七條　各教官ノ擔任スヘキ教育事務要項次ノ如シ

1. 生徒ノ操行勤惰成績等ニ關スル事項
2. 其ノ他生徒敎養ニ關係アル一切ノ事項（生徒ノ訓育ニ關シテハ生徒主事ト協力スルコト）

第十八條　生徒主事ノ擔任スヘキ事務要項次ノ如シ

1. 學生訓育ノ統一ニ關スル事項
2. 學生課ノ事務管理
3. 其他學生訓育ニ關スル一切ノ事項

第十九條　庶務課ニ於テ掌理スル事務ノ要項次ノ如シ

1. 御眞影及勅語謄本ニ關スル事項
2. 學校長ノ官印及學校印ノ保管ニ關スル事項
3. 校族ニ關スル事項
4. 職員以下ノ進退身分及服務ニ關スル事項但シ傭人ノ進退ハ學校長ノ特ニ命シタル委員ノ詮議ニ依ラシムルコトアルヘシ
5. 文書ニ關スル事項

6. 諸規程內規ニ關スル事項
7. 校報ニ關スル事項
8. 儀式ニ關スル事項
9. 諸會議ニ關スル事項但シ議事ノ內容ニヨリ各課ニ分屬セシム
10. 統計、年報、一覽及官報報告等ニ關スル事項
11. 寄贈願處理ニ關スル事項
12. 參觀人ニ關スル事項但シ視察事項ニツキ各課ニ分屬セシム
13. 在外研究員ニ關スル事項
14. 諸證明書ニ關スル事項
15. 諸記錄ニ關スル事項
16. 宿直ニ關スル事項
17. 警備並非常手配等ニ關スル事項
18. 他課ニ屬セサル一切ノ事項

庶務課ハ別ニ定ムル樣式ニ依リ庶務課報告ヲ作製シ供閱ニ付スヘシ

第二十條　會計課ニ於テ掌理スル事務ノ要項次ノ如シ

1. 歲入歲出豫算、決算及出納ニ關スル事項
2. 資金ニ關スル事項
3. 國有財產ノ管理及營繕ニ關スル事項
4. 物品ノ購買及修理ニ關スル事項
5. 不用物品ノ處分ニ關スル事項
6. 物品ノ出納及保管ニ關スル事項
7. 給水、瓦斯、暖房、電燈及電話ニ關スル事項
8. 人夫ノ傭入ニ關スル事項
9. 校地校舍ノ淸掃保全ニ關スル事項
10. 寄贈金品ニ關スル事項

支出官印ハ學校長又ハ其委任者之ヲ保管ス

第二十一條　敎務課ニ於テ掌理スル事務ノ要項次ノ如シ

1. 學課科程並ニ敎授要目ニ關スル事項

2. 教官ノ授業分擔及授業時間割ニ關スル事項
3. 教室及教具ノ設備ニ關スル事項
4. 教科書、參考書並教授用印刷物ニ關スル事項
5. 授業及休業ニ關スル事項
6. 學生ノ學籍及兵役ニ關スル事項
7. 學生ノ學業成績並進級及卒業ニ關スル事項
8. 學生募集並入學ニ關スル事項
9. 試驗問題及答案ニ關スル事項
10. 成績證明及在學證明ニ關スル事項
11. 修學旅行及研究派遣ニ關スル事項
12. 校外實習ニ關スル事項
13. 講習會等ニ關スル事項
14. 卒業者ニ關スル事項

教務課ハ別ニ定ムル樣式ニ依リ教務課報告ヲ作製シ供閲ニ付スヘシ

第二十二條　學生課ニ於テ掌理スル事務ノ要項次ノ如シ

1. 學生ノ訓育並風紀取締ニ關スル事項
2. 學生心得及服制ニ關スル事項
3. 學生ノ勤怠賞罰ニ關スル事項
4. 學生乘車船割引券並學生身分證明ニ關スル事項
5. 體育並衞生ニ關スル事項
6. 學生ノ集會ニ關スル事項
7. 學生ノ貸費給費ニ關スル事項
8. 學生ノ退學及休學ニ關スル事項
9. 學生ノ諸願伺及届書ニ關スル事項
10. 學級總代ニ關スル事項
11. 收得物及遺失物等ニ關スル事項
12. 學生ノ宿所ニ關スル事項
13. 其他學生ニ關スル一切ノ事項

學生課ハ別ニ定ムル樣式ニ依リ學生課報告ヲ作製シ供閲ニ付スヘシ

第二十三條　圖書課ニ於テ掌理スル主ナル事務ノ要項次ノ如シ

1. 購入圖書ノ審査並ニ檢査ニ關スル事項
2. 圖書ノ保管整理出納ニ關スル事項
3. 圖書臺帳並目錄ニ關スル事項
4. 書庫閲覽室ニ關スル事項
5. 圖書閲覽及貸付ニ關スル事項
6. 寄贈圖書ニ關スル事項
7. 圖書印ノ保管ニ關スル事項

圖書課ハ別ニ定ムル樣式ニ依リ圖書課報告ヲ作製シ供閲ニ付スヘシ

第二十四條　調査計畫課ニ於テ掌理スル主ナル事務ノ要項次ノ如シ

1. 各課ノ事務計畫ノ連絡、統一、進歩ノ爲メ必要ナル處置
2. 調査、研究資料ノ蒐集整理ニ關スル事項
3. 調査、研究、計畫等ノ發表報告ニ關スル事項
4. 新事業ノ計畫ニ關スル事項

調査計畫課ハ別ニ定ムル樣式ニ依リ調査計畫課報告ヲ作製シ供閲ニ付スヘシ

第二十五條　學校醫ノ掌理スル事務ノ要項次ノ如シ

1. 學校醫ノ職務ニ關シテハ「學校醫ノ資格及職務ニ關スル規程」第二條乃至第十條ヲ準用ス但シ本規程ニ別段ノ定メアルモノハ此限リニアラス
2. 學校醫ハ每週一回教授時間內ニ出校シ衞生事務ヲ視察スヘシ
   其他學校長ヨリ請求アリタルトキハ臨時出頭執務スヘシ
3. 學校醫ハ入學志願者ノ身體檢査ヲナスヘシ
4. 學校醫ハ學校長ノ要求アリタル場合ハ職員學生傭人等ノ病症ニ對シ之ヲ診察シ又ハ診斷書ヲ作製スヘシ

第二十六條　各課備付重要帳簿ハ時々學校長ノ檢閲ヲ受クヘシ

8. 文書處理規程（大正十三年四月制定）

第一條　學校宛又ハ學校長宛ノ公文書ハ庶務課ニ於テ接受開封シ文書番號簿ニ登錄シ收受ノ番號及年月日ヲ記入ノ上直ニ各部局ニ配付スヘシ

第二條　收受シタル文書ハ各部局ニ於テ審議調査ノ上處分案ヲ具シ學校長ノ決裁ヲ受クヘシ

第三條　回議書ハ一定ノ紙ヲ用フヘシ但シ事ノ輕易ナルモノハ回議書ニ依ラス本書ノ餘白ニ文案ヲ朱記シ決裁ヲ受クルコトヲ得

第四條　他課ニ關聯スル文書ハ其ノ課ニ合議又ハ回覽スヘシ

第五條　決裁ヲ要セサル文書ハ學校長ノ閱覽ニ供スヘシ

第六條　學校長ニ提出ヲ要スル文書ハ庶務課ヲ經由スヘシ

第七條　發送ヲ要スル決裁濟ノ文書ハ淨寫校合シ其ノ回議書ヲ添ヘ庶務課ニ送付スヘシ

第八條　凡テ發送ヲ要スル文書ハ庶務課ニ於テ文書番號簿ノ番號ヲ付シテ發送ノ手續ヲナシ回議書ニ施行月日及番號ヲ記入シテ主務課ニ返付スヘシ

第九條　同一事件ノ往復文書ハ必ス合綴シ始終同一番號ヲ用フヘシ

第十條　機密ニ屬スル文書ノ取扱ハ本規程ニ依ラサルコトアルヘシ

第十一條　發送又ハ收受ノ文書中指令又ハ回答等ヲ要セサルモノハ庶務課ニ於テ文書番號簿ニ「發切」又ハ「受切」ト記シテ其ノ區別ヲ明カニスヘシ

第十二條　處分濟ノ文書ハ各主務課ニ於テ之ヲ類別シ各類每ニ年月日ノ順ヲ追ヒ之ヲ編綴保存スヘシ但シ文書保存期限ニ關シテハ別ニ之ヲ定ム

9. 職員服務規程（大正十三年四月制定）

第一條　本校ノ執務時間ハ官廳執務時間ニ依ル但シ敎官及之ニ準スル者ニツイテハ學校長別ニ之ヲ定ム

第二條　病氣其他ノ事故ニ依リ遲刻又ハ缺勤セントスルモノハ出勤時刻前ニ其旨届出ツヘシ尙缺勤七日以上ニ渉ルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘシ

父母ノ祭日ニ休暇セントスルモノハ其前日迄ニ届出ツヘシ

第三條　賜暇ヲ受ケントスルモノハ事由日時ヲ詳記シ旅行セントスルモノハ事由日限及行先地ヲ具シ豫メ許可ヲ受クヘシ

第四條　出張ヲ命セラレタルモノハ出發及歸校ノ際其旨届出ツヘシ

第五條　新任者ハ本校所定ノ用紙ニ履歷書並ニ現住所及原籍届ヲ庶務課ニ差出スヘシ

現住所並原籍ニ變更ヲ生シタル場合亦同シ

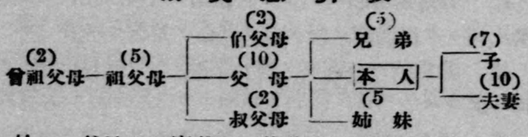
第六條　官廳其他ヨリ本校ヲ經由セスシテ直接ニ辭令ヲ受ケタルトキ其他履歷ニ關スル變動アルトキハ其都度學校長ニ届出ツヘシ

第七條　他ノ囑託ニ應セントスルモノハ豫メ學校長ノ承認ヲ經ヘシ尙一定ノ報酬ヲ受クル場合ハ學校長ヲ經テ文部大臣ノ許可ヲ受クヘシ

第八條　本校ニ非常アル場合ハ直ニ出校スヘシ

第九條　本規程ニ依リ學校長ニ差出スヘキ文書ハ總テ庶務課ヲ經由スヘシ

職員忌引表



本表ニ於ケル父母トハ實父母、養父母、繼父母ノ意ニシテ配偶者ノ父母ハ五日トス

10. 傭人規程（大正十三年四月制定 昭和二年十月改正）

第一章 總則

第一條　傭人ハ庶務課監督ノ下ニ各所屬上司ノ指揮ヲ受ケ職務ニ從事スヘシ

第二條　每朝出勤シタルトキハ直チニ出勤簿ニ捺印スヘシ

第三條　疾病其ノ他已ムヲ得サル事故ニ依リ缺勤セントスルトキハ出勤時間前ニ其ノ旨屆出ツヘシ　又同樣ノ事由ニ依リ勤務時間中退出セントスルトキハ所屬上長ニ申シ出テ許可ヲ受クヘシ

第四條　勤務中ハ制服ヲ支給セラレタルモノハ之ヲ着用シ容儀ヲ正シクシ禮節ヲ重シ人ニ接スルニ丁寧懇切ヲ旨トスヘシ

第五條　已ムヲ得サル場合ノ外ハ詰所ニ他人ヲ導クヘカラス

第六條　傭人ノ勤務時間ハ別ニ定メアルモノヽ外午前七時三十分ヨリ午後五時迄トス但シ公務繁劇ノ場合ハ此ノ限リニアラス

第七條　次ノ日ニハ特別ノ校用ナキ場合ニ限リ休暇スルコトヲ得

1. 休　日　（祝日及祭日）
2. 休暇日　（日曜日、一月一日ヨリ三日迄十二月二十九日ヨリ三十一日迄）

第八條　父母、配偶者、子及同一戸籍內ニアル祖父母、兄弟姉妹死亡ノ際ハ忌引ヲ與フ、其ノ忌引日數ハ次ノ通リトス

父母、配偶者、子	五日以內
同一戸籍內ニアル祖父母，兄弟姉妹	三日以內

第九條　普通携帶品ニアラサル物品ヲ所持シ出門セントスルトキハ所屬上司ヨリ出門證ヲ受ケ之ヲ門衞ニ差出スヘシ

第十條　非常若クハ近火ノ際ハ非番ノモノト雖モ直ニ出校シ係員ノ指揮ニ從フヘシ

第十一條　傭人ノ給料ハ月給者ヲ除キ前月十六日ヨリ其ノ月十五日迄ノ分ヲ定日ニ支給ス　但シ三月十六日ヨリ同末日迄ノ分ハ本條

規程ニ拘ラス便宜支給スルモノトス

第十二條　新ニ傭入ノ際ハ出勤ノ日ヨリ起算シ增給減給ノ際ハ其ノ翌日ヨリ起算シ解傭ノ際ハ其合ノ日迄日割計算ヲ以テ日給ヲ支給ス

第十三條　次ノ場合ニハ日給ノ全額ヲ支給ス

1. 休日及休暇日、但シ本條各號ノ何レニモ該當セサル事故ニ因リ休日及日曜日ノ前後引續キ缺勤シタルトキハ之ヲ支給セス
2. 忌引ニ因ル缺勤日
3. 徵兵檢查又ハ簡閱點呼ノ當日
4. 職務ニ基因スル傷疾病ニ因ル缺勤日（但シ傭人扶助令ニ依リ扶助料ヲ受ケタルトキハ此限リニアラス）
5. 校務ニ係ル事件ニ付官署ニ召喚セラレタル當日
6. 暑中休暇中期間ヲ定メテ與ヘラレタル休暇日

第十四條　軍籍ニアル者召集セラレタル場合ニ於テハ明治三十七年九月勅令第二〇六號ニ準シ之ヲ取扱フモノトス　但シ本條ノ規程ハ除隊後引續キ勤務スル者ニ限リ之ヲ適用ス

第十五條　傳染病豫防ノ爲メ交通ヲ遮斷セラレ出勤シ能ハサルモノニハ一般休日ニ準シ日給ヲ支給ス

第十六條　業務上死傷シタル者ニハ大正七年勅令第三八二號傭人扶助令ニ依リ相當ノ扶助料ヲ支給ス

第十七條　校外ニ執業ヲ命シタルトキハ詮議ノ上旅費ヲ支給スルコトアルヘシ

第十八條　次ノ各號ノ一ニ該當スルモノニハ其ノ情狀ニ依リ譴責減給又ハ解傭ニ處ス　但シ第二號ニ該當スルモノニハ損害ノ全部若クハ一部ノ辨償ヲ命スルコトアルヘシ

1. 規則命令ヲ遵守セサルモノ
2. 故意又ハ不注意ニヨリ校舍ヲ汚損シ若クハ機械器具材料等ヲ毀損シ又ハ亡失シタルモノ
3. 素行不良ナル者

4. 職務ニ怠慢ナル者

第十九條　必要ト認ムルトキハ學校醫ヲシテ身體檢査ヲ爲サシムルコトアルヘシ

第二十條　傭人ニ採用セラレタル際ハ速ニ誓約書並戸籍謄本ヲ庶務課ニ提出スヘシ

第二章　巡　　視

第二十一條　巡視ハ校丁及臨時傭人ヲ指揮シ校内一般ノ取締ニ任ス

第二十二條　巡視ノ勤務事項次ノ如シ

1. 校門開閉
2. 校門出入者監視
3. 校舍内外巡視警戒
4. 戸締注意
5. 防　　火
6. 非常用具類ノ整理
7. 國旗校旗揭揚
8. 臨時傭人ノ監督
9. 其ノ他特ニ命セラレタル事項

第二十三條　校門ノ開閉ハ次ノ時限ニ依ルヘシ

正門	平日	開扉	午前六時	（休業日ニハ脇門ノミ開扉ス）
		閉扉	午後五時	
	土曜日	同	午後二時	
脇門	正門閉扉後開扉シ午後十時閉扉スルコト			
西門	開扉	午前七時四十五分ヨリ同八時二十分迄及放課時限ヨリ三十分間		
		休業日ニハ開扉セス		

第二十四條　巡視ハ順番ヲ定メテ當直勤務ヲ爲スヘシ其ノ勤務時

間ハ午後五時ヨリ翌日午前八時三十分迄トス但シ休業日ニアリテハ午前八時ヨリ翌日午前八時三十分迄トス

第二十五條　出入者ニシテ疑フヘキ者ナリト認ムル場合若クハ普通携帶品ニ非スト認ムヘキ物品ヲ携ヘ出門セントスルモノアルトキハ庶務課員又ハ當直員ニ申シ出テ指揮ヲ受クヘシ

第二十六條　暖爐、瓦斯及火鉢ヲ用フル場所ハ殊ニ火ノ元ヲ警戒シ職員學生ノ退出後之カ檢査ヲ行ヒ更ニ一時間ヲ經テ當直員立會ノ上再檢査ヲ爲スヘシ

第二十七條　勤務時間中ハ所定ノ時刻ニ於テ校舍内外ヲ巡檢スヘシ

第二十八條　校舍内外巡檢ノ際ハ常ニ校地、校舍、水路等掃除ノ良否及修繕ヲ要スル箇所ノ有無ニ注意シ殊ニ便所、タン壺、紙屑入等ノ掃除ニ注意スヘシ

第三章　受　　付

第二十九條　受付ノ勤務事項次ノ如シ

1. 受付ハ勤務時間中受付所ニ在リテ次ノ事項ヲ取扱フモノトス
   - 校内出入者ノ取締
   - 來客ノ取次
   - 到達シタル文書物品ノ受領
   - 電話外線ノ交換
2. 到達シタル文書ハ總テ之ヲ庶務課ニ送達スヘシ
3. 外來客ニ對シテハ常ニ懇切ヲ旨トシ名刺ヲ受取用向キヲ尋ネタル上庶務課ニ申出テ指揮ヲ受クヘシ
4. 電話交換ニ關シテハ聽取シタル事項ニ付一切他ニ漏洩スルコトヲ得ス
5. 電話交換ニ關シテハ特ニ用語ヲ愼重明晰ニスヘシ

第四章　給　　仕

第三十條　給仕ハ各指定セラレタル所ニ於テ勤務スヘシ

第三十一條　給仕ノ勤務事項次ノ如シ

1. 外來者ノ取次
2. 郵便物ノ配付
3. 新聞ノ整理
4. 食堂ノ掃除及食事ノ設備ヲナスコト
5. 每日職員出勤前ニ於テ各受持室内ノ掃除ヲ爲スコト
6. 其他特ニ命セラレタル事項

第五章校　丁

第三十二條　校丁ハ校舍内外ノ雜役ニ從事スヘシ

第三十三條　校丁ハ順番ヲ定メテ當直勤務ヲ爲スヘシ、其ノ勤務時間ハ午後五時ヨリ翌日午前八時迄トス但シ休業日ニアリテハ午前八時ヨリ翌日午前八時迄トス

當直者ハ夜中一回以上校舍ノ内外ヲ巡視スヘシ

第三十四條　校丁勤務事項次ノ如シ

1. 校地校舍ノ掃除並除雪
2. 窓戸ノ開閉及戸締
3. 湯水及燃料等ノ配給
4. 校外ヘノ使
5. 其ノ他特ニ命セラレタル事項

第三十五條　火ノ取扱ニ關シテハ最モ嚴重ニ注意シ苟モ疎漏ノ所爲アルヘカラス

第六章工　手

第三十六條　工手及見習工手ハ工場内ニ於テ實務ニ從事スヘシ

第三十七條　勤務時間ハ午前七時五十分ヨリ午後四時三十分迄トス

第三十八條　業務ノ都合ニ依リ規定就業時間外又ハ休業日ト雖特ニ就業ヲ命スルコトアルヘシ

第三十九條　勤務中心得ヘキ事項次ノ如シ

1. 所屬上司ノ指揮ヲ受ケ忠實ニ業務ニ從事スルコト
2. 所屬上司ノ命ニアラサレハ何人ノ依頼ニモ應セサルコト
3. 機械、器具其ノ他ノ物品ヲ丁寧ニ取扱ヒ工場内ヲ清潔ニスルコト
4. 喫煙及食事等ハ所定ノ場所以外ニ於テ爲サヽルコト

第四十條　每土曜日ニハ大掃除ヲ爲シ所屬上司ノ檢査ヲ受クヘシ

第四十一條　自己ノ都合ニ依リ遲參シ又ハ早退シタルトキハ其ノ時間(一時間未滿ノ端數ハ之ヲ一時間トス)ニ對スル時間給ヲ減給ス上ノ時間給ハ一時間ニ付日給ノ十分ノ一ニ相當スル金額トス

規定就業時間以外ノ就業ニ對シテハ一時間ニ付日給ノ八分ノ一ヲ支給スルコトアルヘシ

規定就業時間以外ニ於ケル就業時間ハ所屬上司ニ於テ調査シ翌日庶務課ニ報告スルモノトス

第四十二條　就業中負傷シ早退ノ許可ヲ受ケタル者ニハ當日ノ日給全額ヲ支給ス

第四十三條　工場服ハ之ヲ支給若クハ貸與スルコトアルヘシ

第四十四條　本章ハ臨時傭人ノ工手ニモ之ヲ準用ス

11. 科學工業博物館職員規程（大正十五年十二月制定）

1. 科學工業博物館ニ左ノ職員ヲ置ク

主　　事	一	名
館　　員	若干	名
委　　員	若干	名
理　　事	若干	名

2. 主事ハ敎授中ヨリ學校長之ヲ命ス
主事ハ學校長ノ命ヲ受ケ館務ヲ掌理ス
3. 館員ハ書記又ハ雇員中ヨリ學校長之ヲ命ス
館員ハ主事ノ命ヲ受ケ館務ニ從事ス
4. 委員ハ敎官中ヨリ學校長之ヲ命ス
委員ハ館務遂行上主事ヲ輔佐ス
委員會ノ會議ハ主事之ヲ開キ議案ヲ提出スルモノトス但シ委員ノ意見アルトキハ之ヲ議案トナスコトヲ得
5. 理事ハ評議員中ヨリ學校長之ヲ命ス
理事會ハ學校長之ヲ召集シ博物館ノ事業、施設、方針等重要ナル事項ニ關シ審議スルモノトス

12. 物品會計細則（大正十三年四月制定）

第一章　總　則

第一條　本校所屬物品ノ保管出納ハ總テ物品會計規則並文部省直轄學校物品會計規程ニ基キ本細則ニ依リ處理スヘシ

第二條　物品ヲ大別シテ備品、消耗品ノ二種トシ更ニ備品ヲ分チテ普通用備品、學術用備品トシ消耗品ヲ分チテ普通用消耗品、實驗用消耗品トス其ノ區分ハ性質及用法ニ依リ學校長之ヲ定ム

第三條　各部局ニ物品監守者及物品取扱主任ヲ置キ備品ノ監守及消耗品取扱ノ責ニ任セシム

第四條　各部局ニ於ケル物品監守者ノ監守區域ハ別ニ之ヲ定ム

第二章　出納及保管

第五條　物品ノ出納科目ヲ定ムル事次ノ如シ

1. 備　　品
受入科目　買入、生產、保管轉入、寄贈、戻入
拂出科目　賣却、生產、亡失、毀損、保管轉出、贈與、出品

1. 消 耗 品
受入科目　買入、生產、保管轉入、寄贈
拂出科目　消耗、賣却、生產、亡失、毀損、保管轉出、贈與

第六條　物品ノ出納ハ學校長ノ命令ニ依リ物品會計官吏之ヲ執行ス

第七條　各部局ニ於ケル所要物品ハ品目數量及所要ノ事由ヲ明記シタル請求書ヲ當該主任ヨリ會計課ニ差出スヘシ

第八條　前條ノ請求ヲ受ケタルトキハ其ノ物品ノ在庫品ナルトキハ直ニ支給ノ手續ヲ爲シ新ニ購入ヲ必要トスルモノハ學校長ノ決裁ヲ經テ購買ノ手續ヲ爲スヘシ

第九條　各部局ニ於テ學術用器具機械ノ製作及修理ニ就キ特

殊ノ注意ヲ要スルカ又ハ當業者ヲ選擇スルノ必要アルトキハ圖面及仕樣書並當業者ノ氏名ヲ記載シタル書面ヲ添付シ會計課ニ差出スヘシ

第十條　物品會計官吏物品ヲ受入レタルトキハ直ニ番號ヲ附スヘシ

第十一條　消耗品ハ會計課ニ於テ一ケ年ノ所要高ヲ豫定シ一回若クハ數回ニ取纏メ購入ヲ爲シ之ヲ倉庫若クハ適當ノ場所ニ藏置シ各部ノ請求ニ應シ支給ノ手續ヲナスヘシ

第十二條　物品監守者ハ備品監守簿、物品取扱主任ハ消耗品受拂簿ヲ備付ケ物品ノ支給ヲ受ケタルトキハ直ニ之ヲ登記シ請求書ニ受領ノ印ヲ押捺シ受授ノ手續ヲナスヘシ

第十三條　物品ノ出納命令及其他請求及支給ニ關スル樣式ハ別ニ之ヲ定ム

第十四條　物品ノ自然ニ破損シ修理及不用ニ屬シタル物品ハ各監守者ニ於テ會計課ニ修理請求又ハ返納ノ手續ヲナスヘシ
物品會計官吏ハ之ヲ調査シ修理使用ニ堪ヘルモノハ修理交付シ不用ニ屬シタルモノハ決裁ヲ經テ之ヲ處理スヘシ

第十五條　不用品及製產品ノ賣却等ノ執行ハ成規ニ依ル但シ賣却シタル物品ノ代價徵收ノ後ニアラサレハ引渡スコトヲ得ス

第十六條　物品會計官吏保管ノ物品ヲ毀損亡失シタルトキハ學校長ハ事實ヲ審査シ相當ノ處分ヲ爲スヘシ

第十七條　物品監守者ハ常ニ其ノ監守物品ノ保管ニ注意シ時々帳簿ニ對照シ點檢スヘシ
若シ物品ノ亡失毀損ヲ發見シタルトキハ速ニ其實況ヲ詳記シタル始末書ヲ作リ物品會計官吏ヲ經テ學校長ニ報告スヘシ

第十八條　學校長ハ前條ノ報告ヲ受ケタルトキハ其事實ヲ審査シ其監督ヲ怠リ或ハ故意怠慢ニ出ツルト認メタルトキハ相當ノ處分ヲナスヘシ

第三章　檢　閱

第十九條　學校長ハ物品檢閱委員長一名委員若干名ヲ學校職員中ヨリ設ケ每年一回以上物品ノ保管使用並消費上ノ適否ヲ檢查セシム

第二十條　物品檢閱委員長ハ檢閱委員ヲ監督シ檢閱事務ヲ處理スヘシ但シ學校長ノ許可ヲ受ケ各部ヨリ物品檢閱補助員ヲ命スル事ヲ得

第二十一條　物品檢閱委員ノ檢閱スヘキ要項次ノ如シ

1. 物品保管ノ適否
2. 物品使用ノ適否
3. 消耗品消費ノ適否
4. 帳簿ノ點檢及殘存物品ノ調查
5. 物品缺損ノ有無
6. 其他必要事項

第二十二條　物品檢閱ノ際ハ在庫品ニ就テハ物品會計官吏、使用中ノ物品ニ就テハ物品監守者又ハ物品取扱主任其席ニ列シ檢閱委員ノ質問ニ答フヘシ

第二十三條　物品ノ檢閱ヲ了シタル時ハ檢閱委員長ハ檢閱ノ狀況ヲ詳具シ學校長ニ申報スヘシ

第四章　諸帳簿

第二十四條　物品會計官吏ハ物品ノ出納ヲ明確ニスル爲メ次ノ帳簿ヲ設クヘシ

1. 備品出納簿
   本簿ヲ大別シテ普通用備品出納簿、學術用備品出納簿トス
2. 消耗品出納簿
   本簿ヲ大別シテ普通用消耗品出納簿、學術用消耗品出納簿トス

第二十五條　物品監守者及物品取扱主任ハ物品ノ出納保管ヲ明確

ニスル爲メ次ノ帳簿ヲ設クヘシ

1. 備品監守簿
2. 消耗品受拂簿

第二十六條　本則ニ依ル諸帳簿類ノ樣式ハ別ニ之ヲ定ム

第二十七條　圖書ノ出納ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

13. 試驗 分析、鑑定及加工規程（大正十五年十一月制定）

第　一　條　本校ハ敎育上便益アリト認ムルモノニ對シテハ試驗分析、鑑定（鑛物、岩石等）及加工ノ依賴ニ應スルコトアルヘシ

第　二　條　依賴者ハ別紙書式ニ依ル依賴書ヲ提出スヘシ

第　三　條　試驗、分析及鑑定依賴者ハ手數料ヲ、加工依賴者ハ加工費ノ十分ノ二ノ內金ヲ前納スヘシ、手數料並ニ加工費ハ本校ニ於テ其都度之ヲ定ム

一旦納付セル手數料並ニ加工費ハ何等ノ事由アルモ之ヲ還付セス

第　四　條　敎育上特ニ有益ナリト認メタル場合ハ手數料ヲ免除スルコトアルヘシ

第　五　條　試驗、分析、鑑定ヲ終了シタルトキハ證明書ヲ交付ス之カ複本ヲ請求スルトキハ紙數一枚ニ付金二十錢ノ手數料ヲ納付スヘシ

第　六　條　試驗、分析及鑑定ノ爲メ差出シタル現品ハ之ヲ還付セス　但シ豫メ申出アリタル場合ハ還付スルコトアルヘシ

第　七　條　加工品竣製ノ通知ヲ受ケタルトキハ一週間以內ニ代金完納ノ上現品ヲ引取ルヘシ

第　八　條　前條期間內ニ代金ヲ完納セサルトキハ契約ヲ解除シ現品並內金ヲ學校ノ所得トス

第　九　條　加工材料ニシテ當校ニ保管中、天災、火災、其ノ他不可抗力ニ因ル損失ハ依賴者ノ負擔トス　但シ其ノ損失ノ加工後ニ生シタルトキ之カ加工費ノ損失ハ學校ノ負擔トス

（細則ハ別冊ニ印刷ス）

14. 圖書館規程（大正十三年四月制定）

第一條　本校圖書ハ文部省直轄各部物品會計規程ニ基キ之ヲ處理スヘシ

第二條　本校所屬ノ圖書ハ凡テ書庫ニ收藏ス

第三條　圖書館ニハ別ニ定ムル規程ニヨリ他ノ委託ニ係ル圖書ヲ保管ス

第四條　次ノ圖書ハ凡テ本校所屬ノモノト同一ノ取扱ヲナス

1. 本校名義ヲ以テ他ヨリ借入レタル圖書
2. 委託保管ノ圖書
3. 各學科各教室又ハ各課ニ於テ寄附受領シタル圖書

第五條　教授上及事務上特ニ必要ナル圖書ハ特別ノ場所ニ備置クコトヲ得

第六條　前條ノ圖書ニ關シテハ當該各科課各教室ニ於テ其責ニ任スル保管者ヲ定ム

第七條　本校職員、研究生、學生及第三條ノ圖書委託者其他學校長ノ許可ヲ得タルモノハ別ニ定ムル規程ニヨリ圖書ヲ閱覽スルコトヲ得

第八條　本校職員、研究生、學生ハ別ニ定ムル規程ニヨリ圖書ヲ借受クルコトヲ得

第九條　圖書ノ出納及圖書館ノ事務ハ圖書課ニ於テ取扱フモノトス

第十條　總テ圖書ハ次ノ如ク整理スヘシ

1. 購入ニ係ルモノハ圖書課ニ於テ數量及落丁ノ有無ヲ檢シ圖書原簿ニ登錄スルモノトス
2. 寄贈ニ係ルモノハ圖書課ニ於テ名稱、數量、價額若クハ評價ヲ付シ會計課ト合議ノ上圖書原簿ニ登錄スルモノトス
3. 各科課教室ニ備付ノ爲メニ貸付シタル圖書ハカード又ハ帳簿等ニ當該場所ヲ記シ圖書保管者ノ領收印ヲ徵シテ其ノ所在、種類、

欠

MISSING

管ヲ委託セントスル者ハ其書目、著者名、價額及員數等ヲ詳記シ學校長ノ許諾ヲ經ヘシ

第二條　委託者前條ノ許諾ヲ得タル時ハ該圖書ヲ圖書館ニ送致シ其受託證ヲ受クヘシ

第三條　委託圖書ハ其見易キ部ニ委託者ノ捺印有ルヲ要ス

第四條　委託圖書ハ本校所屬ノ圖書ト同一ノ取扱ヲナスト雖モ本校圖書ニ關スル規程ニ差支ナキ限リニ於テ委託者ノ希望ヲ容ルルコトヲ得

第五條　圖書課主任ハ本校物品會計規程ニ準シ委託圖書出納簿及監守簿ヲ設ケ委託圖書保管ノ責ニ任スヘシ

第六條　委託圖書ハ火災、盜難其他避クヘカラサル災害ニ罹リ損失ヲ來スコトアリトモ一切之ヲ辨償セス

第七條　委託圖書ハ圖書貸付規程第三條ニヨル備付圖書又ハ貸出圖書トスルコトヲ得ス

15. 非 常 心 得（大正十三年四月制定）

第 一 條　本校ニ於テ失火若クハ近火等非常事變ノ際ハ直チニ庶務課若クハ宿直員ニ急報スヘシ　但シ危急ノ場合ニ於テハ發見者先ツ警報ヲ疾呼シ又ハ號鐘ヲ亂打スヘシ

第 二 條　庶務課若クハ宿直員ハ前條ノ報ニ接シタルトキハ遲滯ナク次ノ處置ヲナスヘシ

1. 號鐘ヲ亂打シ非常ヲ報シ消防署ヘ急報スルコト
2. 休日又ハ退廳後ニアリテハ直ニ學校長及各係長ヘ電話又ハ其他ノ方法ヲ以テ急報シ他ノ職員一同ヘモ可成同樣ノ處置ヲ執ルヘシ

第 三 條　職員生徒及傭人ハ本校出火若クハ近火ノ場合ハ直チニ駈付ヘシ

第 四 條　非常手配トシテ次ノ係ヲ置ク

警備係、防火係、運搬係

各係ニ長一名副長若干名係員若干名ヲ置ク其ノ部署ハ每年四月之ヲ定ム

第 五 條　非常ノ際ハ本部ヲ設ケ學校長及各係長ノ所在ニ之ヲ置ク

第 六 條　警備係ハ次ノ事項ヲ擔任スヘシ

1. 金庫ノ警護ニ任スルコト
2. 非常本部ノ位置ヲ定メ標燈又ハ標旗ヲ樹ツルコト
3. 夜間ニハ廊下事務所其他必要ノ場所ニ點燈スルコト
4. 構內ヲ巡邏シテ盜難ヲ警戒スルコト
5. 見舞人應接ノ任ニ當リ其ノ氏名ヲ錄スルコト
6. 搬出物品ヲ監守スルコト
7. 各部聯絡傳令ヲ司ルコト

第 七 條　防火係ハ次ノ事項ヲ擔任スヘシ

1. 非常事變ニ際シ第一線ノ任務ニ服スルコト
2. 防火具ヲ使用シ專ラ消防ニ從事スルコト

第 八 條　運搬係ハ次ノ事項ヲ擔任スヘシ

1. 書類校具ヲ安全ノ場所ニ搬出スルコト但シ非常持退ノ記號アルモノヲ先ニスルコト

第 九 條　係員不在又ハ少數ノ場合ハ各自臨機應變消防ニ從事スヘシ

第 十 條　次ノ非常用具ハ各係長ニ於テ夫々之ヲ整頓保管シ、ポンプ其ノ他器具類ハ時々之ヲ點檢使用シ常ニ支障ナカラシメンコトヲ要ス

1. 常ニ防火用具ヲ整理シ一定ノ場所ニ備付ケ之レカ使用並ニ備付場所ヲ校內一般ニ豫知セシムルコト
2. ポンプ、消火器、梯子、消火栓用ホース及筒先、斧、鋸、大槌
3. 消火機、消火用水、消火用砂ハ各建物內適當ノ場所ニ之ヲ配置スヘシ
4. 運搬用具（擔架、荷車、其他）
5. 消火器ニハ藥品充填ノ年月日及有効期間ヲ記シ有効期日ノ滿タサル前ニ藥品ノ充填換ヲ爲スヘシ
6. 各係長ハ協議ノ上時々消火器ノ効力ヲ試驗スヘシ

第十一條　非常演習ハ各係長協議ノ上學校長ノ許可ヲ得テ春秋二回以上之ヲ行フ

第十二條　各科ニ於テハ各科ノ特別事情參酌ノ上各科生徒ト共ニ防備係ヲ組織シ之ヲ警備係長ニ屬ケ置クモノトス 防備係ニハ係長一名ヲ置キ事變ノ際ハ警備係長ノ指揮ヲ受クヘシ

16. 宿直規程（大正十三年四月制定）

第一條　判任官以下ノ事務職員ハ輪番ヲ以テ一名ツヽ本校ニ宿直勤務スヘシ(但シ女子ハ除ク)

第二條　宿直ハ退出時限ヨリ翌日登校時限迄勤務スルモノトス但シ休日ハ登校時限ヨリ翌日ノ登校時限迄トス

第三條　宿直ノ順番ハ庶務課ニ於テ其前日迄ニ本人ニ通知スヘシ

第四條　次ノ諸項ノ一ニ該當スルモノハ宿直ヲ除番ス

1. 出張中並ニ出發ノ前日及歸校ノ日
2. 賜暇又ハ忌引
3. 新任者着任後七日間

第五條　病氣其他ノ事故ニ因リ宿直ヲナシ能ハサルトキハ其ノ旨庶務課ニ屆出ツヘシ

前項ニ依リ宿直勤務ヲ缺クモノアルトキハ之ヲ一時除番シテ順次繰上ケ其事故止ミタルトキハ直ニ之ヲ補勤セシム

第一項ノ場合ニ於テハ他ノ宿直者ト合意ノ上代人ヲ立テ又ハ當番ヲ交代シテ勤務スルコトヲ得

第六條　宿直勤務ノ標準次ノ如シ

1. 校內ノ警備取締特ニ火ノ元ニ注意シ一回以上ハ必ス校內ヲ巡視スヘシ
2. 非常ノ場合ハ巡視及小使ヲ指揮シ臨機ノ處置ヲナスヘシ
3. 本校ニ到着シタル公文書ハ收受簿ニ登記シ翌日之ヲ庶務課ニ引繼キ其ノ至急ヲ要スルモノハ直ニ之ヲ當該主任ニ送付スルコト

第七條　宿直日誌ニハ次ノ事項ヲ記載シ學校長ノ檢閱ヲ受クヘシ

1 月、日、七曜、祭日、天候
2. 宿直者氏名
3. 登校者及參觀人ノ官氏名時刻等

4. 校內巡視ノ模樣
5. 其ノ他宿直中處理シタル事項

第八條　宿直室ニハ次ノ帳簿ヲ備ヘ置クヘシ

1. 宿直日誌
2. 職員名簿
3. 送付簿
4. 暗號電信符號
5. 郵便切手受拂簿
6. 收受簿

17. 校友會規則 (大正十三年四月制定 昭和四年十二月改正)

第一條　本校學生並ニ職員ハ本校々風發揚ニ資スル目的ヲ以テ校友會ヲ組織スルコトヲ得

第二條　校友會ニハ所期ノ目的ヲ達成スル爲ニ必要ナル諸部ヲ設クルコトヲ得

第三條　校友會ニハ會長一名、幹事長一名、幹事、會計主任部長、主事等必要ナル役員ヲ置ク 但シ會長ハ本校々長幹事長ハ本校生徒主事部長並ニ會計主任ハ本校職員ヲ以テ 幹事並ニ主事ハ學生ヲ以テ充ツヘシ

學生ニシテ次ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ役員タルヲ得ス

1. 學業成績不良ニ因ル原級者
2. 前學期成績不良ニシテ進級ニ支障ヲ來スト認メラレタル者
3. 受罰中ノ者
4. 平素出缺常ナラス缺席日數多ク或ハ素行修ラサルモノ

第四條　會長ハ本校職員學生以外ノ者ヲ會員トシテ推薦スルコトヲ得

第五條　校友會ニ於テ會費並入會金ヲ徵收シ又寄附ヲ受納スルコトヲ得

第六條　校友會並ニ各部主催ニ關スル種々ノ催ハ校內ニ於テ之ヲナスヲ本則トス

第七條　各部選手ハ常任トセス其都度該部ニ於ケル優秀ナル技倆ヲ有スル者ノ中ヨリ會長之ヲ選ヒ 學校職員會議ノ承認ヲ經テ任スヘシ 但シ次ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ選手タルコトヲ得ス

1. 學業成績不良ニ因ル原級者
2. 假進級中ノ者
3. 前學期成績不良ニシテ進級ニ支障ヲ來スト認メラレタル者
4. 受罰中ノ者
5. 代表保證人ヨリ反對セラレタル者

6. 校醫ヨリ健康上不適當ト認メラレタル者
7. 平素出缺常ナラス缺席日數多ク或ハ素行修ラサル者

第八條　各部有志トシテ校外ニ出ツル場合學校代表者ト見做サレ易キ者ハ前條ニ準シ學校ノ承認ヲ經ルヲ要ス

第九條　校友會々則ハ會長之ヲ定ム

Ⅵ 職員

（昭和六年五月一日現在）

1. 商議員

長岡市長	木村清三郎	Kimura-Seizaburô
長岡商工會議所會頭 勳七	鷲尾德之助	Wasio-Tokunosuke
東京帝國大學名譽教授 正三勳二 工學博士	山川義太郎	Yamagawa-Gitarô
日本石油株式會社長 貴族院議員 正四勳二	橋本圭三郎	Hasimoto-Keizaburô
理化學研究所長 正三勳三 工學博士 子爵	大河內正敏	Ookôti-Masatosi
貴族院議員 從五	大橋新太郎	Oohasi-Sintarô
日本製鎖株式會社長 工學博士	棚橋寅五郎	Tanahasi-Toragorô
文部省實業學務局長 正五	木村正義	Kimura-Masayosi

2. 現職員

校長				
一等		從四勳三	福田爲造（東京）	Hukuda-Tamezô
教授				
二等	評議員 電氣工學科長	從四勳三	槇田護臣（群馬）	Makita-Moriomi
三等	評議員	從五勳六	日下部富藏（愛知）	Kusakabe-Tomizô
三等	評議員 機械工學科長	從五	臼倉錠次郎（東京）	Usukura-Dyôzirô
三等	評議員 應用化學科長	從五	岡部欽二（山口）	Okabe-Kinzi
三等	評議員 生徒主事	從五	石井信二（鳥取）	Isii-Nobuzi
四等		正六	中村亮三（滋賀）	Nakamura-Ryôzô
四等		正六	伊藤貞治（宮城）	Itô-Teidi
四等	評議員 幹事	正六	桐淵勘藏（群馬）	Kiributi-Kanzô
四等		正六	弘中廣志（山口）	Hironaka-Hirosi
五等		從六	松村龍雄（新潟）	Matumura-Tatuo

五等（在外研究中） 従六 山崎 貫三（新潟）Yamazaki-Kwanzô
五等 従六 幸林 良作（富山）Kôbayasi-Ryôsaku
五等 従六 高澤十三郎（新潟）Takazawa-Zyûzaburô
五等 従六 近藤杉樹郎（新潟）Kondô-Sanzyurô
六等 正七 山口 四郎（東京）Yamaguti-Sirô
六等 正七 柴田雄三郎（兵庫）Sibata-Yûzaburô
六等 正七 武田悦次郎（神奈川）Takeda-Etuzirô
六等 正七 和田 良治（山口）Wada-Ryôli

助教授

生徒主事補
宇野 茂太（山形）Uno-Sigeta
竹内 左内（東京）Takeuti-Sanai
鈴木 格雄（埼玉）Suzuki-kakuo
正八 小山 健蔵（新潟）Koyama-Kenzô
津田 吉文（大分）Tuda-Yosibumi
正八 尾高 雅次（群馬）Odaka-Masazi
内田 宗義（東京）Utida-Muneyosi

助手

笠原 榮吉（新潟）Kasahara-Eikiti

講師

正六 清水 家助（兵庫）Simidu-Iesuke
今川 三郎（茨城）Imagawa-Saburô
位野木 實（香川）Inoki-Minoru
勲六 五十嵐廣作（新潟）Igarasi-Hirosaku

配属将校

陸軍歩兵少佐従六勲五 長谷部理叡（新潟）Hasebe-Riei

書記

従七勲七 石澤 好三（秋田）Isizawa-Kôzô
大原孝次郎（山形）Oohara-Kôzirô
中野 誠二（山口）Nakano-Seizi

屬

勲七 長谷川梅太郎（新潟）Hasegawa-Umetarô
土屋 正哲（新潟）Tutiya-Masaaki
穂苅 忠二（新潟）Hokari-Tyûzi
正八 室賀 幸雄（新潟）Muroga-Yukio
正八 關 精一（新潟）Seki-Seiiti
丸田 忠雄（新潟）Maruta-Tadao
勲八 髙木 昌雄（新潟）Takagi-Masao
正八 齋藤 虎雄（新潟）Saitô-Torao
河本 隆二（新潟）Kawamoto-Ryûzi
高野 福島（新潟）Takano-Hukusima
岡澤 富治（長野）Okazawa-Tomidi
米川 銀行（茨城）Yonekawa-Kaneyuki
荻野 福質（新潟）Ogino-Hukusitu
三須玄次郎（山形）Misu-Genziro
大野富次郎（新潟）Oono-Tomizirô
小林 守一（新潟）Kobayasi-Syuiti
岡村 憲（新潟）Okamura-Ken
知野 ミツ（新潟）Tino-Mitu

技術屬員

野村 亮吾（新潟）Nomura-Ryôgo
高宮 榮吉（新潟）Takamiya-Eikiti
林 文治（新潟）Hayasi-Bundi

囑託

勲六 五十嵐廣作（新潟）Igarasi-Hirosaku
位野木 實（香川）Inoki-Minoru
勲八 山鹿虎五郎（新潟）Yamaga-Toragorô
勲八 玉井 龜雄（長野）Tamai-Kameo
細貝 省二（新潟）Hosogai-Syôzi
產江 植吉（新潟）Ubue-Uekiti

學校醫

正七 今井 楢三（大阪）Imai-Narazô

職員受持一覽表

事務室

校長	理學士	福田 雅造
幹事	教授	桐淵 勘藏
生徒主事	教授	石井 信二
生徒主事補	助教授	宇野 茂太

庶務課

主任	書記	大原孝次郎
（兼）	書記	中野 誠二
（兼）	囑託	位野木 實
（兼）	囑託	山鹿虎五郎
	雇	知野 ミツ

會計課

主任	書記	石澤 好三
（兼）	書記	中野 誠二
	書記	土屋 正哲
	書記	穗苅 忠二
	囑託	位野木 實
	雇	高野 福島

教務課

主任	教授	桐淵 勘藏
	書記	長谷川梅太郎
（兼）	雇	丸田 忠雄
（兼）	雇	高木 昌雄
	雇	大野富次郎

學生課

	助教授	宇野 茂太

主任	講師	五十嵐廣作
	雇	丸田 忠雄

圖書課

主任	書記	中野 誠二
（兼）	囑託	位野木 實
	雇	宇賀 幸雄

調査計畫課

主任	教授	桐淵 勘藏
（兼）	書記	石澤 好三
（兼）	書記	大原孝次郎
（兼）	書記	中野 誠二
（兼）	書記	長谷川梅太郎
（兼）	講師	五十嵐廣作
	囑託	山鹿虎五郎

醫務室

學校醫	囑託醫學博士	今井 楢三

體育教室

體操	體育主任 助教授	宇野 茂太
劍道	囑託	玉井 龜雄
弓道	囑託	細貝 省二
柔道	囑託	產江 植吉

教練教室

主任	陸軍步兵少佐	長谷部理叡
	陸軍步兵特務曹長	五十嵐廣作

文科教室

修身、英語、獨逸語	英語及獨逸語主任 教授 文學士	石井 信二
工場管理	教授	桐淵 勘藏
英語、獨逸語	講師	清水 家助

經營經濟及法制		講師	商學士	位野木 寛

理科教室

數學	數學主任	教授	理學士	日下部富藏
力學及物理學、物理學實驗	力學及物理學・物理學實驗主任	教授	理學士	伊藤 貞治
力學及物理學、物理學實驗		教授	理學士	松村 龍雄
數學		教授	理學士	高澤十三郎
力學及物理學、物理學實驗		教授	理學士	武田悦次郎
物理學實驗		助教授		竹内 左内
副手		雇		荻野 福質

電氣教室

電燈及照明、電氣鐵道、電氣機械及設計、電氣工學、讀書攻究	科長	教授	工學士	槇田 護臣
電氣理論、電信及電話、電氣機械及設計實驗實習		教授	工學士	中村 亮三
(在外研究中)		教授	工學士	山崎 貫三
電氣理論、發電所及變電所、設計及製圖、實驗實習		講師	工學士	今川 三郎
電氣磁氣測定、電氣材料及器具、設計及製圖、實驗實習		助教授	工學博士	津田 吉文
送電及配電、設計及製圖、實驗實習		助教授		尾高 雅永
副手		雇		齋藤 虎雄
副手		雇		米川 銀行
副手		雇		三須安次郎

機械教室

材料力學、讀書攻究、實驗實習	科長	教授	工學士	臼倉錠次郎
機械工學通論、機械製圖		教授		桐淵 勘藏
機械製圖、實驗實習		教授		弘中 廣志
熱力學、汽罐、內燃機關、蒸氣機關及タービン熱機關、讀書攻究、設計及製圖、實驗實習		教授	工學士	近藤杉樹郎
水力及水力機、機構學、設計及製圖、實驗實習		教授	工學士	和田 良治
金屬材料、機械工作法、實驗工學、機械設計、設計及製圖、實驗實習		助教授		小山 健藏
副手		雇		河本 隆二

副手	雇		小林 守一
副手	雇		岡村 憲

化學教室

電氣化學及電池、應用電氣化學、製造化學第一部、製造化學特論Ⅰ、實驗實習	科長	教授	工學士	岡部 欽二
製造化學第二部、製造化學第四部、製造化學特論Ⅱ、化學實驗實習		教授		幸林 良作
有機化學、讀書攻究、製造化學第三部、實驗實習		教授	理學士	山口 四郎
無機化學、物理化學、讀書攻究、實驗實習		教授	理學士	柴田雄三郎
化學、化學實驗、實驗實習		助教授		鈴木 恪雄
讀書攻究、實驗實習		助教授		内田 宗義
助手		助手		笠原 榮吉
副手		雇		關 精一
副手		雇		岡澤 富治

3. 舊　職　員

	氏　名	官職名	就職年月日	退職年月日
Tatezaki-Yosisada	館崎 美定	書記	大13. 1.25	大13.10.15退
Tanimoto-Yosiyasu	谷本 賀安	雇	大13. 4.13	大13.12.20退
Yamada-Teikiti	山田 貞吉	雇	大13.10.13	大13.12.25退
Iguti-Takeo	井口太計夫	雇	大13. 5.16	大14. 2. 6退
Nakasono-Susumu	中園 進	助教授	大13. 4. 9	大14. 3.31退
Isizawa-Harusuke	石澤 治亮	雇	大14. 4. 9	大14. 7.20退
Nisimura-Terue	西村 輝惠	學校醫	大13. 4. 1	大14. 9.30退
Yamaki-Hukumatu	山木 福松	囑託	大14. 6.15	大15. 1. 4退
Satō-tosiko	佐藤 敏子	雇	大13. 3.25	大15. 1.14退
Hiraoka-Munetake	平岡 宗威	教授	大13. 1. 7	大15. 3.21退
Sakabe-Sigetosi	阪部 重壽	講師	大14.11.10	大15. 3.31退
Inomata-Sôroku	猪俣 惣六	教授	大13. 9. 1	大15 10.25死
Kokubu-Kenzi	國府 健次	講師	大15. 4. 7	大15.10 30退
Moritani-Itirô	森谷 一郎	講師	大15. 4. 1	大15 10.31退
Kawakami-Tomisaku	川上 富作	雇	大13. 7. 1	大15.12. 3退
Abe-Kunisada	阿部 國貞	書記	大13. 2.13	昭 2. 7. 2轉
Asano-Nagahusa	淺野 長房	配屬將校 陸砲少佐	大14. 4.24	昭 2. 7.26轉
Kozima-Tadasi	小島 貞	雇	大13.11.11	昭 2. 9.30退
Adati-Sigetarô	安達繁太郎	雇	大15. 6.14	昭 3. 2. 4退
Mori-Suketoki	森 相時	講師	昭 2. 3.11	昭 3. 3.22退
Kusabiraki-Tatuzi	草開 達二	雇	大14. 5.20	昭 3. 9. 8退
Kogosi-Mika	小越 美加	雇	大13. 6. 2	昭 3. 9.24退
Higuti-Takeo	樋口 武雄	雇	大14. 4. 1	昭 3.10.11退
Nakazaki-Hyôsuke	中崎 兵助	雇	昭 3. 4.30	昭 3.12.24退
Kondô-Sonosuke	近藤素之助	雇	大15. 6.11	昭 4. 1.31退
Hasegawa-Tatuo	長谷川龍雄	講師	大15. 4. 1	昭 4. 3.30退

Segawa-Yûzirô	瀨川勇次郎	雇	大15. 6.14	昭 4. 7.11死
Satô-Tetuzi	佐藤 哲司	囑託	昭 3. 4.16	昭 4.10.10退
Tobinaga-Zindi	飛永 甚治	教授	大14. 4. 7	昭 4.10.15轉
Sunaga-Hideya	須永 秀彌	教授	大14. 4. 1	昭 5. 3. 5轉
Naka-Toyozirô	中 豊次郎	講師	昭 3. 3.26	昭 5. 3.10轉
Kin-Kensyô	金 賢燮	雇	昭 4. 4.19	昭 5. 3.10退
Hayahune-Eun	早船 慧雲	教授	大12. 3. 3	昭 5. 3.10轉
Hurukawa-Zirôti	古金次郎一	教授	大13. 3.17	昭 5. 4 9退
Andô-Takeyo	安藤 竹代	雇	大15. 1.25	昭 5. 5 5退
Simidu-Moriiti	清水 守市	雇	大13.10.15	昭 5. 7.30退
Sano-Mituo	佐野 光雄	配屬將校 砲兵佐	昭 2. 7.26	昭 5. 8. 1轉
Takahasi-Isaburô	高橋伊三郎	講師	昭 5. 4 30	昭 5. 8 14死
Miyazima-Rin	宮島 リン	雇	大13. 3.20	昭 5.11.24退
Akabe-Hitosi	赤部 一	雇	大14. 9.24	昭 5.12 19退
Matukura-Tokinosuke	松倉時之助	講師	大14. 2. 2	昭 6. 3.31退
Tatikawa-Kôtinô	太刀川浩一郎	講師	昭 5. 4.21	昭 6. 3.31退

Ⅶ 學　　生

1. 學生氏名 (ABC順)

(昭和六年五月一日現在)

電氣工學科第三學年 (35名)

	氏　名	本籍	出身學校	役員其ノ他
Adati-Rokurô	足立六郎	(鳥取)	米子中	
Akimoto-Sigeru	秋本茂	(山口)	濱田中	
Hanyûda-Hirosi	羽生田博	(長野)	須坂中	雜誌主事
Hasegawa-Masaki	長谷川政喜	(長野)	長野工	
Hayasi-Kiyosi	林清	(大阪)	北野中	野球主事
Horie-Masao	堀江政雄	(新潟)	新潟中	
Hudiyosi-Sakio	藤吉鉾夫	(岐阜)	武儀中	
Ikenaga-Masahiko	池永政彦	(和歌山)	伊都中	
Inoue-Hideo	井上英雄	(香川)	丸龜中	
Inoue-Kwanta	井上寛太	(香川)	小豆島中	
Iwata-Nobutarô	岩田信太郎	(群馬)	横濱一中	山岳主事
Kaneda-Tosio	金田敏男	(山口)	長府中	
Kawasaki-Tomomasa	川崎友正	(大阪)	岸和田中	
Kawasima-Seigo	川島省吾	(大阪)	岸和田中	
Kobayasi-Kihati	小林季八	(新潟)	長岡中	學藝總代、校友會幹事
Kuroda-Sigeyori	黒田茂則	(兵庫)	姫路中	相撲主事
Kusaka-Kaduo	日下和夫	(岡山)	津山中	
Murayama-Hirosi	村山浩	(新潟)	新潟中	
Nakagawa-Tatuo	中川達雄	(靜岡)	志太中	
Nakano-Seisaku	中野清作	(新潟)	三條中	
Nakazawa-Syôsuke	中澤庄之助	(長野)	上田中	
Nobe-Tadaaki	野邊忠明	(埼玉)	熊谷中	
Noda-Isao	野田勳	(新潟)	長岡中	

Nozima-Hatirô	野島八郎	(新潟)	柏崎中	
Oohasi-Gorô	大橋五郎	(新潟)	三條中	
Oonisi-Hideyuki	大西秀之	(香川)	丸龜中	スキー主事
Oota-Saburô	太田三郎	(埼玉)	川越中	
Otiyama-hirosi	落山弘	(兵庫)	兵庫工	庭球主事
Satô-Yosiya	佐藤義也	(新潟)	新發田中	
Simidu-Toyokiti	清水豊吉	(山口)	萩中	劍道主事
Tanaka-Yasumasa	田中泰正	(新潟)	栃木中	音樂主事
Ueki-Itimatu	植木市松	(新潟)	新潟中	學藝總代、校友會幹事
Yamane-Kenziro	山根憲次郎	(鳥取)	鳥取一中	
Yosikawa-Asadi	吉川朝治	(奈良)	畝傍中	
Yuiyama-Nobutosi	唯山信利	(北海道)	苫小牧工	

電氣工學科第二學年 (34名)

	氏　名	本籍	出身學校	役員其ノ他
Abe-Takeo	阿部武夫	(新潟)	六日町中	
Amari-Genya	甘利源彌	(長野)	北佐久農	
Aoyagi-Syôzi	青柳正二	(新潟)	三條中	
Hayano-Mituo	早野三夫	(岐阜)	大垣中	
Isizaka-Sitirô	石坂七郎	(新潟)	長岡中	
Iwasaka-Yositaka	岩崎美孝	(東京)	三條中	
Katô-Bunzi	加藤文司	(新潟)	長岡中	
Kimura-Yosikatu	木村淑克	(新潟)	高田中	
Kobayasi-Gunzi	小林郡次	(大阪)	上宮中	
Kondô-Hidezirô	近藤秀次郎	(鳥取)	米子中	
Matuzaki-Mutudi	松崎睦治	(新潟)	三條中	
Morimoto-Seiiti	盛本清一	(富山)	魚津中	
Muraki-yosio	村木由夫	(新潟)	三條中	
Nagasaka-Sotozi	長坂外次	(富山)	富山中	學藝總代、柔道主事
Nakagawa-Yûzô	中川侑三	(新潟)	高田中	

Nodu-Yukie	野津幸	衛(三重)	木之本中
Oda-Isinosuke	織田石之	助(愛媛)	松山中
Oda-Sei	小田	銓(愛知)	愛知工
Okamoto-Sigeru	岡本	茂(三重)	名古屋中
Oonisi-Mituo	大西滿	男(山口)	長府中　學級總代
Saitô-Seigi	齋藤正	義(新潟)	高田中
Sakakura-Yotarô	坂倉與太	郎(三重)	富田中
Simakage-Hideo	島影秀	夫(福島)	安積中
Siono-Kiyosi	鹽野	清(石川)	石川工　美術主事
Suzuki-Tokiya	鈴木時	哉(新潟)	三條中
Takano-Masao	高野正	夫(新潟)	新潟中
Tubone-Yosio	坪根芳	雄(長野)	飯山中
Ueki-Kusaburô	植木九三	郎(新潟)	長岡中
Usuda-Masazi	臼田正	二(富山)	魚津中
Yago-Tosikazu	矢後俊	三(富山)	礪波中
Yamada-Saburô	山田三	郎(福井)	東京七中
Yamamura-Yutaka	山村	豊(鳥取)	鳥取二中
Yanagawa-Kiyosi	柳川	清(北海道)	函館工
Yokote-Mituo	横手光	雄(和歌山)	伊都中　水泳主事

電氣工學科第一學年（38名）

氏名	本籍	出身學校	役員其ノ他
Adati-Masao	足立正	雄(滋賀)	天王寺中
Doi-Kiyomi	土居清	美(高知)	旅順一中
Hasegawa-Hadime	長谷川	一(兵庫)	今宮職工
Hasidate-Isamu	橋立	勇(新潟)	高田中
Hosomi-Keiô	細見圭	翁(京都)	宮津中
Hudii-Masataiô	藤井正太	郎(新潟)	佐渡中
Kakino-Isao	垣野亥三	男(三重)	三重工
Katada-Susumu	片田	進(新潟)	長岡中

Katô-Takanobu	加藤孝	信(富山)	富山中
Kawasima-Syôzô	川島正	三(新潟)	長岡中　學級總代
Kido-Akira	城戸	晃(福岡)	豐津中
Kittaka-Nobuo	橘高信	夫(廣島)	本郷中
Kondô-Tadasi	近藤	禎(新潟)	新潟中
Kunihara-Yosio	國原芳	夫(石川)	金澤三中
Kuwada-Hirosi	桑田	弘(廣島)	水口中　學級總代
Maeda-Kiyosi	前田	清(三重)	津　中
Matubara-Ryôzô	松原了	三(新潟)	長岡中
Matui-Syunpei	松井俊	平(新潟)	小千谷中
Matuzaki-Seisaku	松崎清	作(新潟)	長岡中
Miduno-Syôtirô	水野正一	郎(東京)	成城中
Nakai-Katutosi	中井勝	利(富山)	大泊中
Nakamura-Takeya	中村健	也(兵庫)	甲陽中
Nidaira-Masabume	仁平正	文(茨城)	會津中
Nisioka-Hirosi	西岡	博(三重)	宇治山田中
Oono-Rokurô	大野六	郎(新潟)	長岡商
Saitô-Takesi	齋藤	健(新潟)	三條中
Suzuki-Masaki	鈴木正	材(愛媛)	豊中中
Takahasi-Takatosi	高橋隆	甫(新潟)	三條中
Takahasi-Tosio	高橋敏	雄(新潟)	帶廣中
Takeuti-Takasi	竹内	孝(新潟)	高田中
Tanaka-mutuo	田中睦	夫(鹿兒島)	加治木中
Taniguti-Hisao	谷口久	夫(東京)	市岡中
Tuboya-Tosio	坪谷敏	雄(新潟)	三條中
Watanabe-Etuzi	渡邊悦	二(新潟)	長岡中
Watanabe-Minoru	渡邊	實(愛知)	愛知一中
Yai-Takeo	屋井武	雄(新潟)	長岡中
Yanagi-Syôsi	柳正	司(新潟)	十日町中
Yosida-Takeo	吉田武	夫(德島)	德島中

機械工學科第三學年（33名）

	氏名	本籍	出身學校	役員其ノ他
Daikôzi-Masayuki	大光寺正行	(岩手)	岩手工	
Handa-Teruo	半田光雄	(長野)	長野中	雜誌主事
Honda-Syôgo	本田省吾	(兵庫)	岡山工	
Hosokai-Sinzô	細貝信三	(新潟)	長岡中	
Hudie-Renpei	藤江廉平	(靜岡)	靜岡中	
Ikeda-Katuyosi	池田克芳	(山口)	柳井中	
Isii-Tisato	石井千里	(千葉)	長生中	
Kusugi-Gentarô	小杉源太郎	(山梨)	都留中	
Matuda-Nobuzirô	松田宣次郎	(鳥取)	鳥取一中	
Minagawa-Yositarô	皆川良太郎	(福岡)	尼崎中	
Minami-Tosio	南利雄	(兵庫)	關西學院中	
Misawa-Masayuki	三澤正之	(廣島)	誠之館中	庭球主事
Miyano-Zirô	宮野二郎	(靜岡)	城北中	
Nakabayasi-Syûzii	中林修治	(新潟)	長岡中	
Nakano-Hirosi	中野廣	(兵庫)	姬路中	
Nakayama-Huzio	中山富士雄	(兵庫)	豊岡中	學級總代
Nisimori-Kazuo	西森一雄	(大阪)	高津中	陸上競技主事
Oomae-Yasuhiko	大前康彦	(和歌山)	堺中	
Oyanagi-Tomoiti	小柳友一	(新潟)	三條中	卓球主事
Saitô-Syôhei	齋藤正平	(神奈川)	小田原中	
Saitô-Yosio	齋藤芳男	(新潟)	巻中	講演主事
Satô-Takeo	佐藤武夫	(新潟)	三條中	籠球主事
Sei-yôitirô	清洋一郎	(靜岡)	磐城中	
Sekine-Kyôô	關根恭三	(新潟)	三條中	
Sugimoto-Hirohumi	杉本公文	(岡山)	岡山二中	
Suzuki-Motohiro	鈴木原弘	(新潟)	高田中	弓道主事
Takahasi-Kiyomi	高橋清見	(北海道)	函館工	
Takehi-Tosio	武樋俊雄	(新潟)	長岡中	美術主事
Tanaka-Toyoiti	田中豊一	(新潟)	長岡中	

Turuta-Kazuo	鶴田一男	(鹿兒島)	加治木中	
Watanabe-Kaname	渡邊要	(靜岡)	靜岡師	校友會幹事
Watanabe-Ryô	渡邊了	(兵庫)	豊岡中	學級總代、校友會幹事
Yamada-Kwandi	山田寛治	(兵庫)	龍野中	

機械工學科第二學年（35名）

	氏名	本籍	出身學校	役員其ノ他
Akazawa-Takeo	赤澤武雄	(長野)	松本中	
Bessyo-Makoto	別所誠	(兵庫)	姬路中	
Gotô-Giken	後藤義顯	(東京)	正則中	
Hukai-Tarô	深井太郎	(新潟)	明倫中	
Hukuda-Yosio	福田好雄	(岡山)	岡山工	
Huse-Sinzô	布施津三	(新潟)	長岡工	學級總代　劍道主事
Igarasi-Kiiti	五十嵐喜一	(山形)	鶴岡中	
Iki-Seibun	井城清文	(富山)	富山中	
Inoue-Hideobu	井上秀信	(香川)	丸龜中	
Iwasawa-Iwao	岩澤岩雄	(新潟)	高田中	相撲主事
Karô-Masao	加納政雄	(兵庫)	關西學院中	
Kawada-Akira	川田彰	(香川)	丸龜中	
Kadimoto-Eiiti	梶本英一	(大阪)	住吉中	
Kitamura-Akira	喜多村明	(東京)	成蹊中	卓球主事
Kobayasi-Mituru	小林滿	(長野)	諏訪中	學級總代
Kunieda-Hatirô	國枝八郎	(岐阜)	本巢中	
Matui-Sigeiti	松井繁市	(奈良)	五條中	
Matumoto-Minoru	松本實	(埼玉)	麻布中	
Mita-Eisaku	見田榮作	(新潟)	新潟中	
Mori-Sigenobu	森茂信	(富山)	富山中	
Nakagami-Hideo	中神秀夫	(愛知)	豊橋中	
Nakamura-Kazuo	中村一雄	(福岡)	浦和中	
Noguti-Syôitirô	野口庄一郎	(新潟)	新潟中	

Oota-Syôiti	太田正一(香川)	丸龜中
Satô-Gorôemon	佐藤五郎右エ門(秋田)	秋田工
Satô-Mituyosi	佐藤光義(新潟)	柏崎中
Sotono-Takuiti	外野卓一(廣島)	福山誠之館中
Suzuki-Saburô	鈴木三郎(千葉)	佐倉中
Suzuki-Syôzi	鈴木正司(新潟)	長岡工
Tandô-Morimasa	丹藤盛昌(福島)	喜多方中
Terasawa-Minato	寺澤湊(東京)	郁文館中
Ueno-Seisin	上野清信(大阪)	茨木中
Utugi-Kôsirô	宇津木幸司郎(静岡)	專檢
Yagi-Yôô	八木要三(香川)	小豆島中
Yamamoto-Bunzi	山本文司(新潟)	長岡工

機械工學科第一學年 (40名)

	氏名	本籍	出身學校	役員其ノ他
Akano-Kendi	赤野健治	(岡山)	津山中	
Hamaguti-Katuzi	濱口克爾	(福岡)	小倉中	
Hasegawa-Takezi	長谷川武次	(新潟)	三條中	學級總代
Hatakeyama-Sitirô	畠山七郎	(新潟)	長岡中	
Hine-Hirosi	日根宏	(和歌山)	海草中	
Hurutani-Masao	古谷正雄	(德島)	桃山中	
Iida-Sirô	飯田士郎	(奈良)	御所工	
Iida-Yosio	飯田嘉雄	(山口)	長府中	學級總代
Ikeda-Masao	池田正男	(大阪)	上宮中	
Imanari-Tutomu	今成力	(新潟)	長岡中	
Ioku-Minoru	井奥實	(兵庫)	瀧川中	
Irie-Rokurô	入江六郎	(兵庫)	小野中	
Isiduka-Sadamu	石塚巽	(新潟)	高田中	
Isiguro-Tosirô	石黒敏郎	(新潟)	長岡中	
Katô-Kôhei	加藤公平	(香川)	參度津中	

Kimoto-Kenzô	木本憲三	(新潟) 長岡中
Kobayasi-Zennosuke	小林善之助	(大阪) 高津中
Koyanagi-Masami	小柳正巳	(新潟) 巻中
Kuwano-Hatuzô	桑野初藏	(新潟) 新潟中
Maruyama-Syôzô	丸山昇造	(大阪) 桃山中
Matui-Dyûsuke	松井重輔	(兵庫) 伊丹中
Miida-Tatuzirô	三井田達二郎	(新潟) 柏崎中
Momotake-Takeo	百武竹男	(新潟) 村上中
Mori-Tadao	森正夫	(兵庫) 尼崎中
Motohasi-Kenzô	本橋健三	(千葉) 尼崎中
Nagao-Masao	長尾正雄	(新潟) 札幌二中
Nisizaki-Kiyozi	西崎喜代次	(岡山) 太田中
Okagaito-Kaoru	岡垣內馨	(和歌山) 海南中
Ooisi-Minoru	大石實	(新潟) 長岡中
Oowada-Takeitirô	大和田武一郎	(大阪) 鳳中
Sakuma-Hirosi	佐久間廣	(新潟) 新潟中
Sibata-Akira	柴田明	(愛知) 津島中
Utumi-Hirosi	內海宏	(神奈川) 正則中
Wada-Hideo	和田秀雄	(新潟) 小千谷中
Yamamoto-Mitio	山本道郎	(岡山) 矢掛中
Yamazaki-Tamotu	山崎保	(新潟) 新發田中
Yasuhuku-Tosikazu	安福俊一	(兵庫) 小野中
Yasui-Hirosi	安井弘	(岡山) 岡山二中
Yoneyama-Masao	米山正夫	(新潟) 長岡中
Yosikawa-Tarô	吉川太郎	(大阪) 四條畷中

應用化學科第三學年 (32名)

	氏名	本籍	出身學校	役員其ノ他
Asobe-Yukio	遊部幸雄	(富山)	富山工	
Gotô-Bunya	後藤文彌	(静岡)	沼津中	

Hagiwara-Yasusaburô	萩原保三郎(奈良)	奈良中	山岳主事
Hano-Norio	羽野規夫(東京)	富田中	
Hasegawa-Harunaga	長谷川治良(東京)	太田中	
Hitani-Kiyosi	氷谷清(大阪)	岸和田中	
Horiuti-Sigeru	堀内繁(愛知)	豊橋中	
Itano-Hiroto	板野公人(岡山)	關西中	
Itô-Syunsaku	伊藤俊策(愛媛)	西條中	水泳主事
Kageyama-Kimio	蔭山公雄(福井)	住吉中	弓道主事
Kano-Naohei	加野直平(新潟)	長岡中	校友會幹事
Kobayasi-Mataitirô	小林又一郎(新潟)	柏崎中	
Koyanagi-Seiti	小柳精一(栃木)	宇都宮中	學級總代、校友會幹事
Kurosaki-Tiyokazu	黒崎千代一(新潟)	長岡工	
Nagata-Yositô	永田良任(鹿兒島)	平安中	
Ogihara-Kôki	荻原甲喜(栃木)	佐野中	
Okamoto-Eisi	岡本英士(廣島)	福山誠之館中	
Oosima-Monya	大島門也(京都)	桃山中	柔道主事
Oota-Hideo	太田英夫(和歌山)	和歌山中	
Osida-Itirô	押田一良(埼玉)	本庄中	
Sakaguti-Gorô	坂口伍郎(和歌)	粉河中	
Satô-Takehiko	佐藤武彦(新潟)	長岡中	
Sawato-Sirô	澤登四朗(山梨)	甲府工	
Sugimoto-Kiyomiti	杉本清道(北海)	野付牛中	
Takeuti-Kozyûrô	武内小十郎(和歌山)	日高中	
Tanaka-Takeo	田中武夫(廣島)	廣島二中	
Tomioka-Hirosi	富岡弘(宮城)	瀧城中	
Tutida-Siezaburô	土田清三郎(新潟)	長岡中	
Warasina-Reisuke	藁科禮介(靜岡)	靜岡工	
Yamamoto-Asata	山本朝太(和歌山)	和歌山中	
Yasui-Tamao	安井玉男(大阪)	高津中	スキー主事
Yokoyama-Teruo	横山照雄(大阪)	泉尾工	學級總代.陸上競技主事

應用化學科第二學年（32名）

	氏名	本籍	出身學校	役員其ノ他
Andô-Seiiti	安藤盛一	(愛知)	光州中	
Azeti-Nobuiti	畦地延一	(三重)	尾鷲中	
Hagiwara-Hiroe	萩原大衛	(大阪)	天王寺中	
Hodaka-Raisaku	帆高雷作	(大分)	勝所中	
Itô-Kôzi	伊藤孝次	(新潟)	佐渡中	
Katô-Masaya	加藤馬左也	(大阪)	市岡中	
Katô-Tyôli	加藤長治	(長野)	野澤中	學級總代
Koide-Hirosi	小出弘	(群馬)	宇和島中	
Komamura-Yazirô	駒村彌次郎	(長野)	飯山中	
Kozima-Yosinaga	小島芳長	(和歌山)	伊都中	
Masuzawa-Yûki	增澤勇龜	(長野)	諏訪中	
Miyata-Osamu	宮田修	(山口)	三次中	音樂主事
Motiduki-Syôzô	望月祥三	(廣島)	瀧川中	
Murakami-Tuyosi	村上強	(長野)	宇部中	
Murayama-Nobuyuki	村山信行	(東京)	西條中	
Nakano-Hidezô	中野英三	(岐阜)	斐太中	學級總代
Nisioka-Tetuzi	西岡鐵次	(佐賀)	小城中	
Ogihara-Mituo	荻原光夫	(長野)	野澤中	
Okuda-Isao	奥田績	(鹿兒島)	住吉中	
Oota-Kôzô	太田甲三	(福島)	會津工	
Satô-Kiyosi	佐藤清	(新潟)	長岡中	
Sigemune-Sin'iti	重宗眞一	(山口)	下松工	
Sirai-Tetuo	白井哲雄	(新潟)	長岡工	講演主事
Taduruhama-Takesi	田鶴濱武	(石川)	長岡中	
Takahasi-Sôsirô	高橋惣次郎	(新潟)	高田中	
Takanasi-Susumu	高梨進	(新潟)	長岡中	
Takeuti-Kenzi	武内謙二	(山口)	巢鴨中	
Tanaka-Saburô	田中三郎	(福島)	會津中	野球主事
Tomida-Tosiyuki	富田敏行	(岐阜)	大垣中	

Yamamoto-Yukihiro	山本行寛（廣島）	吳一中	
Yamauti-Yukio	山内幸雄（大阪）	巢鴨中	
Zyûmi-Syôji	十見正治（新潟）	長岡中	籠球主事

應用化學科第一年學生（40名）

	氏名	本籍	出身學校	役員其ノ他
Hama-Taitirô	濱多一郎	（兵庫）	洲本中	
Hattori-Yasutuna	服部保綱	（京都）	台中二中	
Hiramatu-Syun	平松俊	（石川）	鯖田中	
Horiuti-Syôiti	堀内正一	（長野）	屋代中	
Hudii-Kôzirô	藤井小次郎	（山口）	岩國中	
Iwasaki-Tomoaki	岩崎友亮	（福井）	武生中	
Katagiri-Hirosaburô	片桐弘三郎	（新潟）	村松中	
Kobayasi-Syôiti	小林正一	（三重）	三重縣工	
Konisi-Kôhei	小西幸平	（富山）	富山中	
Kurasima-Ken	倉島健	（長野）	大連一中	
Kuwabara-Eizyun	桑原英順	（新潟）	台中二中	
Matui-Ryôhei	松井量平	（新潟）	新潟中	
Minowa-sigetaka	箕輪重孝	（新潟）	東京化工	
Mito-Tiharu	三戸千春	（山口）	大連一中	
Miura-Gorô	三浦五郎	（新潟）	長岡工	
Miyazaki-Kikuzô	宮崎菊藏	（東京）	開成中	
Mori-Tyûzô	森忠三	（兵庫）	兵庫工	
Motiduki-Masana	望月正名	（埼玉）	浦和中	學級總代
Nagao-Nobuo	長尾信雄	（新潟）	六日町中	
Nakamura-Hudimasa	中村藤正	（新潟）	柏崎中	
Nisimaki-Makoto	西間木信	（福島）	兵庫縣工	
Okamoto-Nobuya	岡本信也	（新潟）	長岡中	
Ooisi-Seiiti	大石清一	（埼玉）	不動岡中	
Oomori-Matuo	大森松夫	（長野）	上田中	

Oosumi-Sinzô	大隅眞三	（愛知）	岡崎中
Satô-Tatuo	佐藤龍雄	（靜岡）	大連二中
Sinada-Ken'iti	品田健一	（新潟）	小千谷中
Sudô-Tosio	須藤敏男	（埼玉）	熊谷中
Sugiura-Kiyosi	杉浦清	（愛知）	名古屋中
Suzuki-Tomoei	鈴木朝榮	（新潟）	柏崎中
Takahasi-Masao	高橋政雄	（新潟）	有恒學舍 學級總代
Takano-Kunrô	高野勳郎	（岡山）	平壤中
Tanaka-Syôji	田中正治	（新潟）	新潟中
Ueno-Hirosi	上野博司	（栃木）	宇都宮中
Utida-Kôhei	内田耕平	長野）	長野工
Yamaguti-Terutora	山口輝虎	（新潟）	高田中
Yamanozyô-Kazuhiko	山之城一彦	（宮崎）	台中二中
Yonemoti-Osamu	米持修	（長野）	飯山中
Yosida-Takeo	吉田武夫	（秋田）	秋田中
Yosida-Zyn'iti	吉田純一	（奈良）	歲傍中

2. 卒業者・修業者氏名 (ABC順)

電氣工學科

第一回卒業者 (34名) 昭和二年三月

	氏名	本籍	勤先
Asano-Zirô	淺野次郎	(廣島)	日本海電氣株式會社
Hirayama-Mitio	平山道男	(新潟)	京城基督教青年會
Hiroi-Saburô	廣井左武郎 (小川ト改姓)	(新潟)	新潟電力株式會社
Honma-Tosiie	本望利家	(新潟)	山陽水力電氣株式會社
Hosino-Motoi	星野基	(新潟)	東京横濱電鐵株式會社
Hudita-Sukezirô	藤田助二郎	(新潟)	東京逓信局電氣課
Hudita-Teizi	藤田悌二	(新潟)	八幡製鐵所
Igarasi-Nirô	五十嵐二郎	(新潟)	大北工業株式會社
Kadimoto-Matuzi	梶本松次	(廣島)	朝鮮鐵道株式會社長淵自動車營業所
Karita-Tôitirô	刈田藤一郎	(新潟)	株式會社京三製作所
Kase-Tasuke	嘉瀬太貴	(新潟)	倉敷絹絲株式會社
Kawamura-Katuhei	川村勝平	(新潟)	京都市電氣局電氣課
Kimura-Teizi	木村貞司	(新潟)	長野縣警察部保安課
Kobayasi-Hirosi	小林博	(新潟)	陸軍通信學校研究部
Mano-Bunsaku	間野文作	(新潟)	北越水力電氣株式會社
Maruyama-Susumu	丸山進	(新潟)	自宅
Matutani-Syôzi	松谷庄次	(富山)	日本電力株式會社
Matuura-Ikuzô	松浦幾造	(秋田)	北海道電燈株式會社
Minagawa-Hirosi	皆川弘	(新潟)	新潟電力株式會社
Mori-Kendi	盛健治	(青森)	中央電氣株式會社
Moriya-Tarô	森谷太郎	(群馬)	東京工業大學窯業科在學
Motoyama-Tadanobu	本山忠信	(新潟)	志久見川電力株式會社
Nagakura-Eizô	永倉榮三	(宮城)	自宅
Natui-Tamesige	夏井爲茂	(愛媛)	京阪電氣鐵道株式會社

Saitô-Kin'iti	齋藤金一	(新潟)	新潟電力株式會社
Sano-Tamotu	佐野保	(新潟)	東京工業大學電氣工學科在學
Sekikawa-Kôtarô	關川浩太郎	(新潟)	函館商工實修學校
Sekikawa-Seiiti	關川精一	(新潟)	村上水電株式會社
Takeisi-Tôli	武石逗治 (間藤ト改姓)	(新潟)	逓信省電氣局
Takeuti-Tutomu	竹内功	(東京)	逓信省電氣試驗所第五部
Tanaka-Kôhei	田中康平	(新潟)	自宅
Tukamoto-Takeo	塚本武夫	(新潟)	長野縣工業試驗所
Yamamoto-Sôtarô	山本壯太郎	(新潟)	日本電氣株式會社
Yosioka-Kazuo	吉岡一雄	(富山)	富山縣警察部保安課

第二回卒業者 (28名) 昭和三年三月

	氏名	本籍	勤先
Aoyagi-Morsiti	青柳紋七	(新潟)	新潟縣立新發田商業學校
Hanawa-Yosio	塙義雄	(茨城)	自宅
Honma-Kôiti	本間孝一	(新潟)	京阪電氣鐵道株式會社
Hosino-Nobuo	星野信夫	(新潟)	沖電氣株式會社芝浦工場
Hukuda-Hideo	福田秀夫	(栃木)	鐵道省官房研究所大井分室
Inada-Humio	稻田文雄	(富山)	富山縣電氣局眞川發電所
Kaidu-Sinei	海津信衛	(新潟)	中央度量衡檢定所大阪支所
Kanayama-Hideo	金山秀雄	(新潟)	東京鐵道局電氣課
Kimura-Sigeo	木村重雄	(新潟)	北越水力電氣株式會社
Kitamura-Kôtoku	北村孝徳	(長野)	上總水力電氣株式會社
Moriyama-Hiromu	森山擴	(新潟)	京都市電氣局營業課
Murayama-Saburô	村山三郎	(新潟)	日立製作所東京本社
Nisiyama-Nisaburô	西山二三郎	(新潟)	日本海電氣株式會社
Nisizawa-Heiitirô	西澤平一郎	(新潟)	北海水力電氣株式會社
Nomoto-Matusiti	野本松七	(新潟)	三河水力電氣株式會社
Oda-Seizi	小田正二	(新潟)	鐵道省電氣局電化課
Oda-Syôroku	小田莊六	(新潟)	新潟縣警察部保安課

Oda-Tokunosuke	小田徳之助(新潟)	日本電報通信社福岡支局
Oosima-Kenzô	大島健三(新潟)	仙臺鐵道局秋田驛逓信區
Ootuka-Tamekiti	大塚爲吉(新潟)	京都電燈株式會社福井支社
Sirai-Takesi	白井武(新潟)	新潟縣立長岡工業學校
Suzuki-Iwao	鈴木岩雄(新潟)	新潟電力株式會社
Takahasi-Tunezi	高橋恒次(新潟)	新潟電力株式會社
Taniuti-Tyûtarô	谷内忠太郎(新潟)	昭和肥料株式會社川崎工場
Tatikawa-Masazi	太刀川正二(新潟)	北越水力電氣株式會社
Watanabe-Hideo	渡邊秀男(新潟)	日本石油株式會社秋田黒川發電所
Yamaguti-Masamori	山口正盛(長野)(石井ト改姓)	東信電氣株式會社高瀬川發電所
Yosimura-Seizirô	吉村清次郎(長野)	樺太電氣株式會社

第三回卒業者（37名）昭和四年三月

氏名	本籍	勤先
Ban-Tunesaku	伴常作(新潟)	大同電力株式會社古川橋保線區
Bôzyô-Tadao	坊上忠雄(香川)	四國水力電氣株式會社
Daikôzi-Masami	大光寺正見(岩手)	札幌逓信局
Hasegawa-tosio	長谷川俊雄(新潟)	日立製作所營業課
Hirose-Syunzi	廣瀬俊司(新潟)	黒部川電力株式會社
Itô-keiiti	伊藤敬一(新潟)	東信電氣株式會社高瀬川第五發電所
Kanbe-Tadasi	神戸正(新潟)	東信電氣株式會社豊實發電所
Kawasima-Kôhei	川島康平(新潟)	陸軍通信學校研究部
Kimura-Nobuzi	木村信次(静岡)	自營
Kizima-Nisaku	木島仁策(新潟)(正次郎ト改名)	南滿洲鐵道株式會社奉天保線事務所
Kuriyama-Kiyosi	栗山潔(兵庫)	川崎造船所
Maezawa-Atusi	前澤篤(新潟)	川崎造船所
Matui-Tosio	松井敏夫(福岡)	南滿洲鐵道株式會社鐵道部
Matukawa-Sinya	松川申也(新潟)	見附高等女學校
Minemura-Risuke	峯村利助(新潟)	日本曹達株式會社二本木工場

Murata-Sigetami	村田茂民(岡山)	中國合同電氣株式會社
Oka-Syôgorô	岡正午郎(新潟)	越後電力株式會社
Ooti-Hirosi	大智浩(岡山)	帝國書院(東京)
Oowada-Moritane	大和田盛胤(秋田)	富山縣電氣局上滝發電所
Otiai-Isamu	落合勇(静岡)	大阪工業大學冶金科在學
Saitô-Tadasi	齋藤征(新潟)	昭和肥料株式會社川崎工場
Saitô-Yû	齋藤勇(新潟)	自宅
Sakai-Mazaemon	酒井間左工門(富山)	川北電氣土木株式會社
Sakurai-Sin'itirô	櫻井新一郎(新潟)	遞信省電氣試驗所第三部
Satô-Hideo	佐藤秀男(新潟)	東武鐵道株式會社電氣課
Satô-Susumu	佐藤晋(群馬)	東京工業大學電氣工學科在學
Seki-Kanae	關香苗(新潟)	芝浦製作所技術調査部特許係
Takahasi-Yosio	高橋芳雄(新潟)	仙臺鐵道局
Takeuti-Syôzi	竹内昇司(新潟)	新潟電力株式會社
Tanaka-Yosio	田中芳夫(静岡)	金澤放送局
Taneoka-Kunitake	種岡國威(新潟)	陸軍技術本部第一部調機班
Tatiiri-Minoru	建入實(新潟)	
Tuboya-Zenzaburô	坪谷善三郎(新潟)	小林電機工場
Wasio-Seidi	鷲尾静治(新潟)	自營 イーグル商會
Yamaguti-Hirosi	山口宏(新潟)(小林ト改姓)	東京鐵道局
Yamasita-Humio	山下文雄(新潟)	小寺電氣商會(東京)
Yosida-Yosiharu	吉田義治(新潟)	理化學興業株式會社比角工場

第四回卒業者（33名）昭和五年三月

氏名	本籍	勤先
Arai-Zen'iti	荒井善一(新潟)	東京中央放送局新郷放送所
Hanamura-Sueiti	花村末市(長野)	東信電氣株式會社
Hasidate-Takeo	橋立武夫(新潟)	鐵道省電氣局電化課
Hibi-Yasu	日比保(愛知)	大阪工業大學電氣工學科在學
Hosoya-Kenzô	細谷謙三(新潟)	横濱高等工業學校勤務

Imai-Kisuke	今井喜助(大阪)	琴平參宮電鐵株式會社
Imai-Wasaburô	今井和三郎(富山)	日本電力株式會社
Iyama-Sigesaburô	井山重三郎(山形)	日本ポリドール蓄音機商會
Kabasawa-Yosiharu	椛澤義治(新潟)	阪本特許事務所
Kaneko-Makoto	金子誠(新潟)	北越水力電氣株式會社鹽拜變電所
Kobayasi-Sôsaku	小林惣作(新潟)	富山縣立岡工藝學校
Kôno-Sintarô	河野新太郎(兵庫)	自宅
Kuduna-Yutaka	久津名裕(福島)	
Matukawa-Kiyosi	松川潔(新潟)	秋田鑛山專門學校勤務
Minagawa-Tunezi	皆川恒次(新潟)	中ノ口電氣鐵道株式會社
Morohasi-Kinzirô	諸橋金次郎(北海道)	第二富士電力株式會社峠變電所
Morohasi-Yasusi	諸橋仁(新潟)	永井四郎商店(　　)
Nisiyama-Syôgorô	西山正五郎(新潟)	東京電燈株式會社 (入營中)
Nisizawa-Kurô	西澤九郎(長野)	名古屋鐵道局
Nonaka-Isamu	野中勇(新潟)	入營中
Oguma-Mineo	小熊三子夫(新潟)	金澤市立工科學校
Okamura-Kenzô	岡村謙藏(新潟)	東京電氣局赤坂建設所
Oomura-Masaya	大村正也(兵庫)	金澤放送局
Sakai-Syôiti	堺省一(新潟)	新津製油所西中通工場(入營中)
Sugiura-Rikiti	杉浦利吉(愛知)	東京瓦斯電氣工業株式會社
Takagi-Sueo	高木末夫(兵庫)	自營
Takahasi-Seimatu	高橋清松(新潟)	遞信技術官長岡駐在所
Tatara-Sigeo	多田羅繁雄(香川)	海軍技術研究所
Toya-Syûkiti	戸谷周吉(埼玉)	
Tukano-Ikusa	塚野軍(新潟)	死亡
Uehara-Zenzirô	上原善二郎(鳥取)	屋非ラヂオ研究所
Uranisi-Siduoki	浦西賤起(奈良)	
Zinbo-Kaoru	神保馨(新潟)	仙臺遞信局工務課長岡試驗所

第五回卒業者 (36名) 昭和六年三月

氏名	本籍	勤先
Hasegawa-Keikiti	長谷川啓吉(新潟)	
Hasegawa-Satosi	長谷川敏(新潟)	宮城縣電氣事業所
Hayasi-Singo	林眞悟(愛知)	
Hinata-Yukinao	日向幸直(石川)	
Hirayama-Morie	平山守江(福島)	
Hosaka-Keitarô	保阪敬太郎(京都)	東京工業大學電氣工學科在學
Hotta-Kiyosi	堀田清(新潟)	
Hudita-Sirô	藤田四郎(山口)	
Iimuro-Makoto	飯室誠(山梨)	國民新聞社工務部
Isizaka-Sôkiti	石坂壯吉(新潟)	横濱商店
Irisawa-Kenzô	入澤健三(新潟)	
Kaneko-Kiyosi	金子清(新潟)	
Katô-Masazi	加藤政司(新潟)	
Kita-Ryôkiti	喜多亮吉(石川)	金澤市電氣局吉野第一發電所
Kitagata-Yositomo	北形義友(石川)	金澤電氣軌道株式會社
Maezawa-Osamu	前澤治(富山)	富山縣電氣局眞川發電所
Makino-Sinobu	牧野信夫(鳥取)	
Miyake-Hirosi	三宅廣(京都)	
Miyao-Masao	宮尾政雄(新潟)	
Mori-Sigeharu	森滋治(富山)	
Niida-Yukio	新井田幸男(福島)	西山電機商店
Okozaki-Kanae	岡崎鼎(山口)	安川電機製作所
Sakadume-Tetuzi	坂爪徹次(新潟)	北越製紙株式會社新潟工場
Seo-Tetuzirô	瀨尾哲二郎(兵庫)	中國電氣株式會社
Sudô-Syûgo	須藤修五(群馬)	
Sudô-Yosiaki	須藤良明(新潟)	日東紡績株式會社郡山工場
Susuki-Tadakazu	須々木忠一(岡山)	岡山醫科大學勤務
Suzuki-Sigeo	鈴木重雄(新潟)	新潟放送局
Takahasi-Motomatu	高橋元松(新潟)	

Takeda-Sin'itiô	武田信一郎(新潟)	東京電燈株式會社
Tanaka-Hideo	田中秀雄(新潟)	仙臺鐵道局工務課
Tanaka-Sigeru	田中茂(新潟)	
Tutida-Ikurô	土田郁郎(京都)	關西大學在學
Yamamiya-Ikuya	山宮郁彌(新潟)	本校電氣數室勤務
Yanagisawa-Tokis'rô	柳澤土岐四郎(長野)	
Yanase-Sigetosi	柳瀨茂敏(富山)	

機械工學科

第一回卒業者（22名）昭和二年三月

	氏名	本籍	勤先
Abe-Eisuke	阿部永介	(新潟)	
Aoyama-Hirosi	青山浩	(新潟)	新潟縣木工試驗所
Hirata-Kyôhei	平田喬平	(群馬)	株式會社秀英社
Isihara-Hironobu	石原博陣	(東京)	大阪汽車製造株式會社
Katô-Kaizi	加藤海兒	(東京)	新潟鐵工所新潟工場
Katô-Yosio	加藤良男	新潟)	高崎鐵道會社
Kobayasi-Masabumi	小林正文	(長野)	自宅
Kondô-Gorô	近藤悟郎	(新潟)	日本製粉株式會社横濱工場
Kuroda-Kiyosi	黒田清	(新潟)	新潟鐵工所長岡分工場
Miyazaki-Kôzô	宮崎宏藏	(新潟)	新潟縣農業試驗所
Murayama-Yosio	村山芳男	(新潟)	神戸製鋼所播磨造船工場
Nagai-Katuzi	永井勝二	(新潟)	川崎造船所
Nagasaka-Tetuo	長坂鐵男	(富山)	東洋電機製造株式會社
Nakaso-Tosinosuke	中曾敏之助	(愛知)	長岡鐵工所
Nakayama-Sakuhei	中山作平	(新潟)	鐵道省大井工場
Ogawa-Kendi	小川賢治	(新潟)	鐵道大臣官房研究所
Okui-Yosie	奥井義衛	(島根)	川崎造船所飛行機部
Oosima-Zenkiti	大島善吉	(新潟)	神戸製鋼所東京出張所

Satô-Ryôzi	佐藤亮二	(新潟)	大阪機械製作所
Tikaraisi-Masami	力石誠身	(新潟)	池田工業事務所
Yoden-Kidyû	余田喜重	(兵庫)	農林省農業試驗場
Yosikosi-Seidi	吉越清治	(新潟)	東京鐵道局山北機關庫

第二回卒業者（23名）昭和三年三月

	氏名	本籍	勤先
Aikawa-Sumio	相川澄雄	(群馬)	東海給管株式會社
Arai-Tatuo	新井達雄	(新潟)	鐵道大臣官房研究所大井分室
Hanyû-Isamu	羽入勇	(新潟)	陸軍技術本部
Hara-Kenzi	原健二	(新潟)	西川鐵工所(柏崎町)
Hasegawa-Kazuo	長谷川一男	(新潟)	日本石油株式會社
Hosino-Itiya	星野一也	(新潟)	理化學興業株式會社
Kanie-Hyôiti	蟹江兵一	(愛知)	川崎車輛株式會社
Kaneko-Humio	金子文雄	(新潟)	神戸製鋼所
Kasima-Syôgo	鹿島省吾 (徳田ト改姓)	(千葉)	岩崎レール商會月島工場
Koboyasi-Masanao	小林正直	(新潟)	東京鐵道局機關庫
Kobayasi-Torao	小林虎雄	(新潟)	東京工業大學機械工學科在學
Komagata Ryôsaku	駒形良	(作新潟)	長岡鐵工所
Minagawa-Kibisi	皆川巖	(新潟)	理化學興業株式會社
Murakami-Tetuo	村上哲男	(愛媛)	大阪鐵工所因島工場
Nakayama-Bungo	中山文吾	(新潟)	日本ゼネラルモータス株式會社
Nisiki-Seisaku	西木晴策	(新潟)	製紙工場(自營)
Oka-Kunio	岡九二男	(新潟)	自宅
Oosaki-Tadao	大崎忠男	(新潟)	呉海軍工廠
Oota-Nobusige	太田信重	(新潟)	長岡市役所
Sakai-Masao	阪井政夫	(大阪)	大阪市電氣局
Sanemasa-Yosiharu	實政義治	(廣島)	
Simaoka-Heizô	島岡平藏	(新潟)	新潟縣立高田商工學校
Simoda-Sinzi	下田信次	(新潟)	自宅

Sugai-Gorô	須貝五郎(新潟)	新潟縣耕地整理課排水改良事務所
Takahasi-Tokusaburô	高橋徳三郎(新潟)	仙臺鐵道局土崎工場
Takai-Sinsuke	高井迅介(栃木)	測機舍製作所
Takeuti-Takezi	武内武司(新潟)（義和ト改名）	奏自動車商會(東京)
Tanabe-Denzô	田邊傳三(新潟)	死亡

第三回卒業者（28名）昭和四年三月

	氏名	本籍	勤先
Abe-Itirô	阿部一郎	(岩手)	海軍技術研究所航空研究部
Aoki-Zyunnosuke	青木順之助	(埼玉)	大阪瓦斯株式會社
Beppu-Sigeki	別府滋樹	(長野)	北陸電氣工業株式會社
Hara-Sirô	原四郎	(福島)	昭和肥料株式會社川崎工場
Hasegawa-Teruo	長谷川光雄	(埼玉)	樺太工業株式會社眞岡工場
Horita-Keizô	堀田啓三	(富山)	大阪工業大學機械工學科在學
Hudii-Rinzô	藤井林藏	(富山)	第一ラミー紡績株式會社
Imoto-Kwandyû	井本寛重	(島根)	死亡
Kanayama-Sirosi	金山皓	(新潟)	株式會社東京計器製作所
Kaneko-Sirôzi	金子四郎次	(群馬)	島本鐵工場(新潟)
Kanzô-Nobuo	神藏信雄	(新潟)	愛知時計電機株式會社
Kawamura-Susumu	川村晉	(高知)	臺灣電力株式會社臺北火力發電所
Kimura-Hideo	木村秀雄	(新潟)	川崎造船所
Kin-Kensyô	金賢熒	(朝鮮)	
Koike-Sirô	小池四郎	(福島)	
Kubo-Myôiti	窪明一	(新潟)	新潟縣立金工試驗所
Manba-Tutomu	萬羽邁	(新潟)	
Matuhara-Masaki	松原正樹	(新潟)	新潟鐵工所新潟工場
Nakamura-Takeo	中村武夫	(新潟)	渡邊喇叭製作所
Nakano-Kotôla	中野小藤太	(長野)	新潟鐵工所新潟工場
Nakano-Yosio	中野義雄	(新潟)	理化學興業株式會社

Nanba-Tunesige	難波常繁(新潟)	株式會社大阪鐵工所
Oota-Syôzaburô	太田昇三郎(新潟)	仙臺鐵道局土崎工場
Saitô-Teidirô	齋藤貞治郎(新潟)	新潟鐵工所長岡分工場
Simadu-Syûli	島津秋治(滋賀)	大阪工業大學機械工學科在學
Tatibana-Yaiti	橘彌一(福井)	東京電氣株式會社川崎工場
Utuki-Sin	宇津木信(福島)	東京電氣株式會社大阪出張所
Yazima-Sikibu	矢島式部(長野)	神戸製鋼所

第四回卒業者（34名）昭和五年三月

	氏名	本籍	勤先
Araki-Naozi	荒木直司	(群馬)	難波鐵工所
Honma-Yusakiti	本間勇佐吉	(新潟)	理化學研究所
Hosoya-Tokuzi	細谷得二	(新潟)	東京鐵道局大宮工場
Hudii-Sigeru	藤井茂	(兵庫)	大阪中央放送局
Huruiti-Sigeru	古市茂	(福井)	大阪鐵道局吹田工場
Isimura-Yosiyuki	石村義之	(新潟)	藤永田造船所敦津工場
Itagaki-Manabu	板垣學	(山形)	日本機械合資會社
Kitamura-Tomoo	北村知男	(長野)	衛生試驗所
Kobayasi-Syuiti	小林守一	(新潟)	入營中
Kondô-Seiki	近藤誠治	(新潟)	旅順工科大學機械科勤務
Kondô-Tiaki	近藤千秋	(新潟)	新潟鐵工所新潟工場
Kusunoki-Minori	楠三徳	(香川)	
Makino-Humio	牧野文男（定井ト改姓）	(大阪)	
Masui-Tositake	增井利武	(兵庫)	自宅
Mori-Masao	森正雄	(東京)	山越製作所
Nagasawa-Suesiti	長澤末七	(新潟)	北越製紙株式會社市川工場
Nakanisi-Masatake	中西正武	(熊本)	王子製紙株式會社朝鮮工場
Oguri-Yosimasa	小栗義全	(東京)	
Okamura-Ken	岡村憲	(新潟)	本校機械教室勤務
Oniki-Kizô	鬼木喜三	(福岡)	商工省特許局

Ookubo-Tôru	大久保	透(茨城)	鄙山地方專賣局
Ooya-Hirokazu	大矢	廣元(新潟)	新潟鐵工所蒲田工場
Saitô-Teiiti	齋藤	貞一(新潟)	須藤鐵工所(長岡市)
Satô-Tomizirô	佐藤富二	郎(新潟)	豐國機機株式會社
Sinzawa-Yosio	新澤	義夫(新潟)	新潟縣立糸魚川中學校
Sirai-Seidi	白井	清次(北海道)	札幌鐵道局改良課
Tago-Teisuke	多胡	悌介(福島)	日本自動車株式會社德山出張所
Takano-Hideo	高野日出男		(新潟) 新潟縣立三條商工學校
Toda-Kinsaku	戶田	勤作(新潟)	入營中
Tuda-Sirô	津田	四郎(東京)	測英舍
Tutiya-Mitituna	土屋	通綱(靜岡)	
Wasida-Ziirô	鷲田	二郎(新潟)	新潟市水道擴張部
Yamaguti-Yasusi	山口	恭(茨城)	
Yamazaki-Setuô	山崎	節郎(兵庫)	大阪工業大學應機工學科在學

第五回 卒業者(36名) 修業者(1名) 昭和六年三月

氏名	本籍	勤先
Abe-Seinosuke	阿部誠之助(新潟)	大阪鐵道局鷲取工場
Ahara-Masakatu	阿原將勝(富山)	佐藤鐵工所
Go-tonSan	吳墩燦(臺灣)	
Isida-Hide	石田秀(新潟)	帝國人造絹糸株式會社
Issi-Nagao	一志長雄(長野)	
Kakuda-Syôzi	角田正二(新潟)	三條中學校
Katayama-Zenpei	片山善平(新潟)	小千谷麻眞田會社
Kimura-Takeo	木村武夫(新潟)	橫須賀海軍工廠航空機實驗部
Kimura-Tosio	木村敏雄(新潟)	本校機械教室
Kisino-Sôzaburô	岸野宗三郎(宮城)	富山化學研究所
Kobayasi-Kihatirô	小林熙八郎(新潟)	早稻田大學理工科在學
Kobayasi-Syunzô	小林俊造(新潟)	日本光學工業株式會社
Komaki-Ryôiti	小牧良一(神奈川)	東洋製鋼株式會社

Kubota-Tosio	久保田俊	夫(福井)	
Makiguti-Yosikatu	牧口義	勝(新潟)	
Matuda-Hiromi	松田博	海(岡山)	
Matui-Mituo	松井光	雄(栃木)	日立製作所龜戶工場
Matukawa-Onari	松川男	也(新潟)	
Midorikawa-Yosio	緑川義	雄(東京)	報知新聞社工務局
Nagai-Hiromiti	長井廣	道(山口)	大阪特許代理局
Nakamura-Masamoto	中村匡	源(長野)	報知新聞社工務局
Nirasawa-Yosirô	韮澤義	郎(新潟)	本校機械教室
Ogura-kwan'iti	小倉完	一(東京)	
Okamoto-Yosio	岡本義	男(廣島)	大阪工業大學機械科在學
Okuda-Tokuzi	奥田德	次(新潟)	大阪工業大學機械科勤務
Ooisi-Noboru	大石	登(佐賀)	
Oomura-Hidesaburô	大村秀三	郎(新潟)	新潟鐵工所長岡分工場
Sakai-Kunimatu	酒井邦	松(新潟)	本校機械教室
Sinoda-Bunpei	篠田文	平(東京)	
Takahasi-Akira	高橋	彰(新潟)	
Tyûgwanzi-Tetusiro	中元寺鐵	城(宮城)	
Utiyama-Yasuo	內山安	夫(新潟)	長岡製材所
Yamada-Tôgorô	山田東五	郎(新潟)	
Yamagata-Nobuhiko	山縣伸	彦(山口)	
Yamazaki-Tadasi	山崎	正(新潟)	北越製紙株式會社市川工場
Yasuda-Kitaru	安田	來(岐阜)	

修業者

Kômoto-Masahiko	甲本	正彦(岡山)	

應用化學科

第一回卒業者（25名）昭和二年三月

	氏名	本籍	勤先
Aoki-Tyûzô	青木忠蔵	(埼玉)	日本硫曹株式會社
Aoyagi-Heihatirô	青柳平八郎 (内藤ト改姓)	(新潟)	北越水力電氣株式會社
Asanuma-Kazuo	淺沼一夫	(新潟)	
Eguti-Kiyomatu	江口喜代松	新潟)	長岡高等女學校
Hayasi-Masaitirô	林陪一郎	(富山)	日本硫曹株式會社
Hayasi-Sigeo	林茂雄	(鹿兒島)	合同油脂グリセリン株式會社
Hukusima-Noboru	福島昇	(島根)	新潟縣立金工試驗所
Hurukawa-Torao	古川虎雄 (岩下ト改姓)	(新潟)	日本石油株式會社柏崎試驗所
Imai-Tosikazu	今井俊一	(富山)	東京市立麻布商工實務學校
Kaneda-Husao	金田英雄	(島根)	日本硫曹株式會社
Kaneko-Syôgorô	金子正五郎	(新潟)	北越製紙株式會社市川工場
Kuwabara-Tamizi	桑原民二	(長野)	東京工業大學應用化學科在學
Miyasita-Seiiti	宮下精一	新潟)	日本硫曹株式會社
Nanba-Ryûiti	難波隆一	新潟)	片倉越後製紙株式會社
Nogami-Nobuyuki	野上信行	(新潟)	日本曹達株式會社富山工場
Sakurazawa-Kwanpei	櫻澤貫平	(新潟)	東北帝國大學工學部研究室
Satô-Kiiti	佐藤喜市	(新潟)	東京瓦斯株式會社瓦斯研究所
Suzuki-Kuraitirô	鈴木倉市郎	(新潟)	自營
Takahasi-Ataru	高橋中	(新潟)	新潟縣立六日町中學校
Takahasi-Sôhatirô	高橋莊八郎	(新潟)	本校應用化學教室
Teduka-Setuzi	手塚節二	(長野)	商工省特許局
Tokida-Susumu	常田亀	(長野)	長岡工業學校
Tutida-Susumu	土田進	(新潟)	大日本化學工業會社鵜見製藥工場
Tutida-Takesi	土田武	(新潟)	東京工業大學應用化學科在學
Uemura-Hideo	植村英雄	(和歌山)	死亡

第二回卒業者（33名）昭和三年三月

	氏名	本籍	勤先
Abe-Hironosuke	阿部弘之助	(新潟)	棚尾實業學校
Abe-Kiyodi	阿部亀代治	(新潟)	丸新製油所(柏崎町)
Amagai-Kôzi	天谷廣次	(栃木)	
Aoyagi-Yûdi	青柳勇治	(新潟)	長岡高等實業女學校
Hasegawa-Yosikatu	長谷川義勝	(新潟)	葡萄績業所
Hirata-Masao	平田正夫	(新潟)	大分縣立水産試驗所
Ibi-Yosio	伊比義雄	(新潟)	
Igarasi-Mitui	五十嵐光	新潟)	陸軍科學研究所第二部
Ikai-Eiiti	井海榮一	(新潟)	長岡瓦斯株式會社
Kamimura-Seigorô	上村清五郎	(新潟)	北越製紙株式會社市川工場
Kaneyasu-Niitirô	金安仁一郎	(新潟)	大阪瓦斯株式會社
Kasuga-Tensyô	春日天生	(新潟)	新潟縣立佐渡中學校
Kasuga-Tokirô	春日時郎	(新潟)	長野縣立木曾中學校
Kosuge-Siduo	小菅靜夫	(新潟)	王子製紙株式會社伏木工場
Minami-Moriei	南森榮	(新潟)	
Misaki-Tatue	三崎辰衛	(新潟)	日本曹達株式會社會津工場
Mitigami-Sigeo	道上重雄	(新潟)	印刷局印刷部研究所
Miyahara-Kanamori	宮原金盛	(長野)	長野縣立蠶業試驗所
Motiduki-Yosihumi	望月美文	(長野)	日本曹達株式會社二本木工場
Nakatani-Seinosuke	中谷精之助	(奈良)	大阪工業大學醸造科在學
Narita-Isao	成田功	(高知)	名古屋市役所水道部
Onuma-Disaku	小沼治作	(福島)	東京工業大學電氣化學科在學
Oonisi-Syûiti	大西周一	(富山)	北陸電氣工業株式會社
Saitô-Hirokuni	齋藤博邦	(新潟)	自營
Sakadume-Kôzô	坂爪幸三 (齋藤ト改姓)	(新潟)	長岡高等實業女學校
Tanaka-Teturô	田中哲郎	(新潟)	新潟縣醸造試驗所
Tokawa-Nobuzi	外川信次 (佐藤ト改姓)	(新潟)	新潟縣立新潟盲學校

Yamada-Teikiti	山田貞吉(新潟)	遞信省電氣試驗所第五部	
Yamagisi-Akinori	山岸明徳(新潟)	株式會社至眞藥物研究所	
Yatida-Takeo	谷内田武雄(新潟)		
Yazima-Makoto	矢島眞(新潟)	自營	
Yosida-Hirosi	吉田博(新潟)	東京工業大學勤務	
Yumoto-Masatosi	湯本應利(新潟)	東京稅務監督局	

第三回卒業者（29名）昭和四年三月

	氏名	本籍	勤先
Hara-Mitio	原道夫	(新潟)	杉江製陶所(名古屋市)
Hosino-Atusi	星野篤	(新潟)	
Hosino-Seikiti	星野誠吉	(新潟)	日本製鍊株式會社
Hudii-Tahei	藤井多兵衛	(栃木)	關東瓦斯株式會社
Iguti-Hidekiti	井口秀吉	(新潟)	
Isikawa-Rokurô	石川六郎	(長崎)	
Koike-Motozi	小池元二	(長野)	南滿洲鐵道株式會社撫山製鐵所
Kotazima-Tanzi	古田島坦二	(新潟)	日本電氣化學工業株式會社青海工場
Koyama-Gosaku	小山吾作	(新潟)	東京瓦斯株式會社深川製造所
Kitamura-Zyôkiti	北村讓吉	(富山)	日本海電氣株式會社瓦斯製造所
Mabuti-Tikakazu	馬淵親鮫	(静岡)	商工省福井絲出銅織物檢査所
Makino-Yasuo	牧野泰夫	(福井)	新高製糖株式會社
Matuzawa-Haruo	松澤春雄	(長野)	服部製作所若松製造所
Mizuki-Isami	水城伊左美	(福岡)	大阪工業大學應用化學科在學
Motoyosi-Masanori	元吉正文	(千葉)	昭和肥料株式會社鹿瀬工場
Nakamura-Kiyosi	中村潔	(新潟)	漢珐瑯タンク製造所
Onoyama-Sinpei	小野山辛平	(長野)	大宮瓦斯株式會社
Ooi-Kitizô	大井吉藏（益子ト改姓）	(秋田)	宇都宮瓦斯株式會社
Oomiya-Syunzi	大宮俊二	(新潟)	早山製油所(新潟市)
Saitô-Hideo	齋藤英夫	(新潟)	丸新製油所(柏崎町)
Tamino-Yasuzi	民野安二	(富山)	北海道曹達株式會社伏木工場

Tomita-Takeo	富田武雄	(埼玉)	淺野セメント株式會社門司工場
Tutikawa-Kôhu	土川孝生	(福井)	昭和肥料株式會社鹿瀬工場
Utiyama-Takeo	内山武夫	(福井)	明光堂鐵工部
Watanabe-Masao	渡部政雄	(新潟)	大倉垣青灘支店
Yamamoto-Yasugorô	山本康五郎	(鳥取)	昭和レーヨン株式會社
Yamazaki-Kenzi	山崎憲司（遠谷ト改姓）	(新潟)	三省堂蒲田工場
Yokoyama-Risaku	横山利策	(新潟)	新潟硫酸株式會社
Yosida-Yutaka	吉田豊	(新潟)	東洋電氣工業會社

第四回卒業者（26名）昭和五年三月

	氏名	本籍	勤先
Amegai-Yasuhide	雨谷泰秀	(茨城)	小鶴自動車商會
Hirata-Yutaka	平田豊	(徳島)	入營中
Hosokai-Saburô	細貝三郎	(新潟)	入營中
Iwamasa-Yasusi	岩政泰	(山口)	
Kitahara-Tosiaki	北原利秋	(福岡)	杉野製作所
Kobayasi-Akira	小林晃	(三重)	日本ペイント株式會社
Maeda-Kazuo	前田一雄	(富山)	本校應用化學教室
Maeda-Seiiti	前田城一	(徳島)	大阪市立工業研究所
Matuo-Haruo	松尾春雄	(佐賀)	森永製菓株式會社塚口工場（入營中）
Mima-Yosihumi	美馬善文	(香川)	牧田鐵金合資會社
Minami-Minoru	南實	(三重)	中川製作所
Murakami-Kazunobu	村上一信	(富山)	大日本人造肥料株式會社富山工場
Nagatani-Kôzô	長谷康造	(新潟)	
Okamoto-Usio	岡本丑雄	(岐阜)	程ケ谷曹達株式會社
Ono-Nobukazu	小野信紀	(福島)	昭和肥料株式會社鹿瀬工場
Oosawa-Tosikatu	大澤利克	(島根)	
Ooyama-Tosio	大山利雄	(新潟)	
Satô-Yosirô	佐藤義郎	(宮崎)	
Siodu-Tosihei	鹽津敏平	(三重)	合資會社土井商店

Sirane-Yurio	白根百合雄(山口)	株式會社鈴木商店川崎工場
Takano-Masuo	高野益夫(埼玉)	山田商店石鹸工場
Takatu-Tomisiti	高津富七(新潟)	平野ヂヤケット株式會社
Takayanagi-Susumu	高柳進(新潟)	
Takizawa-Seita	瀧澤清太(新潟)	株式會社川崎電球製作所中津川分工場
Wada-Hidemaro	和田秀麻呂(新潟)	丸新製油所
Yosida-Seiti	吉田清治(新潟)	株式會社平石製綿所東京工場

第五回卒業者（35名）昭和六年三月

氏名	本籍	勤先
Abe-Keiiti	阿部惠一(新潟)	
Akita-Tôitirô	秋田登一郎(新潟)	
Amenomiya-Hisakazu	雨宮久一(新潟)	
Andô-Yosiki	安藤良城(愛知)	
Araki-Kazuo	荒木一夫(新潟)	
Hudisawa-Otozô	藤澤乙三(富山)	日本特種塗料合資會社
Hudisima-Sindi	藤島信治(大分)	
Honma-Seizi	本間誠司(新潟)	新潟縣醸造試驗所
Inoue-Hirosige	井上廣重(新潟)	
Isii-Sitirô	石井思致郎(新潟)	
Itagaki-Seidi	板垣正治(新潟)	中川製作所
Kageyama-Tatue	影山達枝(島根)	
Kawase-Yasuo	河瀬康雄(香川)	
Kumakura-Tadasi	熊倉正(新潟)	
Kurasawa-Tôsirô	倉澤藤四郎(新潟)	早山製油所
Makita-Hirosi	槙田浩(愛知)	日本曹達株式會社二本木工場
Matuba-Seiyosi	松葉清義(三重)	昭和肥料株式會社川崎工場
Minagawa-Kô	皆川孝(新潟)	日本ペンベルク絹糸株式會社延岡工場
Miyosi-Kazuyuki	三好一之(香川)	
Nakazawa-Teruaki	中澤照明(長野)	

Nonaka-Mikio	野中三喜夫(北海道)	札幌鐵道局經理課用品試驗所
Odaka-Zyôiti	小高篠一(埼玉)	
Oota-Masae	太田政惠(新潟)	
Simizu-Seizô	清水清三(新潟)	昭和肥料株式會社川崎工場
Sôma-Eizi	相馬英二(新潟)	日本硫曹株式會社
Takano-Keiitirô	高野桂一郎(新潟)	北越製紙株式會社市川工場
Takasu-Matuo	鷹巢松雄(新潟)	理化學興業株式會社柏崎工場
Takinami-Eisuke	瀧波永祐(新潟)	北越製紙株式會社新潟工場
Tatihara-Yosio	立原好雄(茨城)	本校應用化學教室
Tatikawa-Saburô	太刀川三郎(新潟)	北越製紙株式會社長岡工場
Tôyama-Akio	遠山秋雄(岡山)	岡山製紙株式會社
Tutiya-Kadusige	土屋萬成(長野)	東京工業大學應用化學科在學
Usuda-Tôru	臼田達(東京)	
Usui-Tomie	臼井富衛(新潟)	本校應用化學教室
Yamazaki-Kyûsi	山崎久四(新潟)	

3. 除籍者氏名(退學、死亡、其ノ他)

(昭和6.5.1現在)

	氏名	入學年及科	除籍年月
Hiramatu-Itirô	平松一郎	13化	13.12退
Murakami-Nobuo	村上信男	13化	14. 2退
Takinami-Torazô	瀧波虎造	13機	14. 4退
Satô-Yukio	佐藤行雄	13電	14. 4退
Nakamura-Noboru	中村昇	13化	14. 4退
Narumi-Kuzô	成見久郎	13電	14. 4退
Kimura-Masayasu	木村正保	13機	14. 6死
Kumata-Sadaaki	熊田貞彰	13化	14.10退
Wakui-Yosio	涌井義雄	13機	14.11死
Satô-Syôzirô	佐藤正治郎	14機	15. 2死
Ogawa-Tamotu	小川保	14電	15. 3退
Tanaka-Tokuo	田中外久男	13電	15. 3退
Iwasaki-Hirosi	岩崎浩	14機	15. 5退
Yokokawa-Sirô	横川四郎	15化	15. 9退
Siobara-kazuo	鹽原一夫	13機	15.11死
Sakurai-Masao	櫻井正男	13電	15.12退
Nakanisi-Yosio	中西良雄	13電	15.12退
Kawakami-Humihiko	川上文彦	13機	2. 1死
Satô-Sirô	佐藤四郎	14化	2. 3退
Sibata-Itirô	新發田一郎	15電	2. 3退
Bunazawa-Korerobu	椚澤是暢	14機	2. 4退
Uehara-Kiyozô	上原喜代藏	15機	2. 5退
Hamanaka-Kamezi	濱中龜次	15電	2. 5退
Satô-Tetuzi	佐藤鐵次	15化	2. 6退
Konisi-Eisitirô	小西榮七郎	14電	2. 7死
Tutida-sigesi	土田繁	14機	2.10退
Watanabe-Sigetake	渡邊重武	15機	2.10死
Ikeda-Makoto	池田誠	14電	2.11死

Ogino-katunami	荻野勝波	13機	3. 1死
Oowan-Seizin	大灣政仁	2化	3. 3退
Segawa-Hidesato	瀨川英敏	2化	3. 3退
Nagaoka-Bunkiti	長岡文吉	2電	3. 3退
Yonai-kotarô	米內小太郎	13機	3. 3退
Oyama-Masahiko	尾山正彦	2化	3. 5退
Nagai-Ken'iti	長井健一	14機	3. 5退
Yamamiya-Sanrei	山宮槧靈	3電	3. 5退
Tuda-Tadasuke	津田忠助	2機	3. 6退
Hasegawa-Syursuke	長谷川俊亮	2化	3. 9退
Asama-Eisaku	淺間英策	3機	3. 9死
Hokari-Kanzô	穗刈鑑三	15化	3.10退
Asakura-Kiyosi	朝倉潔	13化	3.10退
Tanaya-Katumi	棚谷勝美	3機	4. 1退
Tamai-Zirô	玉井二郎	3電	4. 2退
Toyosima-Kiiti	豊島毅一	2機	4. 3退
Yosikawa-Yosio	吉川吉夫	2電	4. 3退
Sekiguti-Masadi	關口政治	2機	4. 3退
Hirose-Itirô	廣瀨一郎	2機	4. 4退
Ozaki-Tomoo	尾崎友夫	2機	4. 8退
Kozima-Yosinori	兒島義敎	15機	4. 9退
Simakage-Eidi	島影榮治	3化	5. 3退
Kyoda-Zyûsei	許田重清	4化	5. 3退
Naka-Noboru	中登	5化	5. 4退
Watanabe-Keidirô	渡邊熹治郎	4機	5. 5退
Soda-Yosioki	曾田吉興	3電	5. 6死
Inoue-Hideyuki	井上秀幸	4電	5. 9退
Ozaki-Nobuo	尾崎信男	3機	5.10死
Itô-Hisanobu	伊藤久信	5電	5.12退
Tukada-Kiyosi	塚田清	5電	6. 3退
Ikeno-Masao	池野正夫	5電	6. 3退
Ehara-Minoru	江原實	5機	6. 3退

4. 學級人員一覽表 （昭和6.5.1現在）

學年＼科別	電氣工學科	機械工學科	應用化學科	計
I	33	40	40	113
II	34	35	32	101
III	35	33	32	100
計	107	108	104	319

5. 入學志願者及入學許可者數

年次	科名	入學志願者數	入學許可者數	百分比	入學取消者	入學決定者數
13年	電氣工學科	134	40	29.9	0	40
	機械工學科	72	37	51.4	4	33
	應用化學科	59	36	61.0	0	36
	計	265	113	42.5	4	109
14年	電氣工學科	115	35	30.4	1	34
	機械工學科	58	35	60.3	4	31
	應用化學科	37	30	81.1	2	28
	計	210	100	47.6	7	93
15年	電氣工學科	153	38	24.8	2	36
	機械工學科	128	39	30.5	5	34
	應用化學科	62	35	56.5	2	33
	計	343	112	32.7	9	103
昭和2年	電氣工學科	256	40	15.6	3	37
	機械工學科	146	38	26.0	2	36
	應用化學科	109	37	33.9	7	30
	計	511	115	22.5	12	103

昭和3年	電氣工學科	219	40	1 .3	2	38
	機械工學科	103	39	36 1	0	39
	應用化學科	82	37	45.1	1	36
	計	409	116	28.4	3	113
昭和4年	電氣工學科	337	39	11.6	4	35
	機械工學科	3 5	39	12.8	·3	36
	應用化學科	136	3)	28·6	2	37
	計	778	117	15·1	9	10E
昭和5年	電氣工學科	156	40	25.6	2	38
	機械工學科	131	37	28.2	1	36
	應用化學科	125	37	29.6	5	32
	計	412	114	27.7	8	106
昭和6年	電氣工學科	215	40	18.6	4	36
	機械工學科	231	42	19.0	5	37
	應用化學科	124	41	33.0	5	36
	計	560	123	22.0	14	109

6. 昭和六年度入學者調

6. 昭和六年度入學者調

（a） 入學者出身校別（ ）內ハ學校數

	府縣別	學校名	電氣科	機械科	應化科	計
縣下中學校		村上中		1		1
		新發田中		1		1
		佐渡中	1			1
		新潟中	1	1	2	4
		村松中			1	1
		巻中		1		1
		三條中	3	1		4
		長岡中	5	6	1	12
		小千谷中	1	1	1	3
		六日町中			1	1
		十日町中	1			1
		柏崎中		1	2	3
		高田中	2	1	1	4
		有恒學舍			1	1
		計（校數）人員	(7) 14	(9) 14	(8) 10	(14)38
他府縣中學校	樺太	大泊中	1			1
	北海道	帶廣中	1			1
	福島	會津中	1			1
	茨城	太田中		1		1
	栃木	宇都宮中			1	1
	埼玉	浦和中			1	1
	同	熊谷中			1	1
	同	不動岡中			1	1
	東京	本郷中				1
	同	成城中	1			1
	同	正則中	1	1		1
	同	開成中			1	1
	富山	富山中	1		1	2
	石川	金澤第三中	1			1
	福井	武生中			1	1
	長野	飯山中			1	1
	同	上田中			1	1
	同	屋代中			1	1
	愛知	愛知第一中	1			1
	同	熱田中			1	1
	同	岡崎中			1	1
	同	津島中		1		1
	三重	宇治山田中	1			1
	同	津中	1			1
	滋賀	水口中	1			1
	京都	宮津中	1			1
	大阪	市岡中	1			1
	同	豊津中	1			1
	同	天王寺中	1			1
	同	桃山中		2		2
	同	四條畷中		1		1
	同	高津中		1		1
	同	上宮中		1		1
	同	鳳中		1		1
	兵庫	甲陽中	1			1
	同	小野中		2		2
	同	尾崎中		1		1
	同	伊丹中		1		1
	同	滝川中		1		1
	同	洲本中			1	1
	奈良	畝傍中			1	1
	和歌山	南海中		1		1
	同	海草中		1		1
	岡山	第二岡山中		1		1
	同	津山中		1		1
	同	矢掛中		1		1
	山口	長府中		1		1
	德島	德島中	1			1
	香川	多度津中		1		1
	福岡	小倉中		1		1
	鹿兒島	加治木中	1			1
	臺灣	臺中第二中			3	3
	朝鮮	平壤中			1	1
	關東州	旅順第一中	1			1
	同	大連第一中			2	2
	同	大連第二中			1	1
	計	（校數）人員	(19)19	(20)22	(18)21	(56)62
縣下工業		長岡工			(1) 1	(1) 1
他府縣	東京	化學工			1	1
	長野	長野工			1	1
	三重	三重縣工	1		1	2

學校		小千谷中	1	1	1	3
		六日町中			1	1
		十日町中	1			1
		柏崎中		1	2	3
		高田中	2	1	1	4
		有恒學舍			1	1
		計（校數）人員	(7) 14	(9) 14	(8) 10	(14)38
他府縣道中學校	樺太	大泊中	1			1
	北海道	帶廣中	1			1
	福島	會津中	1			1
	茨城	太田中		1		1
	栃木	宇都宮中			1	1
	埼玉	浦和中			1	1
	同	熊谷中			1	1
	同	不動岡中			1	1
	東京	本鄉中				1
	同	成城中	1			1
	同	正則中	1	1		1
	同	開成中			1	1
	富山	富山中	1		1	2
	石川	金澤第三中	1			1
	福井	武生中			1	1
	長野	飯山中			1	1
	同	上田中			1	1
	同	屋代中			1	1
	愛知	愛知第一中	1			1
	同	熱田中			1	1
	同	岡崎中			1	1
	同	津島中		1		1
	重三	宇治山田中	1			1
	同	津中	1			1
	滋賀	水口中	1			1
	京都	宮津中	1			1
	大阪	市岡中	1			1
	同	豐津中	1			1
	同	天王寺中	1			1
	同	桃山中		2		2
	同	四條畷中		1		1
	同	高津中		1		1
	同	上宮中		1		1
	同	鳳中		1		1
	兵庫	甲陽中	1			1
	同	小野中		2		2
	同	尾崎中		1		1
	同	伊丹中		1		1
	同	龍川中		1		1
	同	洲本中			1	1
	奈良	畝傍中			1	1
	和歌山	南海中		1		1
	同	海草中		1		1
	岡山	第二岡山中		1		1
	同	津山中		1		1
	同	矢掛中		1		1
	山口	長府中		1		1
	德島	德島中	1			1
	香川	多度津中		1		1
	福岡	小倉中		1		1
	鹿兒島	加治木中	1			1
	臺灣	臺中第二中			3	3
	朝鮮	平壤中			1	1
	關東州	旅順第一中	1			1
	同	大連第一中			2	2
	同	大連第二中			1	1
	計	（校數）人員	(19)19	(20)22	(18)21	(56)62
縣下工業		長岡工			(1) 1	(1) 1
他府縣工業學校	東京	化學工			1	1
	長野	長野工			1	1
	三重	三重縣工	1		1	2
	大阪	今宮職工	1			1
	兵庫	兵庫縣工			1	1
	奈良	御所工		1		1
	計		(2) 2	(1) 1	(4) 4	(6) 7
	總計	中學校	(26)33	(29)36	(26)31	(70)100
		他工業共計	(3) 3	(1) 1	(5) 5	9) 9
		（校數）人員	(29)36	(30)37	(31)36	(79 109

(b) 卒業年次別

卒業年次	出身學校	電氣工學科	機械工學科	應用化學科	計
昭和 2	中學	2	1		3
	其他	1		1	1
昭和 3	中學	3			3
	其他			1	1
昭和 4	中學	3	8	4	15
	其他	2	1		3
昭和 5	中學	8	14	18	40
	其他			1	1
昭和 6	中學	17	13	9	39
	其他			2	2
總計		36	37	36	109

(c) 入學許可者府縣別 ( )內ハ許可取消者ヲ示ス

府縣別	電氣科	機械科	應化科	計	總計
宮城		(1)		(1)	1
福島			(1) 1	(1) 1	2
茨城	(1) 1			(1) 1	2
栃木			1	1	1
埼玉			3	3	3
東京	2		1	3	3
神奈川		1		1	1
新潟	(2) 16	(1) 14	(2) 13	(5) 43	48
富山	2		(1) 1	(1) 3	4
石川	2		1	2	2
福井			1	1	1
長野			5	5	5
靜岡			1	1	1
愛知	1	1	1	3	3
三重	3		1	4	4
滋賀	1	(1)		(1) 1	2
京都	1		(1) 1	(1) 2	3
大阪	(1)	5		(1) 5	6

兵庫		2		5		1		8		8
奈良			(1)	1		1	(1)	2		3
和歌山				2				2		2
岡山				4		1		5		5
廣島		2						2		2
山口				1		1		2		2
德島		1		1				2		2
香川				1				1		1
愛媛		1						1		1
高知		1						1		1
福岡			(1)	1			(1)	1		2
宮崎						1		1		1
鹿兒島		1						1		1
計		(4) 36	(5)	37	(5)	36	(14)	109		123

(d) 入學者他校受驗調

	電氣科	機械科	應化科	計
他ノ高工ヲ受驗セヌモノ	23	16	25	64
他ノ高高工ヲ不合格トナリシモノ	8	21	11	40
他ノ高工ヲ許可セラレシモノ	5			5
計　實際入學者	36	37	36	109
他校入學ノ爲取消願出ニヨリ取消シタルモノ		2	1	3

許可取消者14名－3—11名ハ他ノ高工入學ノ爲デナク他ノ都合ニヨル

7. 學生出身校別 (昭和6.5.1現在)

學科	出身校別 / 學年	中學校	工業學校	農業學校	商業學校	商船學校	水產學校	其ノ他	計
電氣工學科	I	35	2		1				38
	II	30	3	1					34
	III	32	3						35
機械工學科	I	39	1						40
	II	29	5					1	35
	III	29	3					1	33
應用化學科	I	34	6						40
	II	29	3						32
	III	27	5						32
總計		284	31	1	1			2	319

8. 學生出身道府縣別　（昭和6. 5. 1現在）

8. 學生出身道府縣別　（昭和6. 5. 1現在）

	電氣工學科				機械工學科				應用化學科				計			
	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	計	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	計	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	計	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	計
北海道		1	1	2			1	1			1	1		1	3	4
岩手							1	1							1	1
秋田						1		1	1			1	1	1		2
山形						1		1						1		1
福島		1		1		1		1	1	2		3	1	4		5
茨城	1			1									1			1
栃木									1		2	3	1		2	3
群馬			1	1						1		1		1	1	2
埼玉			2	2		1		1	3		1	4	3	1	3	7
千葉					1	1	1	3					1	1	1	3
東京	2	1		3		3		3	1	1	2	4	3	5	2	10
神奈川					1		1	2					1		1	2
新潟	17	12	10	39	16	8	9	33	13	6	5	24	46	26	24	96
富山	2	4		6		2		2	1		1	2	3	6	1	10
石川	1	1		2					1	1		2	2	2		4
福井		1		1					1		1	2	1	1	1	3
山梨							1	1			1	1			2	2
長野		2	3	5		2	1	3	5	5		10	5	9	4	18
岐阜		1	1	2		1		1		2		2		4	1	5
静岡			1	1		1	4	5	1		2	3	1	1	7	9
愛知	1	1		2	1	1		2	2	1	1	4	4	3	1	8
三重	3	3		6					1	1		2	4	4		8
滋賀	1			1									1			1
京都	1			1					1		1	2	2		1	3
大阪		1	3	4	5	2	1	8		3	3	6	5	6	7	18
兵庫	2		2	4	5	2	6	13	2			2	9	2	3	19
奈良			1	1	1	1		2	1		1	2	2	1	2	5
和歌山		1	1	2	2		1	3		1	4	5	2	2	6	10
鳥取		2	2	4			1	1						2	3	5
岡山			1	1	4	1	1	6	1		1	2	5	1	3	9
廣島	2			2		1	1	2		2	2	4	2	3	3	8
山口		1	3	4	1		1	2	2	3		5	3	4	4	11
徳島	1			1	1			1					2			2
香川			3	3	1	4		5					1	4	3	8
愛媛	1	1		2							1	1	1	1	1	3
高知	1			1									1			1
福岡	1			1	1	1	1	3					2	1	1	4
佐賀										1		1		1		1
大分										1		1		1		1
宮崎									1		1	2	1		1	2
鹿兒島	1			1			1	1		1	1	2	1	1	2	4
計	38	34	35	107	40	35	33	108	40	32	32	104	118	101	100	319

9. 學生年齢別 (昭和6.5.1現在)

種別		年齢			生徒數
學科	學年	最高	最低	平均	
電氣工學科	I	22－3	17－2	18－9	38
	II	23－8	17－4	19－3	34
	III	23－4	19－1	20－5	35
機械工學科	I	22－3	17－3	19－1	40
	II	23－1	18－3	19－11	35
	III	26－8	19－4	21－2	33
應用化學科	I	22－5	17－3	19－1	40
	II	22－6	18－2	19－1	32
	III	23－8	19－3	20－7	32

10. 卒業者及修業者數 (昭和6.3現在) ( )內ハ修業者

科 / 年次	電氣工學科	機械工學科	應用化學科	計
昭和2年	34	22	25	81
昭和3年	28	28	33	89
昭和4年	37	28	29	94
昭和5年	33	34	26	93
昭和6年	36 (1)	36	35 (1)	107
計	163 (1)	143	143 (1)	464

11. 卒業者資格

1. 實業學校教員資格

（文部省令公立私立實業學校教員資格ニ關スル規程第一條第三號參照）

2. 次記學科目ハ師範學校、中學校、女子師範學校、高等女學校、教員無試驗檢定資格アリ

（明治三十六年二月二十八日文部省告示第三十號教員無試驗檢定指定ノ件參照）

電氣工學科	數學（當該學科目成績優等ナル者ニ限ル）
機械工學科	數學（同）
應用化學科	化學（同）

3. 電氣工學科卒業生ハ電氣事業主任技術者資格檢定規則第四條第二項ニ依リ第二種ノ資格ヲ有ス

4. 本校卒業者ニ對シ次記大學ニ於テ所定ノ學校卒業者ヲ入學セシメ其收容豫定人員ヲ超過セス缺員アル場合ハ選拔試驗又ハ學力檢定試驗ヲ行ヒ入學セシム

（a） 東北帝國大學工學部及理學部

（明治四十四年六月文部省學務局通牒參照）

（b） 九州帝國大學工學部

（c） 北海道帝國大學工學部

5. 外國諸大學

（a） 米國諸大學入學

（大正十五年一月横濱高等工業學校遠藤正直氏通牒希望者ハ便宜内地ニ於テ入學試驗ヲ受クルコトヲ得）

（b） 獨逸國ミュンヘン所在各大學入學

（大正十五年一月二十八日文部省專門學務局長通牒）

6. 高等學校高等科教員檢定受驗資格アリ

7. 高等試驗ノ豫備試驗免除

Ⅶ 關係法令

1. 文部省直轄學校一覽進達方

（明治三十二年五月二十二日文部省訓令號外）

直轄學校

直轄學校一覽ノ儀自今次ノ要目ニ照シテ編纂シ每學年ノ始メ三ケ月以內ニ進達スヘシ

編纂要目

1. 學年曆　學年、學期、授業、試業ノ始終、休業日等ヲ記ス
2. 沿革略　創立以來沿革ノ要略ヲ記ス
3. 法　令　學校ノ成立、組織等ニ關スル法令ヲ記ス
4. 諸規則　教則、校則及其他必要ナル規程ヲ記ス
5. 職　員　職名、氏名、族籍、教員受持學科、屬員分課等ヲ記ス
6. 學生生徒（大學ノ外學生ノ二字ヲ除ク）學級及員數等ヲ記ス
7. 卒業生　從來卒業セル者ノ族籍、氏名、卒業ノ年月日並卒業後ノ狀況等ヲ記ス
8. 敷地建物　略圖但シ坪數及所用ノ別等ヲ記ス

以上規則等ニ關スル事項ハ該學年始ノ調査ヲ以テ記シ其他緊要ノ事項ヲ記ス但シ前記項目ノ各項ヲ前後駢記シテ編纂スルハ妨ケナシ

2. 文部省直轄諸學校官制（抄）

（明治二十六年勅令第八六號）

第一條　文部省直轄諸學校ハ次ノ如シ

東京高等師範學校	廣島高等師範學校
東京女子高等師範學校	奈良女子高等師範學校
盛岡高等農林學校	鹿兒島高等農林學校

神戸高等工業學校	濱松高等工業學校
德島高等工業學校	長岡高等工業學校
福井高等工業學校	山梨高等工業學校
秋田鑛山專門學校	東京高等商船學校
神戸高等商船學校	東京外國語學校
大阪外國語學校	東京高等齒科醫學校
東京美術學校	東京音樂學校
東京盲學校	東京聾啞學校

第六條　文部省直轄諸學校ニ次ノ職員ヲ置ク

校長
教授
生徒主事
助教授
生徒主事補
書記

前項職員ノ外文部省直轄諸學校職員定員令ノ定ムル所ニ依リ助手ヲ置クコトヲ得

第七條　校長ハ勅任又ハ奏任トス文部大臣ノ命ヲ承ケ校務ヲ掌理シ所屬職員ヲ監督ス

第八條　教授ハ勅任又ハ奏任トシ助教授ハ判任トス生徒ノ教育ヲ掌ル

第九條　文部省直轄諸學校職員定員令ニ於テ生徒主事ノ專任定員ヲ配置シタル學校ノ生徒主事ハ奏任トシ其他ノ學校ノ生徒主事ハ當該學校ノ奏任敎官ノ中ヨリ文部大臣之ヲ補ス

生徒主事ハ校長ノ命ヲ承ケ生徒ノ訓育ヲ掌ル

第十條　書記ハ判任トス上官ノ命ヲ承ケ庶務會計ニ從事ス

第十條ノ二　文部省直轄諸學校職員定員令ニ於テ生徒主事補ノ專任定員ヲ配置シタル學校ノ生徒主事補ハ判任トシ其他ノ學校ノ生徒主事補ハ當該學校ノ判任敎官ノ中ヨリ文部大臣之ヲ命ス

上田蠶絲專門學校	東京高等蠶絲學校
京都高等蠶絲學校	鳥取高等農業學校
三重高等農林學校	宇都宮高等農林學校
岐阜高等農林學校	宮崎高等農林學校
千葉高等園藝學校	長崎高等商業學校
山口高等商業學校	小樽高等商業學校
名古屋高等商業學校	福島高等商業學校
大分高等商業學校	彦根高等商業學校
和歌山高等商業學校	横濱高等商業學校
高松高等商業學校	高岡高等商業學校
第一高等學校	第二高等學校
第三高等學校	第四高等學校
第五高等學校	第六高等學校
第七高等學校造士館	第八高等學校
新潟高等學校	松本高等學校
山口高等學校	松山高等學校
水戸高等學校	山形高等學校
佐賀高等學校	弘前高等學校
松江高等學校	東京高等學校
大阪高等學校	浦和高等學校
福岡高等學校	靜岡高等學校
高知高等學校	姫路高等學校
廣島高等學校	富山藥學專門學校
熊本藥學專門學校	京都高等工藝學校
名古屋高等工業學校	熊本高等工業學校
米澤高等工業學校	桐生高等工業學校
横濱高等工業學校	廣島高等工業學校
金澤高等工業學校	仙臺高等工業學校
明治專門學校	東京高等工藝學校

生徒主事補ハ上官ノ命ヲ承ケ生徒主事ノ職務ヲ助ク

第十條ノ三　助手ハ判任トス教授又ハ助教授ノ指揮ヲ承ケ授業及實驗ノ補助ニ從事ス

第十七條　新任教官中其ノ學校所設ノ某學科ヲ擔任スヘキ者ヲ得サル場合ニ於テハ兼任教官ヲ置キ若クハ學校長ニ於テ特ニ文部大臣ノ許可ヲ得テ臨時ニ講師ヲ囑託シ其ノ學科ノ授業ヲ擔任セシムルコトヲ得

第十九條　文部大臣ハ校務上ノ須要ニ依リ學校ニ商議委員會ヲ設クルコトアルヘシ其ノ委員ハ文部大臣之ヲ命ス

3. 文部省直轄學校職員定員令（抄）

（明治三十五年勅令第九十九號）

文部省直轄諸學校專任職員ノ定員次ノ如シ

	校長	教授	助教授	助手	書記
長岡高等工業學校	一人	二十人	九人	二人	六人

4. 文部省直轄諸學校長職務規程

（大正二年六月二十三日文部省訓令）

第一條　校長ハ判任官ノ進退ヲ具狀シ及高等官ノ進退ニ付意見ヲ具ヘテ文部大臣ニ稟申スルコトヲ得

第二條　校長事故アルトキハ文部大臣ノ許可ヲ經テ高等官ヲシテ其ノ事務ヲ代理セシム

第三條　次ノ事項ハ校長之ヲ專行スヘシ但シ第六號及第八號ニ關シテハ處分後文部大臣ニ報告スヘシ

1. 教官ノ學科擔任及事務員ノ分課ヲ定ムルコト
2. 規則ノ施行上必要ナル細則ヲ設クルコト
3. 俸給月額八十五圓以下ノ雇員ノ進退ニ關スルコト
4. 職員以下ノ內國各地出張ニ關スルコト

5. 職員以下ノ除服出仕請暇ニ關スルコト
6. 講師ノ解嘱及其ノ報酬減額ニ關スルコト
7. 經費中ノ目ヲ流用スルコト
8. 三日以內ノ臨時休業ヲナスコト

第四條　前條ニ揭ケタルモノノ外文部大臣ノ許可ヲ受ケ之ヲ施行スヘシ

5. 專門學校令（抄）

（明治三十六年勅令第六十一號）

第一條　高等ノ學術技藝ヲ教授スル學校ハ專門學校トス專門學校ハ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外本令ノ規定ニ依ルヘシ

第五條　專門學校ノ入學資格ハ中學校若クハ修業年限四箇年以上ノ高等女學校ヲ卒業シタル者又ハ之ト同等ノ學力ヲ有スルモノト檢定セラレタル者以上ノ程度ニ於テ之ヲ定ムヘシ但シ美術音樂ニ關スル學術技藝ヲ教授スル專門學校ニ就キテハ文部大臣ハ別ニ其ノ入學資格ヲ定ムルコトヲ得

第六條　專門學校ノ修業年限ハ三箇年以上トス

第七條　專門學校ニ於テハ豫科研究科及別科ヲ置クコトヲ得

第八條　官立專門學校ノ修業年限學科學科目及其ノ程度並ニ豫科研究科及別科ニ關スル規定ハ文部大臣之ヲ定ム

6. 實業學校令（抄）

（明治三十二年勅令第二十九號）

第一條　實業學校ハ實業ニ從事スルモノニ須要ナル智識技能ヲ授クルヲ目的トシ兼テ德性ノ涵養ニ力ムヘキモノトス

第二條　實業學校ノ種類ハ工業學校、農業學校、商業學校、商船學校、水產學校其ノ他實業教育ヲ爲ス學校及實業補習學校トス獸醫學校ハ農業學校ト看做ス

第二條ノ二　實業學校ニシテ高等ノ教育ヲ爲スモノヲ實業專門學校トス
實業專門學校ニ關シテハ專門學校令ノ定ムル所ニ依ル

7. 實業學校教員養成規程

（大正四年文部省令第七號）

第一條　東京帝國大學農學部附屬農業教員養成所、東京商科大學附屬商業教員養成所、東京工業大學附設工業教員養成所及大阪工業大學附設工業教員養成所ノ生徒ニハ授業料ヲ徴收セス
前項養成所ノ生徒ニハ一ケ月二十五圓以内ノ學資ヲ補給スルコトアルヘシ

帝國大學官立大學及文部省直轄諸學校ノ學生々徒ニシテ卒業ノ後實業學校ノ教職ニ從事セントスル者ニハ授業料ヲ免除スルコトヲ得

第二條　前條養成所ノ生徒及前條第三項ニ依リ授業料ヲ免除セラレタル者ハ卒業ノ日ヨリ次ノ期間文部大臣ノ指定ニ依リ實業學校ノ教職ニ從事スヘキ義務ヲ有ス、但シ必要ノ場合ニ於テハ文部大臣ハ他ノ教職ニ從事スルノ義務ヲ負ハシムルコトアルヘシ

1. 養成所ノ生徒ハ其ノ在學期間ノ二分ノ一
2. 養成所ノ生徒ニシテ學資ノ補給ヲ受ケタル者ハ其ノ補給ヲ受ケタル年限ニ第一號ノ期間ヲ加ヘタル期間
3. 授業料ヲ免除セラレタル者ハ其ノ免除セラレタル期間ノ二分ノ一

第三條　前條ノ義務期間内ニ於テ學校ニ入學シ若ハ外國ニ留學セントスル者アルトキハ文部大臣ハ時宜ニ因リ之ヲ許可スルコトアルヘシ
前項ニ依リ許可ヲ受ケタル者ノ當該學校ニ在學中若ハ外國留學中ノ期間ハ前條ノ義務期間ニ算入セス

第四條　第二條ノ義務期間内ニ於テ文部大臣ノ指定ヲ受ケサルカ爲任意就職シタル者ハ其ノ旨直ニ文部大臣ニ届出ツヘシ其ノ就

職ヲ罷メ又ハ之ヲ變更シタルトキ亦同シ
前條ノ許可ヲ受ケタル者學校ヲ卒業又ハ退學シ若ハ歸朝シタルトキハ直ニ文部大臣ニ届出ツヘシ

第五條　第一條養成所ノ生徒及同條第三項ニ依リ授業料ヲ免除セラレタル者次ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ授業費學資又ハ授業料ヲ償還セシム、但シ文部大臣ハ事情ヲ酌量シテ其ノ全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトアルヘシ

1. 退學ヲ命セラレ又ハ自己ノ便宜ニ依リ退學シタルトキ
2. 實業學校教員タルノ志望ヲ變更シタルトキ
3. 第二條ノ義務ヲ盡サス又ハ第三條第一項ノ許可ヲ受ケスシテ入學若ハ留學シタルトキ

前項授業費ノ額ハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ各教員養成所ニ於テ之ヲ定ム

第六條　地方長官ニ於テ文部大臣ノ指定ニ依リ教職ニ從事スル者ニ其ノ義務期間内ニ轉任退職若ハ休職ヲ命シ又ハ休職期間中復職ヲ命シタルトキハ事由ヲ具シ其ノ旨直チニ文部大臣ニ報告スヘシ
文部大臣ノ指定ニ依リ教職ニ從事スル者ニシテ其ノ義務期間内ニ陸海軍現役ニ服シ若ハ戰時事變ニ際シ召集セラレタルカ爲當然休職トナリタルモノアルトキ又ハ休職期間滿了ノ爲退職トナリタルモノアルトキハ其ノ旨直ニ文部大臣ニ報告スヘシ

第七條　各養成所ニ募集スヘキ生徒ノ員數ハ文部大臣之ヲ定ム

第八條　大學及專門學校ノ學生々徒ニテ卒業ノ後實業學校ノ教職ニ從事セントスル者ニハ一ケ月金二十五圓以内ノ學資ヲ補給スルコトアルヘシ
前項ノ規程ニ依リ學資ノ補給ヲ受クル者將來教員タルニ適セサルモノト認メタルトキハ文部大臣ハ學資ノ補給ヲ止ムルコトヲ得
前項ノ場合ニ於テハ既ニ支給シタル學資ヲ償還セシム、但シ文部大臣ハ事情ヲ酌量シテ其ノ全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトアルヘ

シ

第 九 條　前條ノ規程ニ依リ學資ノ補給ヲ受ケタル者ハ其ノ補給ヲ受ケタル年限ノ一倍半ニ相當スル期間文部大臣ノ指定ニ依リ實業學校ノ教職ニ從事スル義務ヲ有ス、但シ必要ノ場合ニ於テハ文部大臣ハ他ノ教職ニ從事スルノ義務ヲ負ハシムルコトアルヘシ

第三條乃至第六條ノ規定ハ前條ノ規定ニ依リ學資ヲ補給スヘキ學生々徒ニ關シ之ヲ準用ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前各教員養成所ニ入學シタル者若ハ帝國大學及文部省直轄諸學校ノ學生々徒ニシテ學資ノ補給ヲ受ケタル者ニ關シテハ仍從前ノ規程ニ依ル

8. 文部省直轄諸學校外國人特別入學規程

（明治三十四年 文部省令十五號）

第 一 條　外國人ニシテ文部省直轄學校ニ於テ一般學則ノ規定ニ依ラス所定ノ學科ノ一科若ハ數科ノ教授ヲ受ケントスルモノハ外務省、在外公館又ハ本邦所在ノ外國公館ノ紹介アルモノニ限リ特ニ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第 二 條　前條ニ依リ教授ヲ受ケントスル外國人ハ前條ノ紹介書ヲ添ヘ帝國大學總長若ハ學校長ニ願出ツヘシ

第 三 條　帝國大學總長若ハ學校長ニ於テ前條ノ出願ヲ受ケタルトキハ相當ノ學力アリト認メタル者ニ限リ之ヲ許可スヘシ但シ學校ノ設備上差支アル場合ハ此ノ限ニアラス

第 四 條　本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニシテ學科修了ノ證明書ヲ受ケントスル者ニハ試驗ノ上之ヲ附與スヘシ

第 五 條　本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニハ入學試驗料入學料及授業料ヲ徴收セサルコトヲ得

第 六 條　帝國大學總長及學校長ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ本令ニ關シ必要ナル細則ヲ設クルコトヲ得

9. 臺灣人並朝鮮人ノ特別入學ニ關スル件

（明治四十四年 文部省令第十六號）

文部省直轄學校外國人特別入學規程ハ臺灣人若ハ朝鮮人ニ之ヲ準用ス但シ其ノ入學ニ關シテハ臺灣總督府又ハ朝鮮總督府ノ紹介ヲ要ス

10. 文部省直轄諸學校生徒ノ學校長ノ許可ナクシテ受ケタル他ノ直轄諸學校入學試驗無効ニ關スル件

（明治三十八年 文部省令第十八號）

文部省直轄諸學校ノ生徒ニシテ豫メ學校長ノ許可ヲ受ケス他ノ文部省直轄諸學校ノ入學試驗ヲ受ケタルトキハ其ノ入學試驗ハ無効トス

11. 文官分限令

（本文省略）文部法令彙纂第七編第一章參照

12. 官吏服務紀律

（本文省略）文部法令彙纂第七編第二章參照

13. 文官懲戒令

（本文省略）文部法令彙纂第七編第三章參照

14. 各官廳執務時間（抄）

（大正十一年 閣令第六號）

官廳ノ執務時間ハ休日及休暇日ヲ除キ次ノ通トス

四月一日ヨリ七月二十日迄
午前八時ヨリ午後四時迄但シ土曜日ハ午十二時迄トス
七月二十一日ヨリ八月三十一日迄
午前八時ヨリ午十二時迄
九月一日ヨリ十月三十一日迄
午前八時ヨリ午後四時迄但シ土曜日ハ十二時迄トス
十一月一日ヨリ三月三十一日迄
午前九時ヨリ午後四時迄但シ土曜日ハ十二時迄トス

15. 官吏職務外ノ演說及敍述許可並其取締方

(本文省略)文部法令彙纂第七編第二章參照

16. 三大節ニ賀表及言上書奉呈方

(本文省略)文部法令彙纂第七編第二章參照

17. 教員免許令

(本文省略)文部法令彙纂第十七編參照

18 文部省直轄諸學校修身教育ニ關スル注意

(本文省略)文部法令彙纂第十編參照

19. 文部省直轄諸學校生徒修學旅行ニ關スル手續

(本文省略)文部法令彙纂第十編參照

20. 學生生徒兒童身體檢查規程

(本文省略)文部法令彙纂第十五編參照

21. 學校清潔方法

(本文省略)文部法令彙纂第十五編參照

22. 學校傳染病豫防規程

(本文省略)文部法令彙纂第十五編參照

23. 學校生徒喫煙禁止

(明治三十三年文部省訓令第五號)

學校生徒ノ喫煙ニ關シテハ小學校ニ在リテハ明治二七年文部省訓令第六號ヲ以テ生徒ノ喫煙スルコト及煙器ヲ携帶スルコトヲ禁スヘキ旨訓令シ中學校等ニ在リテモ實際喫煙ヲ禁止セルモノ多シ蓋シ學校生徒ノ喫煙ハ衛生上有害ナルノミナラス風紀ニ關スルコト少ナカラス殊ニ此際未成年者喫煙禁止法ノ發布アリタルニ就キテハ小學校中學校、師範學校及等位ノ之ニ準スヘキ學校ニ在リテハ取締上其ノ生徒ノ成年以下ナルト以上ナルト學校ノ內外ヲ問ハス喫煙シ又煙草煙器ヲ携帶スルコトヲ禁止スヘシ其ノ他ノ學校ニ在リテモ特ニ注意ヲ加ヘ法律違反ノ者ナカラシムルコトヲ期スヘシ

24. 文部省直轄學校學生生徒喫煙取締ニ關スル注意

(明治四十三年七月三十日文部省內訓)

學生生徒ノ喫煙ニ關シテハ明治三十三年文部省訓令第五號ノ訓示ニ基キ各學校ニ於テ適宜取締ノ方法ヲ講シツツアルハ勿論ノ次第ナレトモ尙往々教室內ニ於テ猥リニ喫煙ヲ爲ス者有之其ノ結果或ハ火災ノ原因トナルノ例ナキニ非サルヲ以テ自今火災ノ取締上ヨリモ一層ノ注意ヲ加ヘ成年者ニ對シテモ校舍內ニ於テハ一定ノ場所ニ限リ之ヲ許シ、教室、實驗室、製圖室等ニ在リテハ一切學生生徒ノ喫煙ヲ禁止シ以テ不測ノ禍害ヲ未然ニ豫防スル樣注意セラルヘシ
右內訓ス

25. 學校生徒飲酒取締ニ關スル注意

（明治四十二年文部省訓令第十二號）

學校生徒ノ飲酒ハ敎育上取締ヲ要スヘキハ言ヲ俟タス 從來各學校ニ於テモ常ニ適當ノ方法ヲ講シテ訓戒監督ヲ怠ラサルハ本大臣ノ認ムル所ナリ 然レトモ訓育ノ目的ヲ貫徹セント欲セハ學校ト家庭ト常ニ聯絡ヲ保タンコトヲ要ス 因テ各學校ニ於テハ自今飲酒ノ取締ニ就キ一層家庭ト聯絡ヲ保ツコトニ注意シ以テ敎育ノ効果ヲ完ウセンコトヲ努ムヘシ

26. 敎育上時弊矯正ニ關スル心得

（明治三十九年文部省訓令第一一號）

學生生徒ノ本分ハ常ニ健全ナル思想ヲ有シ確實ナル目的ヲ持シ刻苦精勤他日ノ大成ヲ期スルニ在ルハ固ヨリ言ヲ俟タス 殊ニ戰後ノ國家ハ將來ノ國民ニ期待スル所益々多ク 今日ノ學生生徒タル者ハ其ノ責任一層ノ重キヲ加ヘタルヲ以テ 各々學業ヲ勤ミ一意專心其ノ目的ヲ完ウスルノ覺悟ナカルヘカラス

然ルニ近來青年子女ノ間ニ往々意氣銷沈シ風紀頽廢セル傾向アルヲ見ルハ本大臣ノ憂慮ニ堪ヘサル所ナリ 現ニ修學中ノ者ニシテ或ハ小成ニ安シ奢侈ニ流レ或ハ空想ニ煩悶シテ處世ノ本務ヲ閑却スルモノアリ 甚シキハ放縱浮靡ニシテ操行ヲ紊リ恬トシテ恥チサル者ナキニアラス 斯ノ如キハ家庭ノ監督其ノ方ヲ誤リ學校ノ規律漸ク弛緩セルノ致ス所ニシテ 今ニ於テ嚴ニ戒慎ヲ加フルニアラスンハ禍害ノ及フ所實ニ測リ知ルヘカラス 社會一部ノ風潮漸ク輕薄ニ流レムトスルノ兆アルニ際シ 青年子女ニ對スル誘惑ハ日ニ益々多キヲ加ヘムトス就中近時發刊ノ文書圖畫ヲ見ルニ或ハ危險ノ言論ヲ揭ケ或ハ厭世ノ思想ヲ說キ或ハ陋劣ノ情慾ヲ描キ 敎育上有害ニシテ斷シテ取ルヘカラサルモノ尠シトセス 故ニ學生生徒ノ閱讀スル圖書ハ其ノ內容ヲ精査シ有益ト認ムルモノハ之ヲ勸奬スルト共ニ苟モ不良ノ結果ヲ生スヘキ虞アルモノハ學校ノ內外ヲ問ハス 嚴ニ之ヲ禁遏スルノ方法ヲ取ラサルヘカラス

又頃者極端ナル社會主義ヲ鼓吹スルモノ往々各所ニ出沒シ種々ノ手段ニ依リ敎員生徒等ヲ誑惑セムトスル者アリト聞ク 若シ夫レ斯ノ如クシテ建國ノ大本ヲ藐視シ社會ノ秩序ヲ紊亂スルカ如キ危險ノ思想敎育界ニ傳播シ 我敎育ノ根底ヲ動カスニ至ルコトアラハ國家將來ノ爲メ最モ寒心スヘキナリ 殊ニ敎育ニ當ル者宜シク留意戒心シテ矯激ノ僻見ヲ斥ケ 流毒ヲ未然ニ防クノ用意ナカルヘカラス

本大臣ハ國運ニ照シ時弊ニ鑑ミ特ニ玆ニ訓示ス 敎育ノ當局者及ヒ學校長敎員等ハ克ク本大臣ノ旨ヲ體シ 父兄保護者ト協心戮力シテ風紀ヲ振肅シ元氣ヲ作興スルニ努メ 學生生徒ハ自ラ修メ己ニ克チ學業ヲ成就スルニ專ニシテ 上下胥ヒ率キ以テ敎育ノ効果ヲ完ウセンコトヲ期スヘシ

27. 文部省直轄學校講演會、記念會、運動會等監督方

（明治四十二年一月九日文部省訓令號外）

直轄學校學生生徒ノ氣風ハ常ニ全國各地ニ於ケル諸學校生徒ノ模範トナリ其ノ言動ハ惹イテ一般ニ影響ヲ及ホスコト尠シトセス 故ニ直轄學校學生生徒タルモノハ克ク其ノ本分ヲ守リ 規律ヲ重ンシ質素勤勉以テ他ノ生徒ノ爲ニ 善良ナル模範ヲ示スヘキハ固ヨリ論ヲ俟タサルナリ 然ルニ近來直轄學校ニ於テ 能ス所ノ講演會、記念會又ハ運動會等ニ於テ 當日ノ興趣ヲ添ヘンカ爲種々ノ工夫ヲ廻ラシ其ノ結果多數ノ時間ヲ空費スルノミナラス 動モスレハ學生生徒ニシテ脂粉ヲ施シ假裝ヲ爲シ 往々演劇興行ニ近キモノヲ演スルヲ見ル 斯ノ如キハ當該學校ノ風紀ヲ弛ウシ 浮薄ノ弊風ヲ助長スルノミナラス一般ノ學風ヲ廢頽セシムルノ虞ナシトセス 故ニ自今右等ノ行爲ナキ樣十分注意ヲ加ヘラルヘク 尙講演會等ノ場合ニ於テハ職員協同シテ周密ニ學

生生徒ヲ指導監督シ 教育上善良ナル効果ヲ收メンコトヲ期スヘシ
右訓令ス

28. 文部省直轄諸學校學生時弊矯正ニ關スル心得

(大正十年八月二十七日 文部省内訓)

學生生徒ハ言フ迄モナク 常ニ堅實ナ思想ト不拔ナル意志トヲ以テ專念學業ニ勵ミ 品性ヲ磨キ他日ノ大成ヲ期セネハナラヌ然ルニ近時學生ニシテ或ハ輕噪或ハ弱行爲ニ自己ノ前途ヲ誤ルモノカ尠クナイノハ甚タ遺憾テアル 殊ニ結衆妄動シテ校規ヲ紊リ學業ヲ拋チ敢テ意トセヌ風ヲ生セントスルカ如キハ國家將來ノ爲洵ニ寒心ニ堪ヘナイ所テアル

學生タルモノ深ク省慮シテ 自己ノ本分ヲ守リ教職員タルモノ克ク校規ヲ匡シ 善ク學生ヲ導キ兩者心ヲ一ニシテ教育ノ目的ヲ達成センコトヲ望ム
右內訓ス

29. 學校ノ紛擾ニ關係シタル職員及生徒處分方

(明治三十五年 文部省訓令第五號)

近來學校ニ於テ往々紛擾ヲ見ルハ教育上憂慮スヘキ所ナリ 地方長官ハ此際一層學校職員ヲ督勵シ 苟モ職員ニシテ生徒ヲ使嗾煽動スルカ如キ行爲アル者ニ對シテハ其ノ機ヲ失セス相當措置スヘク又生徒ニシテ其ノ本分ヲ忘レ職員ニ對シテ反抗ヲ試ミ或ハ同盟休校ヲ爲スカ如キ者アラハ嚴重處分セシメ以テ校紀ノ振作ヲ努ムヘシ

30. 陸軍現役將校配屬令

(本文省略)文部法令彙纂第十編參照

31. 兵役法ニ依ル在學徵集延期ニ關スル件

(兵役法第四一條同施行同第一〇一條)
(本文省略)文部法令彙纂第三二編

32. 陸軍補充令ニ依ル幹部候補者ノ資格ニ關スル件

(本文省略)陸軍補充令第五三條
文部法令彙纂第三二編

33. 勤務演習召集演習召集及簡閱點呼ノ免除ニ付餘人ヲ以テ代フヘカラサル職務ヲ奉スル者ニ關スル件

(本文省略)文部法令彙纂第三二編

附　　錄

學　校　日　誌

昭　和　五　年

四月　八日　授業開始、始業式並入學式擧行

四月　十一日　教授幸林良作文部省內地研究員被命

四月二十一日　太刀川浩一郎ニ講師囑託ス

四月二十五日——五月十日　附設科學工業博物館ニ於テ機械展覽會ヲ催ス

四月二十八日　在學生身體檢査施行

四月二十九日　天長節拜賀式擧行

五月　五日　雇安藤竹代依願退職

五月　六日　修養團ニ上與吉氏ノ講演ヲ講堂ニ於テ行フ

五月　十三日　陸上大運動會擧行

五月　十六日　附設科學工業博物館委員和田良治、柴田雄三郎委員ヲ解カレ新ニ小山健藏、山口四郎委員被命

五月二十九日——三十一日　各科一學年生野外演習實施（柄尾町方面ニ於テ）

六月五日——七日　各科二、三學年生野外演習實施（柏崎町方面ニ於テ）

六月六日——十日　實業專門學校長會議開催セラレ福田校長出席ス

六月十六日——十七日　照明講習會ヲ理科教室ニテ催ス

六月二十一日　椎尾辨匡氏ノ修養ニ關スル講演ヲ講堂ニ於テ行フ

六月二十五日　總代會ヲ集會所ニ於テ催ス

七月　一日　昭和五年度物品檢閱委員任命

七月　三日　文部省督學官長俊一氏來校

七月　十二日　機械學會地方講演會ヲ講堂ニ於テ催ス

七月二十四日　教授中村亮三、伊藤貞治、桐淵勘藏支那出張被命

七月二十七日——三十一日　縣下町村農會技術員講習會ニ講堂ヲ貸與ス

七月三十日　雇清水守市依願退職

八月　一日　配屬將校陸軍砲兵中佐佐野光雄學校服務ヲ解カレ新ニ陸軍步兵少佐長谷部理叡本校服務ヲ命セラル

八月　十四日　講師高橋伊三郎病氣ノ爲メ死去

八月十七日——二十日　修養團講習會ニ校舍一部ヲ貸與ス

九月一日——六日　特別講義開催（電氣、石黑九一氏、機械、石原勵氏、化學、上野金太郎氏）

九月　六日　チブス豫防注射施行

九月　十一日　水泳大會擧行

九月　十三日　庭球大會施行

九月　十八日　文部省在外研究員教授弘中廣志歸朝

九月二十四日　縣下中等學校武道大會擧行

十月　十日　學校創立第七回記念式擧行、式後職員學生一同小千谷町船岡公園ニ遠足會ヲ催ス

十月十日——十七日　附設科學工業博物館ニ於テ手工品展覽會ヲ催ス

十月二十二日——二十四日　宮地射擊場ニ於テ實彈射擊ヲ行フ

十月三十日　教育勅語渙發四十年記念式擧行

十一月　一日　體育デーノ催シトシテ悠久山往復徒競走ヲ行フ

十一月　三日　明治節拜賀式擧行

十一月　八日　音樂會ヲ午後七時ヨリ講堂ニテ催ス

十一月　十三日　造兵生徒志願者身體檢査ノ爲海軍々醫中佐柴田敏夫氏來校

十一月　十五日　學術講演大會ヲ講堂ニテ催ス

十一月二十二日　獨立山砲兵第一聯隊佐野中佐外將校十八名見學ノ爲來校

十一月二十七日　教練査閲實施、査閲官トシテ安田少將來校

十一月二十九日　雇宮島リン依願退職

十二月　十九日　文部省在外研究員教授松村龍雄歸朝

十二月　十九日　雇赤部一依願退職

昭和六年

一月二十九日　卒業生餘餞會ヲ行フ

二月　一日　入學願書受付開始

二月　三日　曩ニ御貸下ヲ得タル御眞影奉還ノ爲福田校長上京職員學生一同奉送ス

二月　六日　御眞影ヲ奉戴シ福田校長歸校職員學生奉迎ス

二月　十一日　紀元節拜賀式擧行

三月　五日　入學願書受付終ル（受付數五百六拾通）

三月　七日　內親王殿下　御降誕遊サレシニツキ天皇　皇后　兩陛下へ天機並ニ御機嫌奉伺ス

三月　十五日　第五回卒業式擧行

各科第二學年生、電氣及化學ハ關東地方へ機械ハ關西地方へ見學旅行ニ出發ス

三月二十四日——二十六日　本校及東京大阪ニ於テ入學試驗開始

三月三十一日　入學許可者發表

三月三十一日　講師松倉時之助、同太刀川浩一郎依願退職

設備ノ大要

吾ガ長岡高等工業學校ハ心身共ニ健全デ高等ナル工業的技術ニ通ズル社會須要ノ人材ヲ養成スルヲ以テ目的トシテ居ルガ特ニ茲ニ云フベキハ最モ底力ノアル者ヲ社會ニ送リ出シタイト努力シテ居ルコトデアル。

在學三年間コマゴマシタ種々雜多ナコトヲ詰込マレタ卒業生ガ社會ニ出タトキニハ一見如何ニモ博識多才デ役立ツ樣ニ思ハレル然シ社會デ工業學校ノ卒業生ニ求ムルコトハ實ニ數多ク、單ニ機械ノ種類ノミニツイテコレヲ見ルモ千差萬別デ一々コレニ對スル知識ヲ在學僅カ三ケ年ノ短日月デ充分ニ詰込ムコトハ到底不可能ノコトデアル卽チ如何ニ學校デ詰込ンダトテ其ノ量ハ知レタモノデアル。故ニ詰込主義デ行クト卒業シタテニ一寸間ニ合フ樣ニ見エルガヤガテ行キ詰リヲ生ジテ來ル、本校デハ行キ詰リヲ生ジナイデ常ニ新ナ進路ヲ自ラ開拓シテ行キ得ル底力ノアル人材ノ養成ニ努メテ居ル。

底力アル者ト云フノハ基礎ノ學問ヲ確實ニタヽキ込ンダ者デアル其等ハ卒業ノ當座ハ或ハ一寸間ニ合ヒ兼ネルカモ知レナイ、然シナガラ力强ク奥底深クタヽキ込ンダ學問ノ力ハ年ト共ニ段々ト其ノ光ヲ放チ止ルコトナク進ミ續ケテ行キ詰リヲ生ズルコトノナイモノデアル。

今日ノ工業ハ實ニ理學ノ應用デアル、理學ハ工業ノ基礎デアル。基礎タル理學ヲ確實ニ修得セズシテ底力アル工業家タルコトハ出來ナイ。其處デ我校デハ此ノ基礎タル理學教育ニ大ニ意ヲ用ヒ數學、物理學等ニ多クノ時間ヲ用ヒルノミナラズ其ノ實驗設備ハモトヨリ各種專門的實驗實習設備ニ關シテモ常ニ此ノ方針ヲ以テ一貫スルニ努メテヲルノデアル。

尙ホ基礎學ト云フコトハ普通在學中ノ工業學科ノ豫備ト考ヘラレル向モアツタガ此ノ如キモノデハ到底眞ニ底力アル基礎學トハナラナイ故ニ本校デハ在學三年中ニ習フ工業學科ノ補助ト云フ意味デナ

ク遠キ將來ヲ目標トシ、卒業後工業家トシテノ一生ヲ通ジテノ基礎デアル學科ト云フ意味ヲ特タシテ學科課程等ヲ定メテヲル。

又眞ニ底力アル者ハ單ニ智育ノミデハ得ラレナイ、本校ニ於テハ修身ヲ重要學科目ト見ナシ以テ德育ニ努メ體育ニ於テモ筋肉隆々タル選手形ノ養成ニトラハレズ高等ナル工業教育ヲ受ケテ ソノ能力ヲ遺憾ナク發揮シ得ル圓滿ニ發育シタル健康ナル身體ノ持主タルベク各種ノ設備ヲナシ指導シ以テ 智德體共ニ圓滿ニ發達シタル人格ノ完成ニ努力シテ居ルノデアル。

理科教室

理科教室ニハ數學、物理學ノ兩科ガアリ一〇四名ヲ收容スベキ階段教室、準備室、器械室、生徒實驗室及寫眞室、蓄電池室等ヲ有スル外更ニ階上ニハ教官室ノ外ニ暗室二ケ所 研究室並ニ標本室等ヲモ設ケテアル。

準備室　講義實驗等ノ準備ヲスルニ必要ナ器具器械類例ヘバ實物幻燈、顯微鏡映寫裝置、活動寫眞映寫器、電磁石工作器具等ノ如キモノヲ備ヘテアル。

器械室　一般的理科ニ關係アル器械類ヲ整頓シテアル其內主要ナモノヲ記セバ次ノ通リデアル。クロノメーター、クロノグラフ、粘度計(數種)、空氣ポンプ類(廻轉式、分子式、水銀用、デイフユージョン等)、自記計器(各種)サーモカツプル、オプテイカルパイロメーター、電氣的精密測定裝置、インダクションコイル(30cm放電)電動發電機並ニ配電盤其他デアル。

實驗室　電氣時計ノ親時計ヲ取付ケ生徒ノ實驗ニ要スル器具類ヲ悉ク備ヘテアル。天秤モ精密ノモノ六個ヲ一側ノ基礎臺上ニ列ベ實驗ニ供シテ居ル。**光學器械**ハ主トシテ階上ノ暗室デ用フル積リデ干涉計、スペクトログラフ、スペクトロメーター光度計等ハ皆此ノ室ニ置イテアル。

他ノ暗室　フオトエラステイシテイー試驗裝置ヲ備へ又X線ヲ用フル實驗及ビテスラ電流ニ關スル實驗裝置ヲ備へテ居ル。

標本室　種々型式ノ計算器、數學教授用ノ模型類ヲ集メテアリ小規模ノラヂオ放送受話裝置並ニ精密ナ目盛器械及ビ標準尺度モ此ノ室ニ備へラレテ居ル。

尙校庭ノ芝生ニハ積雪計、雪量計、地中寒暖計、百葉箱等ヲ設ケ更ニ博物館上ニ風力計、太陽計ヲ備へテ記錄シテ居ル。

更ニヂヤイロコンパスノ模型及四吋半ノ天體望遠鏡アリ今後更ニ益々內容ノ充實ヲ計ルツモリデアル。

電　氣　敎　室

本校ノ一般敎育方針ガ基礎ニ重キヲ置イテキル故、電氣敎室ノ實驗設備モ亦其方針ニ依ツテヲル、併シ出來得ル限リハ現代ノ實際ニモ觸レ得ル樣ニ施設シテアル。

標本室　此ノ室ニハ電燈、照明器具、電熱器、架線材料、電線、碍子其他種々ノ標本ガ陳列シテアル。

弱電流研究室　弱電流ノ研究ニ必要ナ抵抗、誘導係數電氣容量等ノ標準器類ヲ初メ精密反照電流計、電位差計、恒温槽等ガ設備シテアル。

弱電流實驗室　學生ガ實驗スル室デ二室ニ別カレテヲル。

材料室　各般ノ材料ガ置イテアル。

器品室　強電流ノ實驗ニ使用スル學生用ノ計器ガ多數整備シテアル。

蓄電池室　湯淺蓄電池會社製ノ二九〇アムペア時ノ蓄電池ガ六十個据置カレテアル。

強電流實驗室　此室ニハ各製造會社ノ種々ノ型式ノ發電機、電動機等ガ多數配列シテアル。是等ノ原動力トシテハ屋外ノ變電所ニ四五K.V.Aノ變壓器ガ四臺(內一臺ハ豫備デアル)七五K.V.Aノ變

壓器ガ三臺据付ケラレテアル。直流ノ電源トシテハ實驗室ニ二五キロワツトノ電動發電機ガ据付ケテアル。

工作室　各種ノ修理及多少ノ製作ニ資スルタメ、ノツチングプレス、サークルシーア、スクエアシーア、レース等ガ備へテアル。

高壓實驗室　シーメンス社製二十萬ヴオルト、二十K.V.A試驗用變壓器ガ置イテアル。

試驗室　波形ノ研究、鐵ノ試驗、計器ノ檢査等ノタメ橫河製作所製研究用オツシログラフ、チンスレー社陰極線オツシログラフ、エプスタイン裝置、移相變壓器、ヴーダー社液體回轉計等ガ置イテアル。

高周波實驗室　日本無線五ワツト無線電話送話機、同受話機、短波長受信機、波長計等ガ設備シテアル。

光度計室　日本光學工業會社製ルンマー、ブロドハン對照型光度計、マクベス照度計、ウエーバー光度計、フリツカー光度計ガ備へテアル。

機　械　敎　室

機械敎室ハ本校一般敎育方針ニ從ヒ機械工學ノ根底ヲ作ルヲ以テ主眼トシテ居ルノデ徒ニ多種多樣ノ機械ヲ羅列スル事ヲ避ケ機械工學ノ基礎トナルベキ問題ニ就イテ徹底的ノ研究ニ重キヲ置クト同時ニ基礎的研究ニ趣味ヲ持ツ樣指導スル事ヲ重要視シテ居ル、其ノ設備概要ハ次ノ通リデアル。

材料試驗室　重ニ材料ノ物理學的ノ試驗ヲ行フノデアルガ鋼其ノ他ノ材料ノ熱處理モ此ノ室デ行フ事ニシテ居ル。萬能試驗器、硬度測定裝置其ノ他ガ此ノ室ニアル。

材料研究室　前記ノ材料試驗室ト相俟ツテ材料ノ遺憾ナキ研究指導ヲ行フノデ、材料ノ顯微鏡寫眞裝置、偏光應用材料內力分布測定裝置、化學的成分分析裝置ナドガ此ノ室ニアル。

機械工場　實習並ニ實驗ヲ行フ室デ前記ノ方針ニヨリ特種ナ珍ラシイ機械ト云フガ如キハナイ、工作機械トシテ基礎ヲナスベキ、ミリング、グラインダー、旋盤ト云ツタ樣ナモノガアル、機械仕上ヲナス室デアル。

木工場　鑄物ノ木型其ノ他木工一般ノ實習ヲナス室デ機械鋸機械鉋ト云フ樣ナモノガアル。

水力實驗室　一般的ナ水ニ關スル實驗實習ヲナス室デ發電用水車、**ポンプ**ト云フ樣ナモノガアル。

鑄物及鍛冶工場　鑄物及鍛冶ニ關スル實驗實習ヲ行フ室デ銑鐵溶解爐空氣鎚ナドガアル。

原動機室　水車ヲ除イタ原動機ノ實驗ヲ行フ室デ蒸氣機關、蒸氣タービン、瓦斯機關、ディーゼル重油機關、石油發動機、自動車ト云フ樣ナモノガアルガ自動車ハ別ニ自動車庫ニ入レル事ニナツテヲル。

汽罐室　蒸汽實驗及原動機室ニ蒸氣ヲ送ルタメ汽罐ガアルガ同時ニ本校全體ノ暖房用蒸氣發生ヲモ兼ネテヲル。丸罐ト水管式トノ二臺ガアル。

化　學　教　室

本邦化學工業界ハ今ヤ深遠ノ學理ノ應用ニマツ高級化學工業發達ノ氣運ニ向ツテヰル此狀勢ニ鑑ミ化學教室ニ於テモ本校教育ノ根本方針ニ基キ專ラ基礎的知識ノ涵養ニ留意シテヲル從テ或特種製品ノ製造ヲ行フガ如キ工場ノ設備ヲ省キ基礎的ノ實驗及研究設備ニ全力ヲ注イデヲル。

標本類及模型　ハ有機物及無機物標本六百餘點外ニ原素標本其他八百餘點右ノ外開校記念トシテ全國約三百ノ著明ナ化學工場カラ寄贈ヲ受ケタ原料、半製品、製品、模型、圖表類ソノ他有益ナ參考品ガ約二千點アツテ教授上大イニ裨益シテヲル。

實驗室設備　トシテハ各實驗臺ニ直流交流電氣ノ配線ヲシテ實

驗ニ便シ乾燥器ノ如キモ温度ノ調節自由ナル電熱式「セルコオーブン」七個ヲ有シ定性定量分析、工業分析等一般的設備ニ就テハ普通ノ實驗實習ヲ修得サセルニ十分デアル。

白金器具　ハ坩堝、皿、電極等合計三十六點價額約一萬二千圓ヲ投ジ精密天秤類ハ獨逸「サートリユス」社製三十一臺ヲ備ヘテアル

物理化學　ノ實驗ニハ特ニ意ヲ用ヒ恒温槽一四個ヲ始メトシ傳導度測定裝置、分子量測定裝置等ハ勿論其他各種研究ニ必要ナル適當ノ設備ヲトヽノヘ更ニ必要ニ應ジ特種ノ形狀ヲシタ「ガラス」器具類ハ學生ヲシテ隨時製作セシムベキ目的デ每年適當ノ時期ニ專門技工ヲ聘シ其技術ヲ傳習サセル事ニシテヲル。

化學的ノ基礎訓練　ヲスルニ適切ナ各種ノ有機物其他ノ合成及試驗ニ關スル設備トシテハ耐壓釜、屈折計、顯微鏡、各種ノ爐、過熱蒸氣發生裝置、眞空乾燥機、減壓蒸留裝置、特種硝子器具裝置等十分意ヲ用ヒテ設備シテアル。

油脂工業　ニ就テハ當地方ガ本邦ニ於ケル有名ナ石油工業ノ中心地タル關係上特ニ意ヲ用モ最新式ノ屈折計、各種ノ粘度計、引火點試驗器、蒸溜試驗器、各種ノ「カロリメーター」其他此方面ノ實驗研究ニ關スル各種設備ニ留意シテヲル。

電氣化學方面　ニツイテハ本邦ニ於テ最大水量ヲ有スル信濃川水力ノ開發ト共ニ將來電氣化學工業ノ勃興スベキヲ思ヒ、コレニ關スル設備ニモ留意シテヲル例ヘバ蓄電池ノ設備ニ五百圓ヲ投ジ又特ニ電爐用ノ低壓變壓機ヲ備ヘ各種電氣爐十基ヲ設備シタルナド其他電解及「エレクトロオスモース」ニ關スル實驗研究等ニモ略遺漏ナキヲ期シテヰル、特ニ最新式設備トシテ注目サレテ居ル「エレクトロオスモース」ニヨル淨水裝置ハ本邦ニ於ケル最初ノ輸入品デアツテソノ成績ニツキテハ各地カラ多數照會ヲ受ケテヰルノデアル。本裝置ハ任意ノ純度ノ水ヲ簡單ニ得ラレ且各種ノ化學實驗ニ差支ヘナキ純度デ普通ノ蒸溜水ニ比シ遜色ナキ水モ安價ニ且短時間ニ多量ヲ得ラルヽコトハ到底在來ノ蒸溜式方法ノ遠ク及バヌトコロデア

ル。

其他　目下化學工業界ニ於テ多大ノ興味ヲ以テ期待サレテ居ル人造絹糸ニツキテモ其實驗設備等完成シテ居ル。

體育並敎練敎室

體育ニ於テハ運動競技ノ普及並ニ不斷ノ實行ニ努メ身體ノ健全ソノモノガ幸福ナルコトヲ自覺セシメテ更ニ健康ヲ增進シ精神力ヲ鍛錬シ將來ノ能率增進ニ備ヘシムル爲メ間口九間奥行十三間、梁下二十尺ノ屋內體操場ニハ矯正並ニ發育體操ノ器具器械卽チ肋木、平均臺、鐵棒、吊棒、吊索、吊鐶、移動吊鐶、バツク、跳箱、スプリングボールド、バスケツトボールド、ヴアレーネツト等ヲ備ヘ五千坪ヲ有スル屋外運動場ニハ「ア式フツトボール」「バスケツトボール」「陸上競技」ヲ課シ得ル設備ヲナシ水力實驗並ニ火防用貯水池ヲ水泳練習ニ利用セシメ一八〇臺ノ「スキー」ヲ有シテ冬期ノ運動ニ便ニシ學生ノ自發的運動ヲ喚起スル樣之ヲ指導シ尙校友會ニハ柔道、劍道、弓道、競技、角力、野球、球技、庭球、卓球、スキー、水泳部ノ設アリテ課外運動ヲ奬勵シテヲル。

敎練ニ於テハ學校敎練ノ目的遂行ノ爲メ五千坪ノ運動場ト一一五七坪ノ屋內體操場ヲ使用シ尙ホ狹窄射擊場ヲ校內ニ設クルノ外郊外約一里ノ宮路ニ市內中等學校及軍人分會、青年會ト協同製作ニ依ル實彈射擊場ヲ有シ三八式步兵銃、劍、一九〇挺ヲハジメ、指揮刀、背嚢、飯盒、携帶天幕、水筒等必要ナ機械器具ヲ整備シテヲル。

科學工業博物館

長岡市ノ寄附ニカヽル、鐵筋コンクリート建、一部二階建トナシ建坪八八坪餘工費三萬五千圓、大正十五年十一月竣工シタ。

蓋科學工業博物館ノ目的トスル所ハ本校學生、長岡市及附近ノ人々ニ對シ科學智識ノ普及ヲ計リ且科學ガ如何ニ工業ニ應用セラルヽカノ實際ヲ理解セシムルニアル。

博物館ハ本校ノ東北隅悠久山行キノ道路ニ面シ四個ノ陳列窓ヲ備ヘ道行ク人ガ一見シテ知ラズ知ラズノ間ニ工業ノ何者タルカヲ了解出來ル樣ニ陳列ニ力ヲ注イデ居ル。陳列場ハ階下デ五十餘坪、電燈電力、瓦斯、水道ノ設備ガアリ理化學、電氣工學、機械工學及應用化學ノ各方面ニ亙リ參考品ヲ陳列シ又各種ノ實驗ヲスルコトガ出來ル特ニ化學實驗ノ爲メニハ**ドラフトチエンバー**ヲ備ヘ又機械類据付ヲ便ナラシムル爲ニハ床ニ**レール**ヲ沈設シ尙水ヲ使用スル實驗ノ便ヲ計リ容量一四〇立方尺ノ堀ヲ設ケテアル。

階上ニハ二室ヲ設ケ應接室及講演室ニ當テ小講演會及研究會ヲ開クニ便シ、屋上ハ平坦デ望遠鏡ヲ設備シ天体其他ノ觀測ガ出來ル樣ニナツテ居ル。館內ノ陳列ハ理科、電氣工學科、機械工學科及應用化學科ノ職員ガ交代デ委員トナツテ其任ニ當ルノデ夫々ノ專門ニツキ科學ガ工業ニ應用サレル實際ヲ示スニ努メテ居ル。陳列品一部ハ博物館專用ノモノデアルガ多クハ各科ニアル設備ヲ成ルダケ公衆ニ觀覽セシムルト云フ主旨ノ下ニ出來ルダケ各科ノ備品ヲ交替ニ陳列スル樣ニシテ居ル。

本館ハ整理、準備ニ要スル時日ノ外無休館トシテ開館スルノヲ本則トシテ居ル。又春期ノ好時期ニ於テ理科、電氣、機械及應用化學等ニ關スル展覽會ヲ催シ特別ノ陳列品ヲ蒐集シテ公衆ノ觀覽ニ供シ且每年六月十日ノ時ノ記念日ニハ長岡市ト共同シテ時ニ關スル宣傳事業ヲナシテ居ル。

以上ノ外石版、寫眞版、活版等ヲ有スル印刷所ト工費一萬三千四百七拾圓ノ鐵筋コンクリート二階建四八坪、收藏能力一萬八千冊ノ書庫ヲ有スル圖書館ガアル。

主ナル機械器具類

理科教室

	円
マイケルソン氏インターフエロメーター	1,380
X線裝置	2,000
波長計(MN氏437型)	450
天體望遠鏡(4吋半)	1,050
ゲーデ氏分子式ポンプ	600
電氣時計裝置(親時計1個子時計58個付)	3,162
パールゾーオプチカルベンチ及ビ附屬品	2,039
インダクシヨンコイル(30CM)	630
カセトメーター	494
アクメ活動寫眞映寫機(S.V.E型)	875
ローヤル活動寫眞映寫機	422
晝間映寫幕	305
クロノメーター	950
アツベ氏屈折計	558
マーキユリーポンプ	494
ロータリポンプ	519
ハイランド式空氣液化裝置	1,118
クロノグラフ	410
タイガー計算器	400
バーロース計算器	537
サンドストランド計算器(720÷51型)	820
限外顯微鏡裝置	917
クオルツスペクトログラフ	1,655
分光計	1,845
波長分光計	780

	円
オプチカルパイロメーター	637
光度計ベンチ二臺	1,165
萬能幻燈機械	445
萬能映寫裝置	1,520
電位差計	748
長岡式電磁石	1,856
3K.W電動發電機	695
自働精密線目盛機械	2,640
寫眞機	621
臭化ラヂウム(10.47瓦)	1,015
ジヤイロ、コンパス模型	740
スタンダードスケール	780
コンパレーター	994
噪音計	280
分光器	410
萬能ヘリオスタツト	550
自記撮影裝置	398
X線スペクトロメーター	920
自記太陽計	510
ドライアイス製造機	495
ユンケル氏熱量計	670
金屬X線管球	583

電氣教室

ウエストン標準直流ミリヴオルト計(分流器三箇附屬)	703
ウエストン標準交直流電壓計	838
ウエストン標準交直流電流計	838
サンガモ標準ラストメーター	360
シーメンス直流自記電壓計	459

	円
エスターライン交流自記電壓計	623
ヴキーダー液體回轉計	823
シーメンス、ユニヴアーサル、ガルヴアノメーター	619
ケンブリツヂ、サーモガルヴアノメーター	717
ヴアイブレーシヨン、ガルヴアノメーター	300
シーメンス、バリスチツク、ガルヴアノメーター	360
シーメンス、ミラー、ガルヴアノメーター	275
ハルトマン、デイフエレンシアル、ガルヴアノメーター	437
カールツアイス、シユライフエン、ガルヴアノメーター	655
シーメンス、デケード、ブリツチ	630
ケンブリツヂ、ケルビン、ダブルブリツヂ	729
ケンブリツヂ、コールラウシ、ブリツヂ	832
リーヅ、ノースラツプ、キヤパシチー、ブリツヂ	218
シーメンス、インダクタンス、ブリツヂ	342
シーメンス、フオールトロケーチング、ブリツヂ	450
シーメンス、ラツプ氏ポテンシオメーター	835
リーヅ、ノースラツプ、ポテンシオメーター	700
リーヅ、ノースラツプ、T型テスチングセツト	342
セコメーター	320
グラソツト、フラツクスメーター(サーチコイル五箇付)	609
ルムマー、ブロドハン光度計一式	1,500
ウエバー、光度計	896
フリツカー、光度計	210
球形光度計	405
マクベス、イルミノメーター	567
ペンテーン燈	557
水銀燈	455
据置蓄電池290アンペア、アワー六十箇	2,692
直流發電機六臺	1,446

	円
直流電動機　五臺	801
交流發電機　一臺	278
誘導電動機　七臺	1,021
正弦波交流發電機　一臺	2,350
電動發電機　一〇臺	11,278
同期誘導電動機　一臺	430
三相交流整流子電動機　二臺	1,593
單相直捲電動機	540
單相反撥電動機	475
豆電動機　五臺	422
電氣動力計　四臺	4,200
渦電流制動機	850
屋外受電變壓器45KVA　四臺	1,724
同　75KVA　三臺	1,611
單相變壓器　九臺	558
誘導調整器　二臺	1,000
三相移相變壓器	445
水銀整流器(三相、二キロワット)	385
廻轉變流機	2,010
15,000ヴオルト可搬式試驗變壓器	350
シーメンス、200,000ヴオルト試驗變壓器	10,880
芝浦　50,000ヴオルト試驗變壓器	1,370
100,000ヴオルト火花間隙計	260
150,000ヴオルトケノトロン裝置	457
直流高壓發電機500ヴオルト15ミリアンペア	1,980
眞空ポンプ　二種	610
無線受信機及送信機	2,773
旋盤　二臺	1,770
圓形切斷機	720

	円
方形切斷機	690
グラインダー	365
ドリル 三臺	590
ノツチング、プレス	968
五十回線用自動電話交換機及電話機	5 880
配電盤 四組	6 960
學生用オシログラフ	1 000
研究用オシログラフ	2 940
カリードレイオシログラフ	1 690
エムプソン、オイルピユーリフアイヤ	396
オイル、フイルター、プレス	570
ダイエレクトリメーター	585
スリツプ、ストロボ、スコープ	862
エプスタイン鐵試驗裝置	440
バロー氏鐵試驗裝置	270
繼電器試驗裝置	348
デスタンスリレー	410
G.Eシンクロナス、タイマー	348
眞空管發振器	836
眞空管電壓計	205
水晶發振器	165
ヘテロダイン波長計	800
短波長計	300
ラヂオ試驗器	217
低周波變壓器試驗器	360

機械教室

井口式金屬捻力試驗機（5 000C.M.KG）	2 900
ブリネルハードネステスター	1 600

	円
ショアー硬度計	851
松村式繰返打擊試驗器	1,500
シヤーピーインパクトテスター	1,390
竹村式偏光彈性試驗機	780
本多式磨滅試驗器	320
スクラツチハードネステスター	770
本多佐藤氏高溫衝擊硬度計 一式	445
モール材料試驗機（スケール型3 000KG）檢定裝置附	12,430
本多式變態點測定裝置	1 363
試驗棒目盛機械	546
ライツ製金屬顯微鏡寫眞裝置	2 365
小野式繰返シ彎曲試驗機	2 370
カチス川崎式舶用15馬力蒸氣タービン	3 100
ウエラン式40馬力蒸氣機關	2 000
新潟空氣噴入式50馬力デイゼル機關	9,950
ドイツ6馬力豫備燃燒室附デイーゼル機關	1 170
藤村式20馬力吸入瓦斯機關	2,100
Z型6 馬力石油機關	670
アイレンブルガー20馬力セミデイーゼル機關	1 870
ユンケル式25馬力デイーゼル機關	3 385
消火用35馬力ガソリン機關（ポンプ附）	1,730
ユンケル式ハイドロリツクダイナモメーター	424
ドツヂブラザース號自動車	4,000
フオード箱型自動車（1923年型）	250
フオード自動車用ガソリン機關	310
フオードツーリングカー（1926年型）	1 824
スター自動車（1927年型）	250
200馬力ヒ式飛行機用機關	100
230馬力BR2型飛行機用機關	100

	圓
空氣壓搾機	480
高壓式送風機	467
中壓式送風機	978
電動空氣ポンプ	178
重油加熱爐	680
電氣熔接切斷裝置	2,610
16吋キユポラー	1,200
酸素アセチレン熔接裁斷裝置	253
スポツトウエルデイングマシン	445
十分ノ一噸エヤハンマー	4,380
ペルトン水車	779
フランシス水車	2,567
横軸動翼プロペラー型反動式水車	751
るのくち式渦卷ポンプ	2,732
同上用三相交流發電機(40KV)	2,950
一段タービンポンプ	950
同上用三相交流電動機(40HP)	840
三段タービンポンプ	800
同上三相交流電動機(20HP)	716
プライス電音流速計	270
トーシヨンダイナモメーター	1,945
角鑿機械	350
歯車製作裝置(傘型6吋)	720
シリンダーグラインデイングマシーン	2,900
ダブルツールグラインダー	660
ギヤーホツビングマシーン	3,180
ZM型ユニヴアーサルミリングマシン	5,580
ユニバーサルグラインダー	2,200
K.R.Vユニバーサルモーターグラインダー	355

	圓
16吋シエーパー	1,500
VM型萬能工作機械	4,783
旋　盤　一二臺	13,340
ラピツドベベルギヤージエネレーター	5,225
Q.R.S電動フリクシヨンドリル	330
6呎プレーナー	1,250
半噸ラヂアルクレーン	460
20吋ボール盤	275
自動送鉋機	580
センターリングマシン	325
ウツドハーマー	250
丸鋸機械	380
同上目立機械	270
帶鋸機械	435
同上目立機械	300
高速度金切鋸機械	280
ラジエーシヨンパイロメーター	340
ワンナーオプチカルパイロメーター	620
ピロプトオプチカルパイロメーター　一式	390
熱電對式高温パイロメーター　一式	330
パイロメーター　四個	1,275
火　爐　六個	1,182
炭素粒抵抗電氣爐	850
整滑油試驗機	1,091
眞空計試驗機	430
壓力計試驗機	565
ライベルト製顯微鏡(金相用26—780倍)	345
同　上　　(同　25—1,400倍)	460
ユンケル式液體及瓦斯體燃料熱量計　一組	498

	円
軸線測定裝置	1,140
ゲーデ氏ロータリーポンプ(電動機附)	320
復寫用寫眞機	600
寫眞引伸器	200
ランカツシヤー汽罐 ウオーシントンポンプ 二臺 / 眞空ポンプ一臺 附屬	9,355
池田式水管式汽罐	5,780
モノ式炭素瓦斯分析裝置	950

化學教室

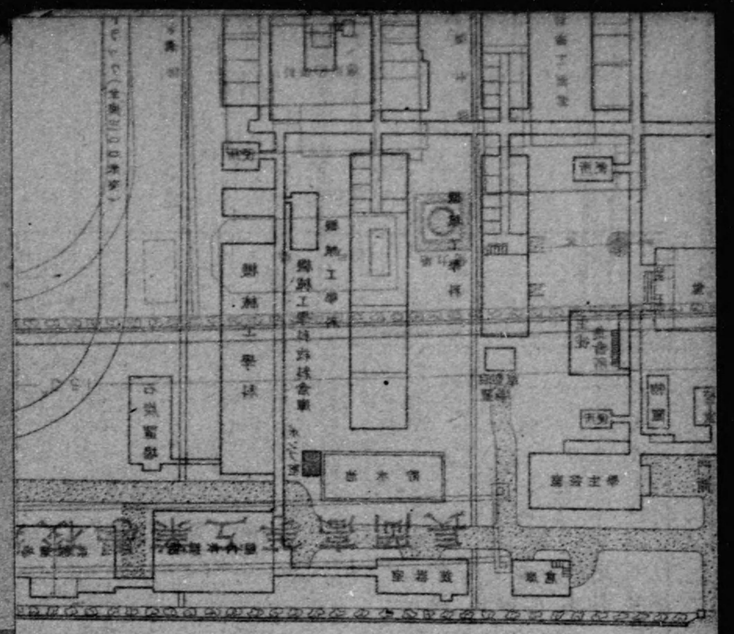
引火點試驗器アツペ式外三點	561
ゲーデ式ロータリーポンプ二點	490
動力萬能式ロータリーポンプ	310
白金器具	7,302
精密電壓計	1,513
精密電流計	2,582
リツピツヒ偏光計	895
オゾン發生機	650
シヨツパー氏紙試驗器	955
カロリメーター、ユンカー式外三點	1,435
アソープ式石炭試驗用カロリメーター	293
吸收及壓縮式ガソリンプラント模型	300
用水精製裝置	2,500
粘度計ドリートル式外四點	747
燃燒爐電氣用外三點	507
メルク無機物標本 二五四種	820
メルク有機物標本 三三八種	550
アツベ氏レフラクトメーター	635
ブルフリツヒ式レフラクトメーター	1,244
粉碎器 鑛物用外五點	443

	円
スペクトロメーター	720
封管爐	233
物質鑑識器	665
高壓釜	1,462
高温計ワンナーオプチカルパイロメーター外四點	1,592
電氣滴定裝置	562
化學分析用精密天秤	7,151
萬能幻燈機械(スロール型)	933
オストワルド毛管式電位計	210
抵抗箱	720
据置蓄電池六〇個(充電裝置一式附屬)	4,294
電氣爐 各種	2,451
ブフネル式壓搾器外五點	437
鹸率測定裝置	286
人造絹絲製造裝置	630
色素標本二〇〇種	480
ズボスキー式比色計	230
セメント試驗器	706
顯微鏡 各種	1,505
水素イオン濃度測定裝置(ノスラシブK型)	980
微量天秤 ブレーゲル二〇瓦千分ノ一耗	460
電氣冷藏機GE五立方尺型	930
シユトフエンフオトメーター カールツアイス製	1,658
ピボツト式 16型温度測定用インヂケーター	230
電氣迅速蒸發裝置	450
ロヴイボンド式色度計	1,660
本多式熱天秤	590
恒温槽 各種	1,455
變壓器油冷單相式外一點	465
モーターゼネレーター二點	425

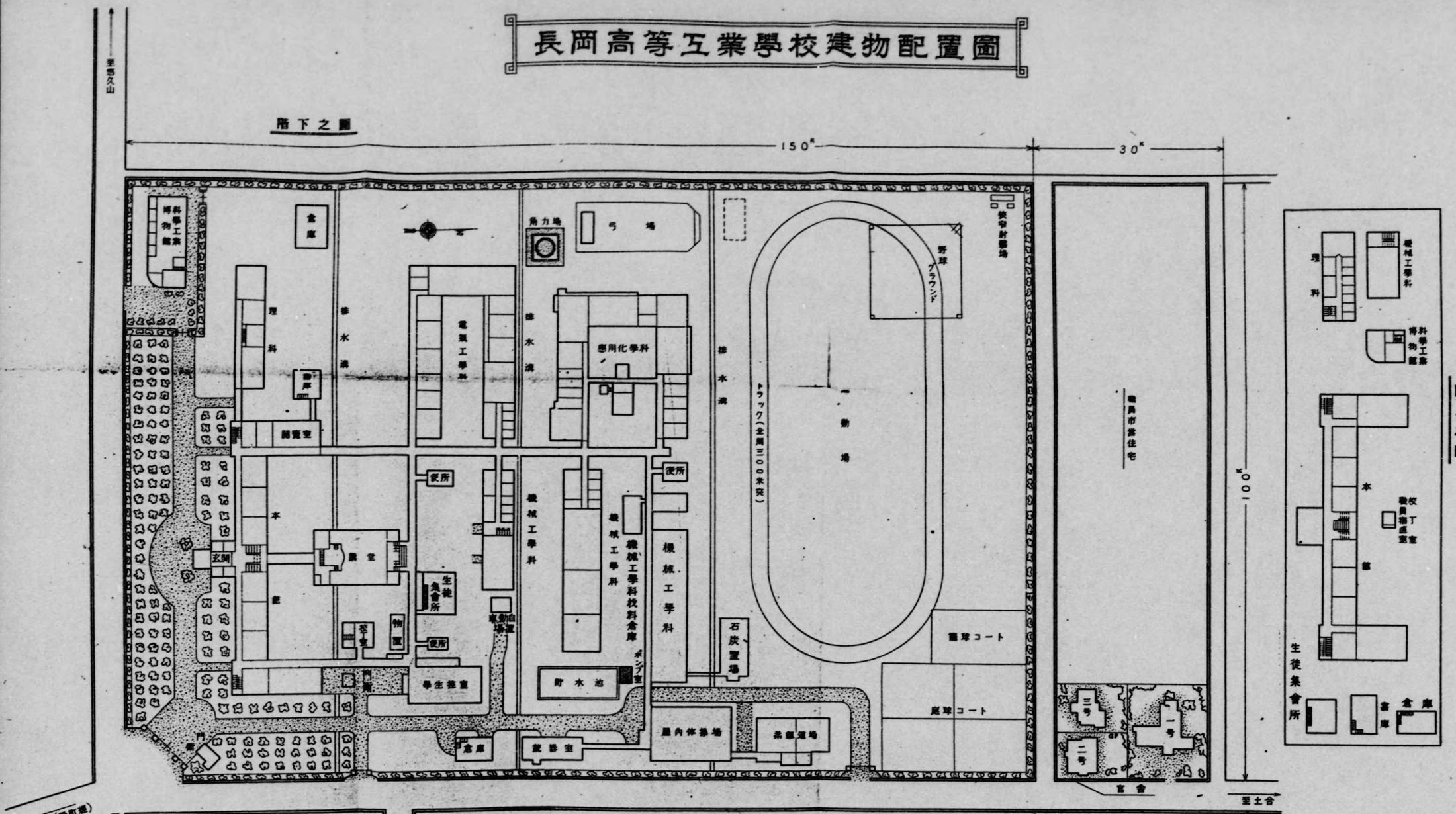
圖書冊數及購入費調

（昭和六年五月一日現在）

類別	數量	價格	
數學	726	3,731	170
物理學	734	5,899	620
化學	443	6,211	410
製造化學	320	3,110	790
機械學	390	3,397	110
構造	15	115	850
工場作業	106	981	900
熱機關學	343	3,222	330
氣學	71	580	300
水力原動機及水力機	71	547	400
機關車及船舶工業	67	664	800
電氣工學	940	6,610	350
工藝學	2	18	000
建築學	20	140	250
繪畫技藝	14	58	400
工業一般	105	1,119	200
一般科學	179	878	600
法律．政治．經濟．社會	474	1,925	220
哲學．宗教．教育	554	1,903	440
語學及文學	170	437	020
辭書及百科辭典	289	3,456	400
雜書	345	359	530
雜誌	82	9,481	540
同（バック）	16	7,178	300
合計	6,431	62,528	930


御殿工學校
御殿工學校附設鐵道車庫
給水塔
室岩主學
室驗試
室驗試
室驗試

長岡高等工業學校建物配置圖



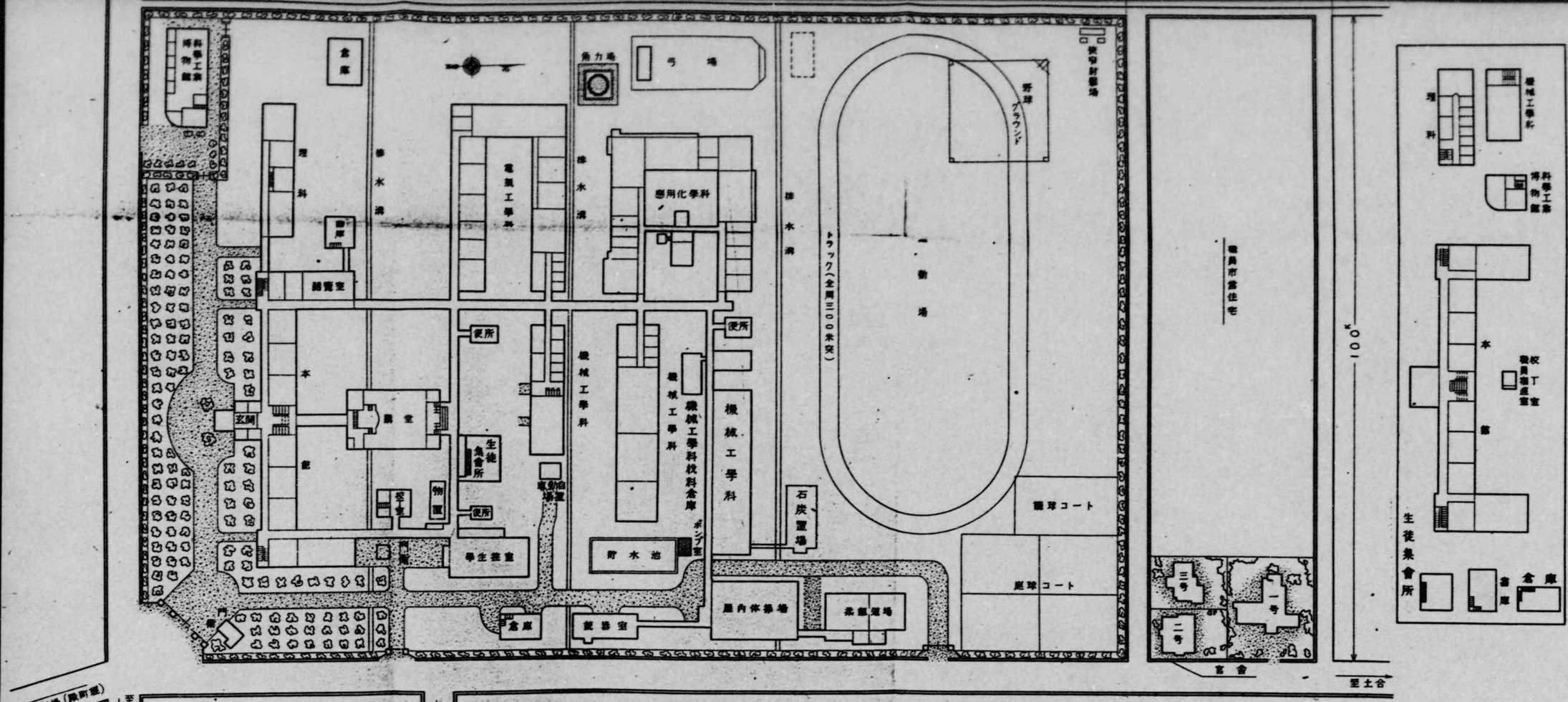
敷地

	坪
敷地總坪數	18,000
内譯	
校舍	10,000
運動場	5,000

建物

名稱	構造	棟數	坪數	價格
			坪	円
電氣科工場及實驗室	鐵筋コンクリート造平家建	1	335.000	61,715.030
第一機械科工場及實驗室	木造平家建	1	152.500	27,597.520
第二機械科工場及實驗室	木造平家建	1	180.000	32,440.690
鍛工場鑄造工場及汽罐動力室	鐵筋コンクリート造平家建	1	156.000	44,799.000
職工控所	木造平家建	1	18.000	3,249.800
應用化學科工場及實驗室	木造二階建	1	317.737	69,160.410
硫化水素室物理的化學實驗室	同上	1	5.000	1,288.000
藥品庫	同上	1	18.000	4,492.440
物理精密實驗室	鐵筋コンクリート造平家建	1	182.000	37,004.290

名稱	構造	棟數	坪數	價格
			坪	円
物品庫	同上	1	35.000	4,270.000
書庫	鐵筋コンクリート造二階建	1	48.000	13,470.000
倉庫	同上	1	52.000	11,600.000
機械工學科材料倉庫	木造平家建	1	21.000	2,000.000
同置場	同上	1	10.000	323.500
自動車庫	同上	1	7.500	541.790
門衛所	同上	2	8.750	2,025.000
ポンプ室	ブローノツタス鐵筋コンクリート造平家建	1	6.000	1,162.400
便所	木造平家建	4	22.500	6,668.000



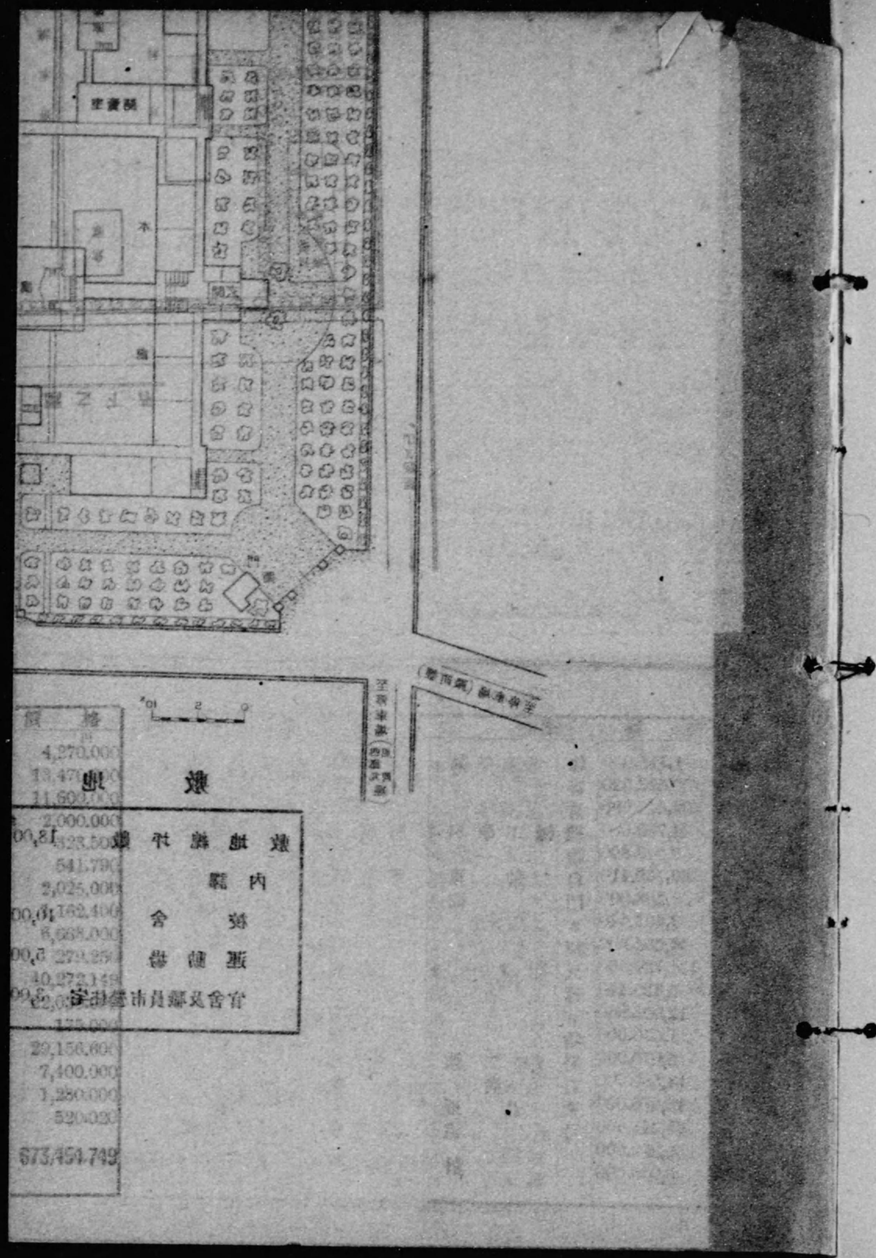
敷地

	坪
敷地總坪數	18,000
內譯	
校舍	10,000
運動場	5,000
官舍及職員市營住宅	3,000

建物

名稱	構造	棟數	坪數	價格
			坪	円
電氣科工場及實驗室	木造平家建	1	335.000	61,715.030
第一機械科工場及實驗室	木造平家建 木造二階建	1	152.500	27,597.520
第二機械科工場及實驗室	木造平家建	1	180.000	32,440.690
鍛工場鑄造工場及汽罐動力室	鐵筋コンクリート造 平家建	1	156.000	44,799.000
職工控所	木造平家建	1	18.000	3,249.800
應用化學科工場及實驗室	同上	1	317.737	69,160.410
硫化水素室兼物理的化學實驗室	同上	1	5.000	1,288.000
藥品庫	同上一部鐵筋コンクリート平家建	1	18.000	4,492.440
物理精密實驗室	木造平家建 木造二階建	1	182.000	37,004.290
本館（教室及事務室）	木造二階建	1	726.500	131,726.960
車寄	同上	1	7.500	3,325.440
生徒控所	同上	1	69.000	12,007.660
昇降口	同上	1	4.500	1,076.000
小使室兼宿直室	木造平家建 木造二階建	1	26.000	6,070.000
雨天体操場	木造平家建	1	117.000	18,580.000
柔劍道場	同上	1	82.500	15,470.000
講堂	木造平家建 モヤラリー附	1	126.000	45,241.800
生徒集會所	木造二階建	1	61.500	8,980.000
物置及銃器室	木造平家建	1	40.000	6,056.000

名稱	構造	棟數	坪數	價格
			坪	円
物品庫	同上	1	35.000	4,270.000
書庫	鐵筋コンクリート造 二階建	1	48.000	13,470.000
倉庫	同上	1	52.000	11,600.000
機械工學科材料倉庫	木造平家建	1	21.000	2,000.000
物置	同上	1	10.000	323.500
自動車置場	同上	1	7.500	541.790
門衛所	同上	2	8.750	2,025.000
ポンプ室	ブローノブタス組立 家屋平家建	1	6.000	1,162.400
便所	木造平家建	4	22.500	6,668.000
瓦斯メートル置場	同上	2	1.866	279.250
廊下	同上	8	262.812	40,272.149
官舍	木造二階建	3	189.250	22,030.000
物置	木造平家建	2	3.500	175.000
科學工業博物館	鐵筋コンクリート造 二階建	1	146.680	29,156.600
石炭置場	コンクリート造	1	48.250	7,400.000
藥品地下室	鐵筋コンクリート造	1	3.700	1,280.000
弓道場	木造平家建	1	11.000	520.020
計		51	3,472.545	673,454.749



長岡高等工業學校校友會々則

第　一　條　本會ハ長岡高等工業學校々友會ト稱ス

第　二　條　本會ノ目的ハ會員相互ノ親睦心身ノ向上ヲ計リ本校ノ教育方針ト相俟チテ校風ヲ發揚スルニアリ

第　三　條　本會ハ次ノ會員ヲ以テ組織ス

1. 名　譽　會　員

知名ノ人ニシテ本會ノ趣旨ヲ贊成シ且ツ會長ノ推薦ニヨルモノ

2. 贊　助　會　員

本校職員

3. 通　常　會　員

本校本科學生

第　四　條　本校職員並ニ本科學生ハ必ス本會々員タルモノトス本校ニ學籍ヲ有スルモノハ希望ニヨリ通常會員タルコトヲ得

第　五　條　本會々費ヲ次ノ如ク定ム

1. 通常會員　一ケ年金拾圓トシ各學期金五圓ツヽ、授業料ト共ニ納入スルモノトス

2. 贊助會員　毎年協議ノ上一定ノ金額ヲ醵出スルモノトス

通常會員ハ入會ノ際會費ト共ニ入會金五圓ヲ納入スルモノトス

第　六　條　本會ノ目的ヲ達スルタメ次ノ部ヲ置ク

劍道部	柔道部	弓道部	陸上競技部
野球部	庭球部	籠球部	相撲部
ピンポン部	水泳部	スキー部	山岳部
講演部	雜誌部	音樂部	美術部

第　七　條　本會ニ次ノ役員ヲ置ク

1. 會　長　一　名　本校々長ヲ推戴ス
2. 幹事長　一　名　生徒主事
3. 幹　事　六　名　各科第二學年通常會員ノ互選ニヨリ各科二名宛トス
4. 會計主任　一　名　本校會計課員中ヨリ會長之ヲ委囑ス

5. 部長各部　一　名　賛助會員中ヨリ毎年十一月初メ會長之ヲ委囑ス
6. 主事各部　若干名　其ノ部ノ通常會員中ヨリ各部員ノ互選ニヨル

第　八　條　本會役員ノ掌務次ノ如シ

1. 會長ハ本會ヲ總理ス
2. 幹事長ハ各部ノ統一。一般會計、陸上運動會其ノ他各部ニ屬セサル本會全般ノ事務ヲ監理ス
3. 幹事ハ各部ノ統一、一般會計、陸上運動會其他各部ニ屬セサル本會全般ノ事務ヲ掌ル
4. 會計主任ハ會費徴收及現金保管支拂ノ事務ヲ掌ル
5. 部長ハ其ノ部ヲ管理ス
6. 主事ハ部務ヲ處理ス

第　九　條　役員ノ任期及選舉

1. 役員ノ任期ハ十一月一日ヨリ翌年十月末日マデ一ケ年トス
2. 役員ハ毎年十月ニ於テ改選シ會長ノ承認ヲ經テ決定ス
3. 役員選舉委員ハ現役員全部ヲ以テ組織ス
4. 役員中缺員ヲ生シタル場合ハ投票次點者ヲ以テ之ヲ補ス

第　十　條　役　員　會

役員會ハ豫算決定其他ノ重要ト認メタル場合會長之ヲ召集ス

役員會ハ次ノ二種トシ議長ハ幹事長ヲ以テ之ニ充ツ

1. 校友會豫算會
   - イ、豫算說明會　幹事長、會計主任、幹事、部長及主事ヲ以テ組織ス、各部ノ主事ハ豫算案ヲ提出シテ說明スヘシ
   - ロ、豫算審議會　幹事長、會計主任、幹事及部長ヲ以テ組織ス
   - ハ、豫算總會　幹事長、會計主任、幹事、部長及主事ヲ以テ組織シ豫算審議會ノ作製シタル豫算案ニ基キ當該年度ノ豫算ヲ議決スルモノトス、但シ議決權ハ會計主任、幹事、部長、主事各一票トス

役員ニシテ二部以上兼任ノ場合ハ一人一票トス
役員ニシテ缺席スル場合ハ棄權ト認ム

ニ、役員總會ハ役員全部ヲ以テ組織シ本會全體ニ關スル事件ヲ決議ス

第十一條　賛助會員ハ役員會ニ列席シ意見ヲ陳述スルコトヲ得

第十二條　本會々則ノ變更ハ役員三名以上又ハ會員十名以上ノ提案ニヨリ役員總會ヲ開キ出席者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

但シ出席者三分ノ二以上ニ充タサル時ハ本會議ヲ開クコトヲ得ス

悠久會規約

第一條　本會ハ長岡高等工業學校職員相互ノ親睦及職員全體ニ關スル交際上ノ便宜ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第二條　本會ハ長岡高等工業學校ニ於ケル雇員以上ノ職員ヲ以テ組織ス

第三條　會員ハ毎月各俸給月額百分ノ一ヲ醵金スルモノトス

第四條　本會ニ理事長一名理事若干名ヲ置キ毎年四月會員中ヨリ理事長之ヲ委囑ス

理事長ハ本校々長就任ス

理事ハ本會ニ關スル重大ナル事項ヲ商議ス

第五條　本會ニ專務理事二名ヲ置キ各學年毎ニ理事ノ互選ニヨリ之ヲ定ム

理事ハ其學期ニ於ケル諸般ノ會務ヲ處理ス

第六條　本會ハ年一回大會ヲ開ク、但シ臨時會ヲ開クコトアルヘシ

第七條　醵金ヲ支出スヘキ場合左ノ如シ

1. 會合費補助
2. 校友會寄附
3. 會員間ノ慶弔
4. 其他職員全體ノ名義ヲ以テスル出支